

第1編チリングユニット

機種一覧表

形式	容量 形名	電動機容量 kW																			頁	
		1.5	2.2	3.75	5.5	7.5	11	15	17.5	22.5	30	37	45	60	75	90	100	130	150	180		190
冷房専用	水冷	CR	○	○	○	○	○	○	②	○	○	○	○	○	○	○						5
		CTE															○	○	○	○	○	196
	空冷	CA	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						75
ヒポン トプ	水熱源	CRH		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							101
	空気熱源	CAH		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							109

- 注1. ①は単相200Vと三相200Vがあります。②は2機種あります。
 2. の機種がこの編に記載されている冷房専用ユニットです。
 3. CTE形は第3編<P196>に記載されています。

目次

1.1 水冷式チリングユニット	5
1.1.1 仕様	6
1.1.2 外形寸法図	10
1.1.3 電気系統図	18
1.1.4 能力線図	29
1.1.5 注意事項	64
1.1.6 電気特性	69
1.1.7 冷媒配管系統図	72
1.2 空冷式チリングユニット	75
1.2.1 仕様	76
1.2.2 外形寸法図	80
1.2.3 電気系統図	82
1.2.4 能力線図	88
1.2.5 注意事項	96
1.2.6 騒音	98
1.2.7 電気特性	99
1.2.8 冷媒配管系統図	99

1.1 水冷式チリングユニット

目次

1.1.1 仕様	6
1.1.2 外形寸法図	10
1.1.3 電気系統図	18
1.1.4 能力線図	29
(1) 能力線図の見方	29
(2) 能力線図	32
1.1.5 注意事項	64
(1) CR-2B・CR<H>-3D～K20D形	64
(a) 据付工事	64
(b) 配管工事	64
(c) 電気工事	64
(d) 使用限界	65
(2) CR<H>-L20G～120F形	65
(a) 据付	65
(b) 重心位置	66
(c) 冷水・冷却水配管	66
(d) 電気工事	67
(e) 使用限界	67
1.1.6 電気特性	69
1.1.7 冷媒配管系統図	72

水冷式チリングユニット

1.1.1 仕様

項目		形名	CR-2B	CR-3D	CR-5D	CR-8D
性能	冷 能 力	kcal/h	3,800/4,370	7,230/8,220	12,000/13,600	18,000/20,300
	冷 水 量	m ³ /h	0.76/0.87	1.45/1.64	2.40/2.72	3.60/4.06
	水 頭 損 失	mAq	0.17/0.20	0.5/0.7	1.3/1.7	1.3/1.7
	消 費 電 力	kW	1.7/2.1	2.8/3.2	4.4/5.3	7.2/8.1
	容 量 制 御	%	—			
電 源			三相 200V 50/60Hz			
塗 装 色			マンセル10B $\frac{6}{2}$	マンセル10B $\frac{6}{2}$ ・マンセル10B $\frac{8}{2}$ のツートンカラー〈ソフトブルー〉		
外形寸法	高 さ	mm	750	917	1,117	1,489
	幅	mm	602	960		828
	奥 行	mm	701	586		601
	分 割 寸 法	mm	—			
圧縮機	形式×個数		全密閉×1			
	始 動 方 式		直入始動			
電熱器	回 転 数	rpm	2,900/3,400			
	称 呼 出 力	kW	1.5	2.2	3.75	5.5
	押 し の け 量	m ³ /h	7.9/9.2	11.9/14.0	19.4/22.8	29.8/34.9
	1日の冷凍能力	法定トン	0.9/1.1	1.4/1.6	2.3/2.7	3.5/4.1
電熱器〈クランクケース〉		W	—			
油	種 類		スニソ 3GS			
	チャージ量	ℓ	1.4	1.65	2.2	3.0
冷媒	種類×チャージ量	kg	R22×0.82	R22×2.0	R22×2.8	R22×4.2
	制 御 方 式		キャピラリーチューブ方式			
凝縮器	形 式		水冷二重管式			
	配 管 接 続		PT $\frac{3}{4}$ おす	PT1めす		PT1 $\frac{1}{4}$ めす
冷却器	形 式		チューブインチューブ式			
	配 管 接 続		PT1おす	PT1 $\frac{1}{4}$ めす		PT1 $\frac{1}{2}$ めす
冷却水	冷 却 水 量	m ³ /h	1.1/1.2	1.93/2.19	3.16/3.63	4.84/5.45
	水 頭 損 失	mAq	1.5/1.9	2.2/2.6	4.0/5.0	6.5/7.9
制御方式	霜 取 制 御		—			
	冷 水 制 御		温度調節器			
ドレン排水口〈めす〉	運 転 制 御		本体制御			
			PT $\frac{3}{8}$			
保 護 装 置			圧力開閉器〈高低圧〉, 過電流継電器, 巻線温度開閉器〈CR-2B, CR-3D形は除く〉 凍結防止用温度開閉器			
騒 音	ホン〈A〉		50	56	53	59
高圧ガス取締法区分			不要			
冷凍保安責任者の選任			不要			
製 品 重 量	kg		119	190	220	290
運 転 重 量	kg		129	197	228	300
掲 載	外 形 寸 法 図	頁	10			11
	電 気 系 統 図	頁	18			19
頁	能 力 線 図	頁	32			34
			36			38

注※1. 性能は下記条件におけるものです。

冷水入口温度 12℃ 出口 7℃, 冷却水入口温度 32℃ 出口 37℃

※2. 水回路を共通にしてユニットを複数台使用し, 1日の冷凍能力〈法定トン〉が20トン以上となる場合は許可申請が必要。

※3. 騒音はユニットから1m離れて0.5mの高さの位置で測定したAスケールの音です。〈反響音なし, 60Hz〉

新耐震基準〈昭和56年6月1日施行の建築基準法施行令〉に基づく仕様〈機器, 据付方法等〉については, 別途ご相談下さい。

建設省仕様については別途ご相談下さい

水冷式チリングユニット

水冷式
チリング
ユニット

CR-10D	CR-15D	CR-K20D
24,000/27,200	36,000/40,600	48,000/54,400
4.80/5.44	7.20/8.12	9.60/10.88
2.3/2.9	1.3/1.7	2.3/2.9
9.0/10.2	14.4/16.2	18.0/20.4
—		100, 50, 0
三相 200V 50/60Hz		
マンセル10B $\frac{1}{2}$ ・マンセル10B $\frac{1}{2}$ のツートンカラー〈ソフトブルー〉		
1,647	1,502	1,647
828	1,390	
601	696	866
—		
全密閉×1	全密閉×2	
直入始動	順次始動	
2,900/3,400		
7.5	5.5×2	7.5×2
37.3/43.7	29.8×2/34.9×2	37.3×2/43.7×2
4.4/5.1	3.5×2/4.1×2	4.4×2/5.1×2
72	62×2	72×2
スニソ 3GS		
4.5	3.0×2	4.5×2
R22×5.3	R22×4.2×2	R22×5.3×2
キャピラリーチューブ方式		
水冷二重管式		
PT 1 $\frac{1}{2}$ めす	PT 1 $\frac{1}{4}$ めす	PT 1 $\frac{1}{2}$ めす
チューブインチューブ式		
PT 2めす		
6.35/7.19	9.68/10.90	12.70/14.38
3.6/4.4	6.5/7.9	3.6/4.4
—		
温度調節器		2ステップ温調
本体制御		
PT $\frac{3}{8}$		
圧力開閉器〈高低圧〉, 過電流継電器, 巻線温度開閉器, 制御回路ヒューズ, 凍結防止用温度開閉器		
53	56	56
届出※2〈運転開始20日前〉		
不要		
360	530	680
373	550	706
11		12
19	20	
40	42	44

仕
様

水冷式リングユニット

項目	形名	CR-L20G★	CR-25G	CR-30G	CR-40G	
性能	冷却能力※1	kcal/h	54,400/62,300	60,600/69,900	75,400/86,900	101,000/120,000
	容量制御※2	%	100, 67, 0	100, 60, 0	100, 67, 0	100, 50, 0
	消費電力	kW	20.3/24.7	22.5/27.5	26.5/32.5	30.4/36.8
電	源※3		三相200V 50/60Hz			
塗	装 色		本体 マンセルN5.5, 制御箱 マンセル10B5/8, パネル マンセル5Y7/1			マンセルN5.5
外形寸法	高さ	mm	1,046	1,127	1,172	1,255
	幅	mm	2,167	2,180		2,194
	奥行	mm	656.5			600
圧	形式×台数		密閉×3			半密閉×1
	始動方式		直入順次方式			△-△始動方式
	回転数	rpm	2,900/3,400			1,450/1,750
縮	称呼出力	kW	5×3	5×2+7.5	7.5×3	30×1
	押しのけ量	m ³ /h	29.8×3/34.9×3	29.8×2+37.3/34.9×2+43.7	37.3×3/43.7×3	137.8/166.2
	1日の冷凍能力	法定トン	3.51×3/4.11×3	3.51×2+4.38/4.11×2+5.14	4.38×3/5.14×3	16.2/19.6
	電熱器<クランクケース>	W	62×3	62×2+72	72×3	200
油	種類		スニソ3GSDチャージ済			スニソ4GSチャージ済
	チャージ量	ℓ	—			8.5
冷媒	種類		R-22チャージ済			
	チャージ量	kg	4×3	4×2+5×1	5×3	18
凝縮器	形式		横形シェルアンドチューブ式			シェルアンドチューブ式
	配管接続	PTめねじ	2		2½	
冷却器	形式		乾式シェルアンドチューブ式			
	配管接続		2PTおねじ		2½PTおねじ	
冷却水	冷却水流量	m ³ /h	14.4/16.7	16.0/18.7	19.6/23.0	25.4/30.3
	水頭損失	mAq	2.4/3.1	3.1/3.9	3.0/4.0	5.0/6.7
冷水	冷水流量	m ³ /h	10.9/12.5	12.1/14.0	15.1/17.4	20.2/24
	水頭損失	mAq	3.1/4.0	1.1/1.4	1.9/2.2	3.7/5.0
制御方式	冷媒制御		温度式自動膨脹弁			
	冷水制御		電子式温度調節器			
	運転制御		自動運転			
ドレン排水口<めす>		—				
保護装置		圧力開閉器<高低圧>, 過電流継電器, 凍結防止用温度開閉器, 溶栓, 巻線保護温度開閉器				
付属品		基礎ボルト, 防振パッド<40形のみ>				
騒音	ホン<A>	64/65		65/66	70/71	
高圧ガス取締法区分※4		届出<運転開始20日前>				
冷凍保安責任者の選任		不要				
製品重量	kg	620	700	830	820	
運転重量	kg	670	770	910	910	
掲載頁	外形寸法図	頁			13	14
	電気系統図	頁			22	23
	能力線図	46	48	50	52	

注※1. 冷却能力は、冷水12→7℃, 冷却水32→37℃, 50/60Hz

※2. CR-25G形の30%, 30G形の33%の容量制御のご要求にも応じます。

※3. 400/440Vのご要求にも応じます。

※4. 冷水回路を共通にしてユニットを複数台使用し、1日の冷凍能力<法定トン>が20トン以上となる場合は許可申請が必要です。

★印は昭和57年9月に仕様変更予定です。

新耐震基準<昭和56年6月1日施行の建築基準法施行令>に基づく仕様<機器, 据付方法等>については、別途ご相談下さい。

建設省仕様については別途ご相談下さい

水冷式チリングユニット

水冷式
チリング
ユニット

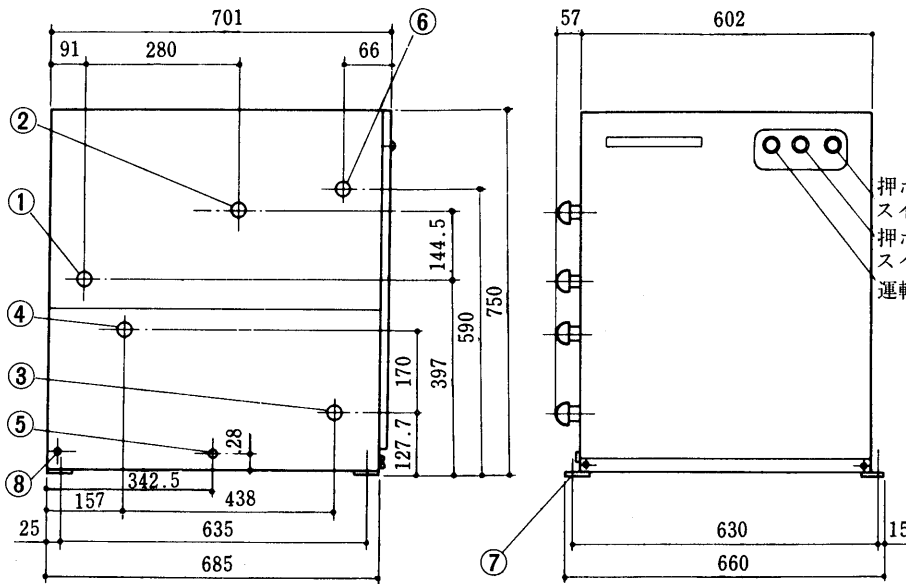
CR-50G	CR-60G	CR-80F	CR-100F	CR-120F
132,000/155,000	153,000/181,000	200,000/236,000	247,000/292,000	300,000/355,000
100,83,50,33,0	100,83,50,33,0	100,75,50,25,0	100,67,50,33,0	
39.5/48.0	45.9/55.8	62.5/68.0	76/82	91.5/99.0
三相200V 50/60Hz				
マンセルN5.5				
1,251	1,301	1,570<1,630>		1,655<1,715>
2,485		2,495<2,495>	2,803<2,803>	2,804<2,804>
700		750<870>	800<895>	
半密閉×2		半密閉×1		
△-△順次方式		△-△始動方式		
1,450/1,750				
18.5×2	22×2	56/60	70/75	84/90
88.5×2/106.9×2	103.3×2/124.7×2	249.2/300.7	312.4/377.0	373.7/451.1
10.4×2/12.6×2	12.2×2/14.7×2	29.3/35.4	36.7/44.4	44.0/53.1
200×2		250	400	
スニソ4GSチャージ済				
5.5×2		15	28	28
R22チャージ済				
10×2	30	35	45	50
シェルアンドチューブ式				
3		4		
乾式シェルアンドチューブ式				
3PTおねじ		10 ^K -100		
33.2/39.3	38.5/45.8	48.9/57.6	60.3/71.3	73.2/86.7
5.4/7.3	5.2/7.0	1.7/2.3	2.8/3.8	2.3/3.2
26.4/31.0	30.6/36.2	40.0/47.2	49.4/58.4	60.0/71.0
4.0/5.2	4.1/5.5	4.4/6.0		3.3/4.5
温度式自動膨脹弁				
電子式温度調節器		温度調節器		
自動運転				
—				
圧力開閉器<高低圧>, 過電流継電器<熱動>, 凍結防止用温度開閉器, 溶栓, 巻線保護温度開閉器, 油圧開閉器, 安全弁<圧縮機>				
防振パッド, 基礎ボルト, 冷水出入口用相フランジ<50・60形を除く>				
72/74	74/74	74/77	78/80	78/78
許可申請				
不要				
1,220	1,310	1,840	2,250	2,400
1,340	1,450	2,110	2,580	2,790
15		16	17	
24		25		
54	56	58	60	62

仕
様

CR-2, CR<H>-3・5

1.1.2 外形寸法図

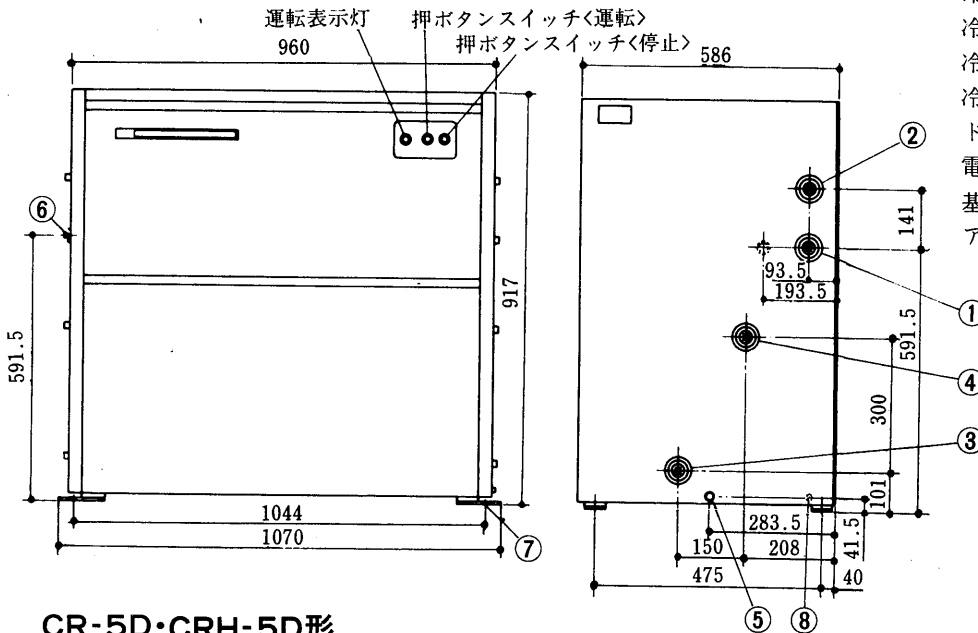
CR-2B形



- ① 冷却水入口 PT $\frac{3}{4}$ ねじ
- ② 冷却水出口 PT $\frac{3}{4}$ ねじ
- ③ 冷水入口 PT1ねじ
- ④ 冷水出口 PT1ねじ
- ⑤ ドレン出口 PT $\frac{3}{8}$ ねじ
- ⑥ 電源穴<ゴムブッシュ>
- ⑦ 基礎ボルト穴 2×2- ϕ 12
- ⑧ アース端子

押ボタン
スイッチ<停止>
押ボタン
スイッチ<運転>
運転表示灯

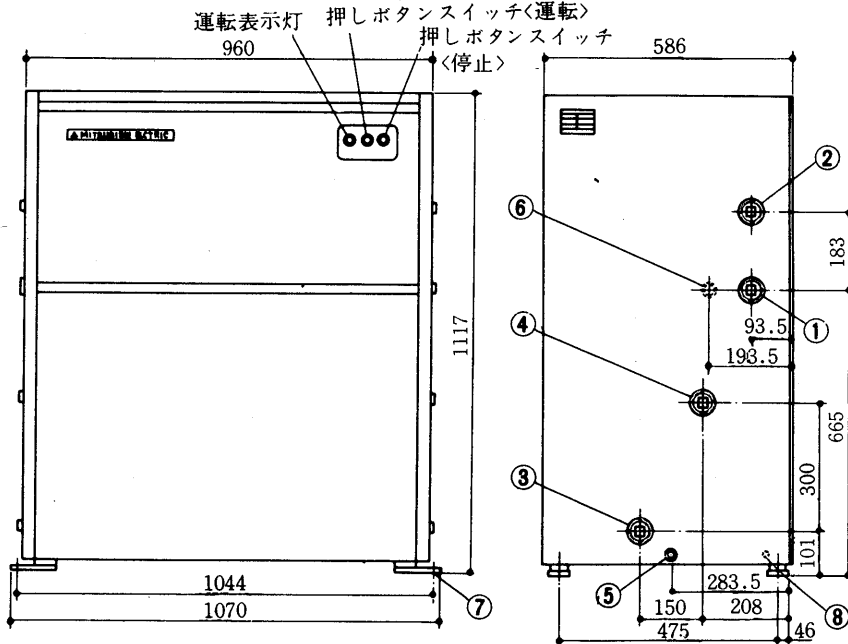
CR-3D・CRH-3D形



- ① 冷却水入口 PT1ねじ<左右>
- ② 冷却水出口 PT1ねじ<左右>
- ③ 冷水入口 PT $\frac{1}{4}$ ねじ<左右>
- ④ 冷水出口 PT $\frac{1}{4}$ ねじ<左右>
- ⑤ ドレン出口 PT $\frac{3}{8}$ ねじ<右側のみ>
- ⑥ 電源穴<ゴムブッシュ>
- ⑦ 基礎ボルト穴 2×2- ϕ 14
- ⑧ アース端子<左側のみ>

運転表示灯 960
押ボタンスイッチ<運転>
押ボタンスイッチ<停止> 586

CR-5D・CRH-5D形

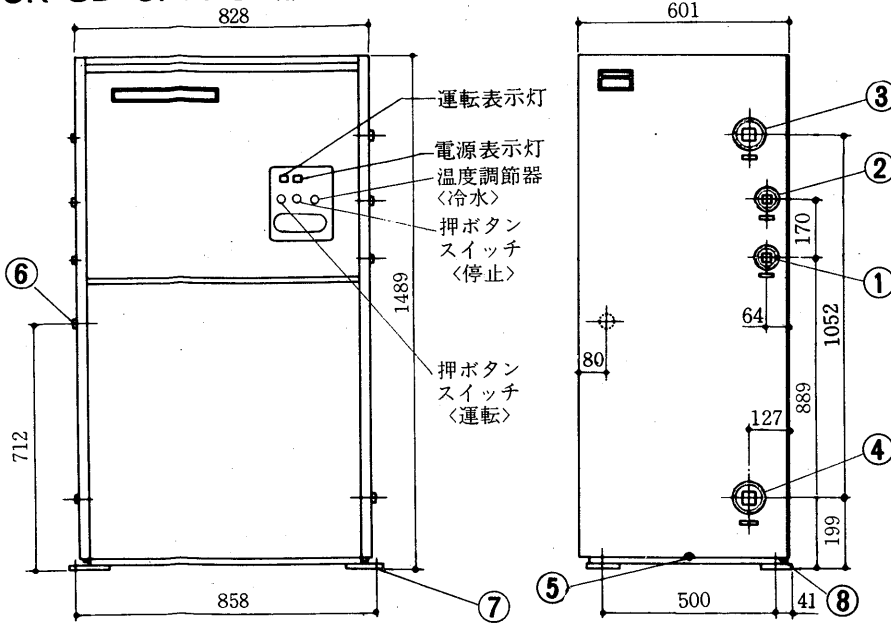


- ① 冷却水入口 PT1ねじ<左右>
- ② 冷却水出口 PT1ねじ<左右>
- ③ 冷水入口 PT $\frac{1}{4}$ ねじ<左右>
- ④ 冷水出口 PT $\frac{1}{4}$ ねじ<左右>
- ⑤ ドレン出口 PT $\frac{3}{8}$ ねじ<右側のみ>
- ⑥ 電源穴<ゴムブッシュ>
- ⑦ 基礎ボルト穴 2×2- ϕ 14
- ⑧ アース端子<左側のみ>

運転表示灯 960
押しボタンスイッチ<運転>
押しボタンスイッチ<停止> 586

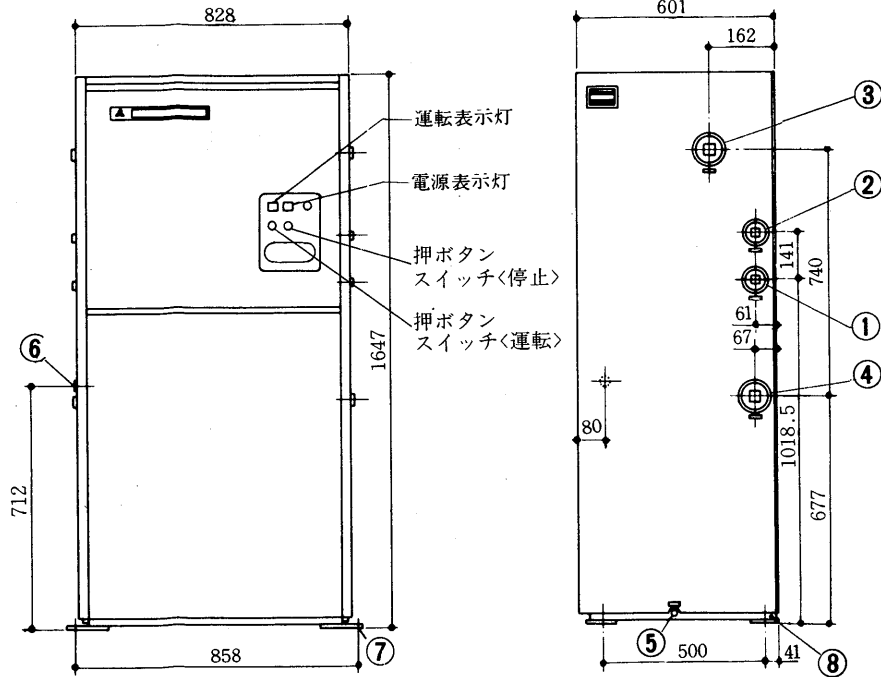
水冷式
チリングU

CR-8D・CRH-8D形



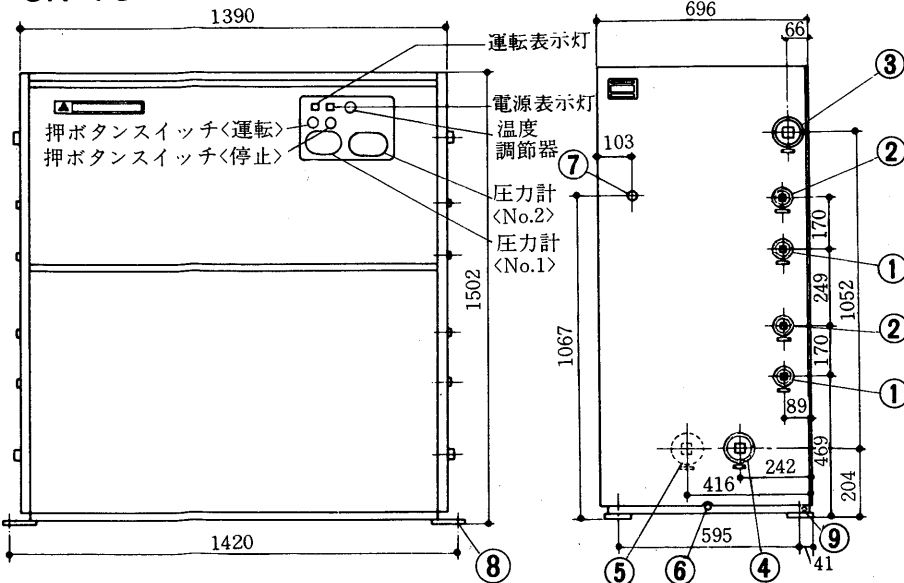
- 冷却水入口 PT1½ねじ<左右>.....①
- 冷却水出口 PT1½ねじ<左右>.....②
- 冷水入口 PT1½ねじ<左右>.....③
- 冷水出口 PT1½ねじ<左右>.....④
- ドレン出口 PT⅜ねじ<左右>.....⑤
- 電源穴<ゴムブッシュ>.....⑥
- 基礎ボルト穴2×2-φ14.....⑦
- アース端子<左側のみ>.....⑧

CR-10D・CRH-10D形



- 冷却水入口 PT1½ねじ<左右>.....①
- 冷却水出口 PT1½ねじ<左右>.....②
- 冷水入口 PT2ねじ<左右>.....③
- 冷水出口 PT2ねじ<左右>.....④
- ドレン出口 PT⅜ねじ<左右>.....⑤
- 電源穴<ゴムブッシュ>.....⑥
- 基礎ボルト穴2×2-φ14.....⑦
- アース端子<左側のみ>.....⑧

CR-15D・CRH-150D形



- 冷却水入口 PT1¼ねじ<左右>.....①
- 冷却水出口 PT1¼ねじ<左右>.....②
- 冷水入口 PT2ねじ<左右>.....③
- 冷水出口 PT2ねじ<右>.....④
- 冷水出口 PT2ねじ<左>.....⑤
- ドレン出口 PT⅜ねじ<左右>.....⑥
- 電源穴<ゴムブッシュ>.....⑦
- 基礎ボルト穴2×2-φ14.....⑧
- アース端子<左側のみ>.....⑨

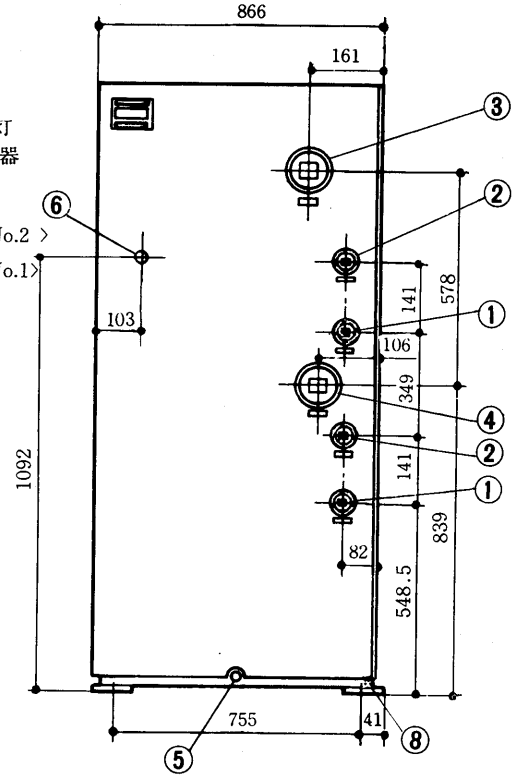
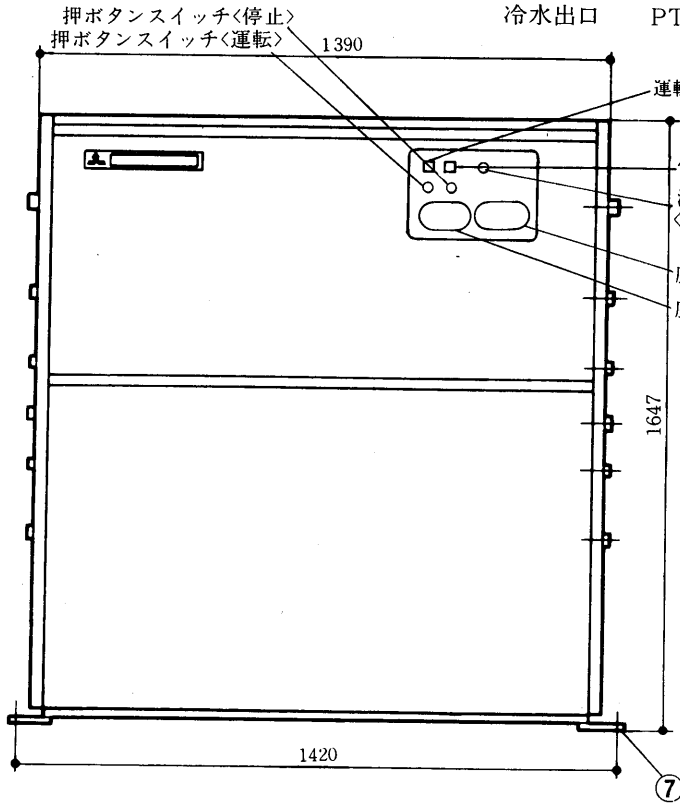
外形

CR<H>-K20

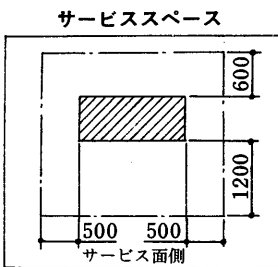
CR-K20D・CRH-K20D形

- 冷却水入口 PT1½ねじ<左右>…①
- 冷却水出口 PT1½ねじ<左右>…②
- 冷水入口 PT2ねじ<左右>…③
- 冷水出口 PT2ねじ<左右>…④

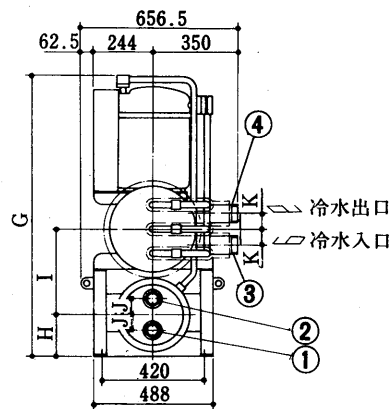
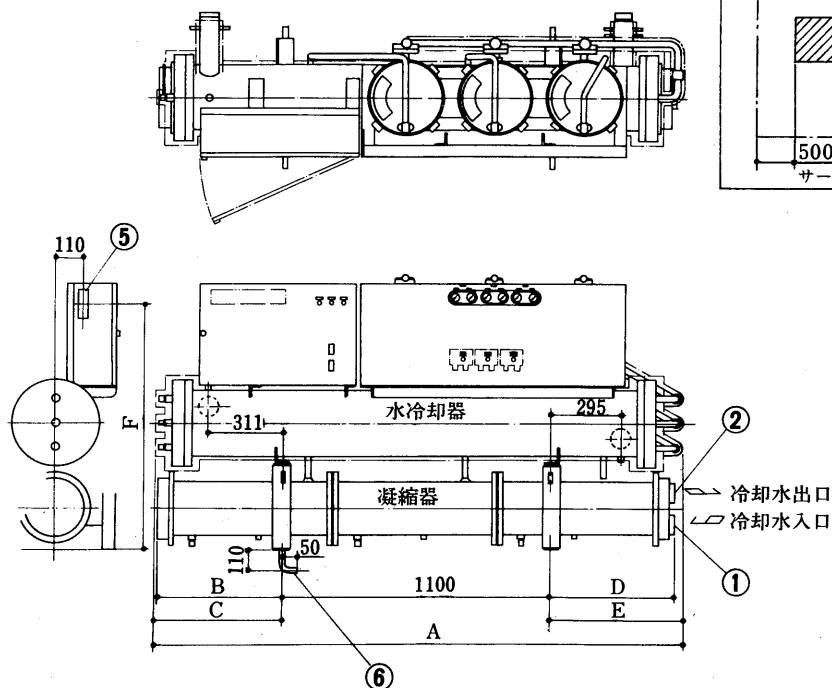
- ドレン出口 PT¾ねじ<左右>…⑤
- 電源穴<ゴムプッシュ>…⑥
- 基礎ボルト穴 2×2-φ14…⑦
- アース端子<左側のみ>…⑧



CR(H)-L20G·25G·30G形



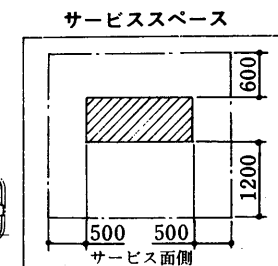
- 冷却水入口 PT“L”めねじ…①
- 冷却水出口 PT“L”めねじ…②
- 冷水入口 PT“L”おねじ…③
- 冷水出口 PT“L”おねじ…④
- 電源引込穴 40×120角穴…⑤
- 基礎ボルト M12×160…⑥



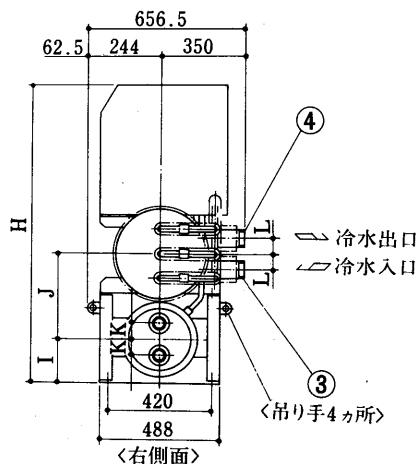
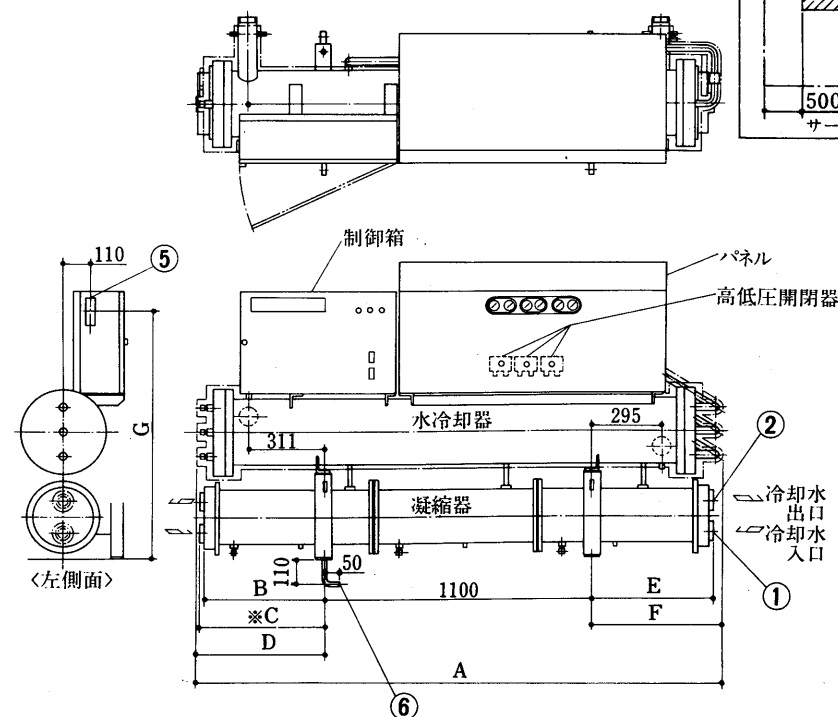
変化寸法表

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
CR-L20G	2167	440	522	461	545	925	1046	160	300	57.5	50	2
CR(H)-25G	2180	520	528	541	552	985	1127	160	335	57.5	65	2
CR(H)-30G	2180	515	528	515	552	1030	1172	190	350	64	65	2½

CR(H)-L20G·25G·30G形<パネル付>



- 冷却水入口 PT“M”めねじ…①
- 冷却水出口 PT“M”めねじ…②
- 冷水入口 PT“M”おねじ…③
- 冷水出口 PT“M”おねじ…④
- 電源引込穴 40×120角穴…⑤
- 基礎ボルト M12×160…⑥



変化寸法表

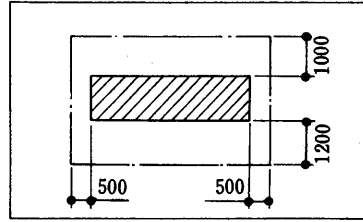
※印461寸法は冷却水配管方向左側の場合を示します。

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
CR-L20G	2167	440	522	461	461	545	925	1167	160	300	57.5	50	2
CR(H)-25G	2180	520	528	541	541	552	985	1227	160	335	57.5	65	2
CR(H)-30G	2180	515	528	537	515	552	1030	1272	190	350	64	65	2½

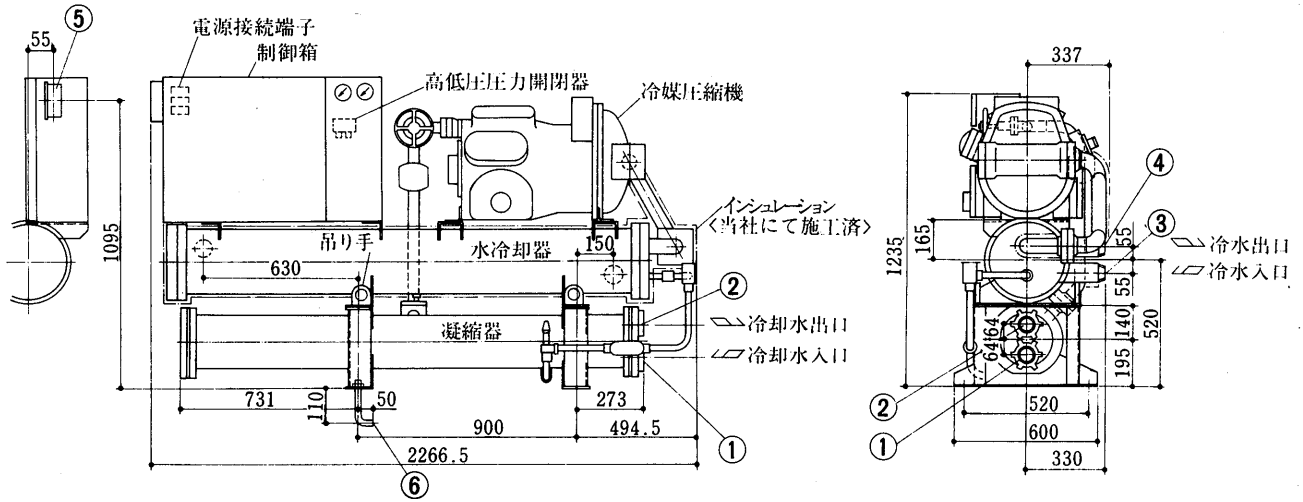
CR<H>-40

CR<H>-40G形

サービススペース

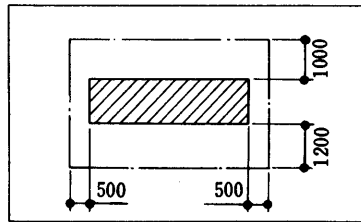


- 冷却水入口 PT2½ねじ …①
- 冷却水出口 PT2½ねじ …②
- 冷水入口 JIS10K-65…③
- 冷水出口 JIS10K-65…④
- 基礎ボルト M16×250……⑤
- 電源引込穴 50×160角穴…⑥

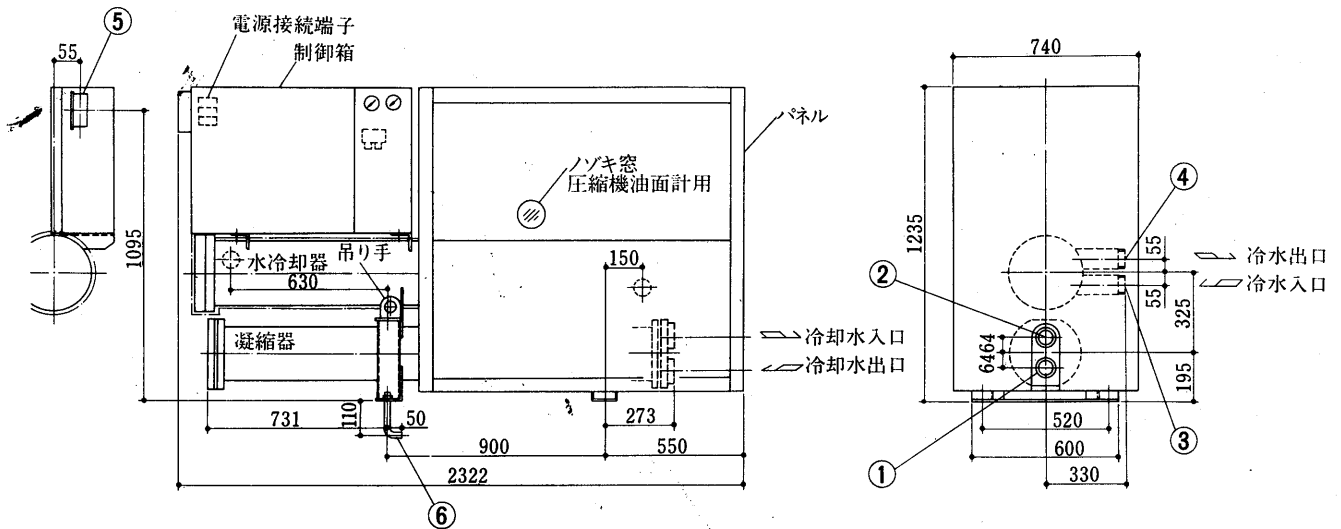


CR<H>-40G形<パネル付>

サービススペース

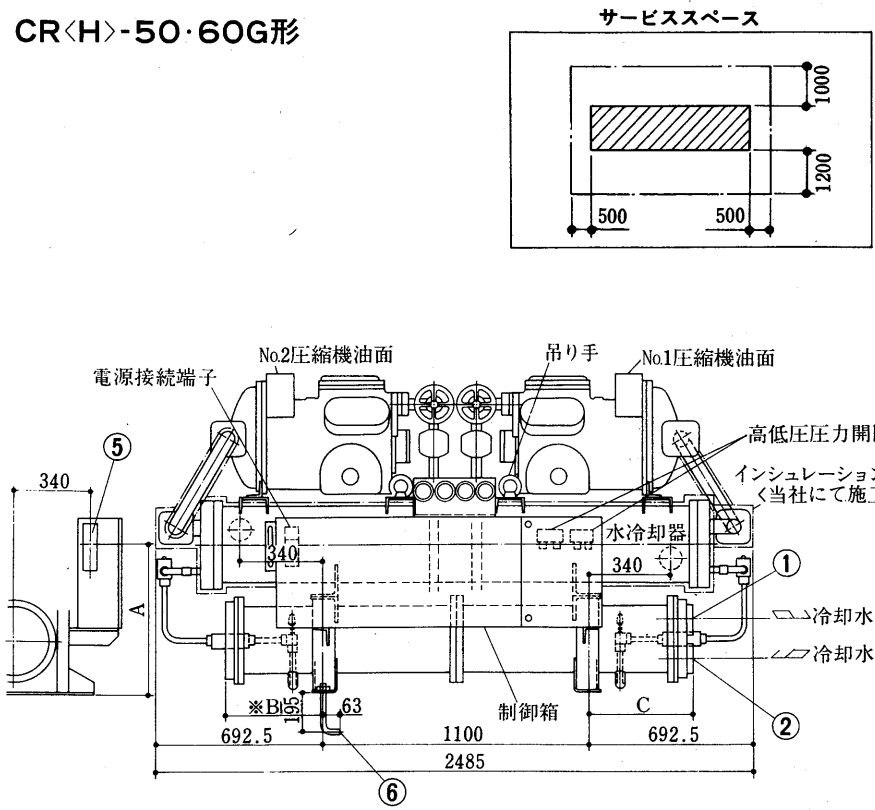


- 冷却水入口 PT2½めねじ…①
- 冷却水出口 PT2½めねじ…②
- 冷水入口 PT2½おねじ…③
- 冷水出口 PT2½おねじ…④
- 電源引込穴 50×160角穴…⑤
- 基礎ボルト M12×60……⑥

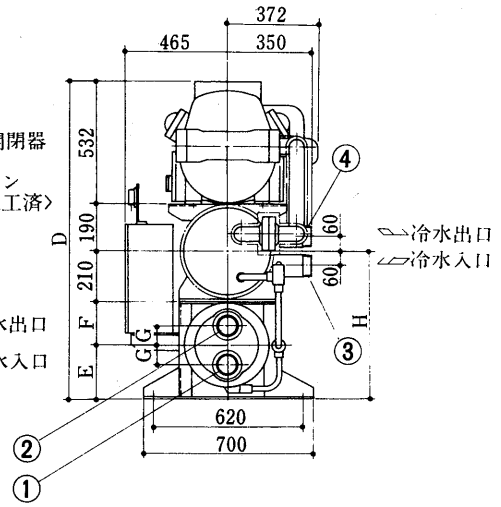


水冷式
チリングク

CR<H>-50・60G形



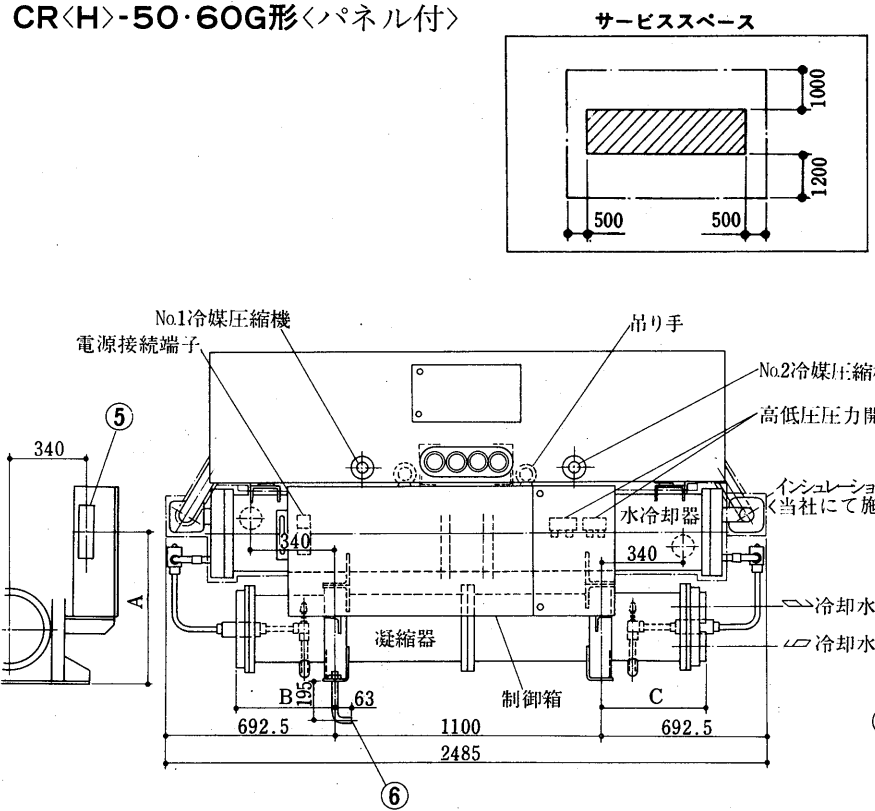
- 冷却水入口 PT3ねじ.....①
- 冷却水出口 PT3ねじ.....②
- 冷水入口 PT3ねじ.....③
- 冷水出口 PT3ねじ.....④
- 電源引込口 50×160角穴...⑤
- 基礎ボルト M16×250.....⑥



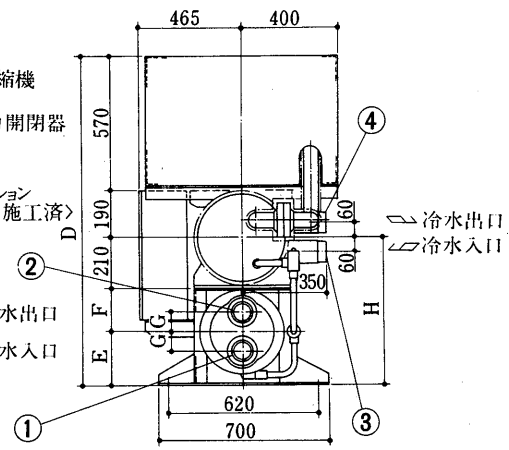
変化寸法表

形名	A	B	C	D	E	F	G	H
CR-50G	610	392.5	414.5	1282	195	155	64	560
CR-60G	640	402.5	428.5	1332	220	180	80	610

CR<H>-50・60G形<パネル付>



- 冷却水入口 PT3ねじ.....①
- 冷却水出口 PT3ねじ.....②
- 冷水入口 PT3ねじ.....③
- 冷水出口 PT3ねじ.....④
- 電源引込口 50×160角穴...⑤
- 基礎ボルト M16×250.....⑥



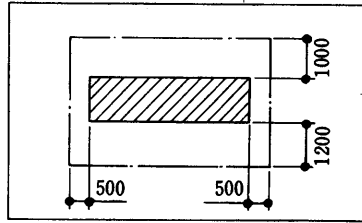
変化寸法表

形名	A	B	C	D	E	F	G	H
CR-50G	610	392.5	414.5	1320	195	155	64	560
CR-60G	640	402.5	428.5	1370	220	180	80	610

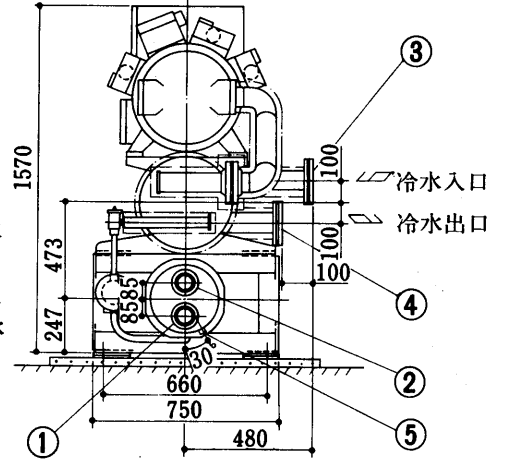
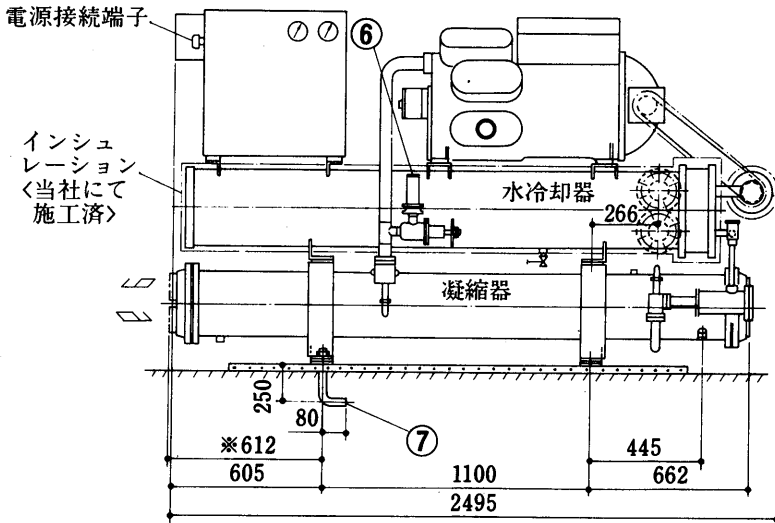
外形

CR<H>-80F形

サービススペース



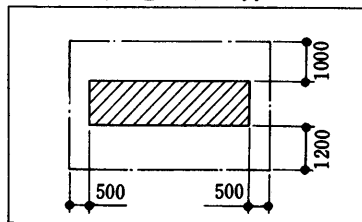
- 冷却水入口 PT4ねじ.....①
- 冷却水出口 PT4ねじ.....②
- 冷水入口 JIS10K-100.....③
- 冷水出口 JIS10K-100.....④
- 溶栓 銅管φ9.5をフレア接続...⑤
- 冷媒放出口 PT1¼ねじ.....⑥
- 基礎ボルト M20×315⑦



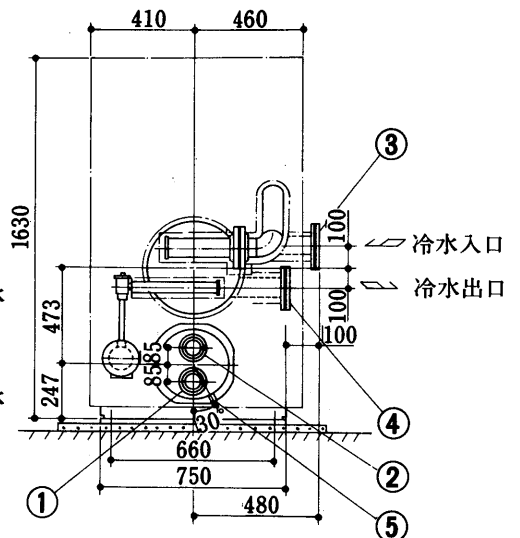
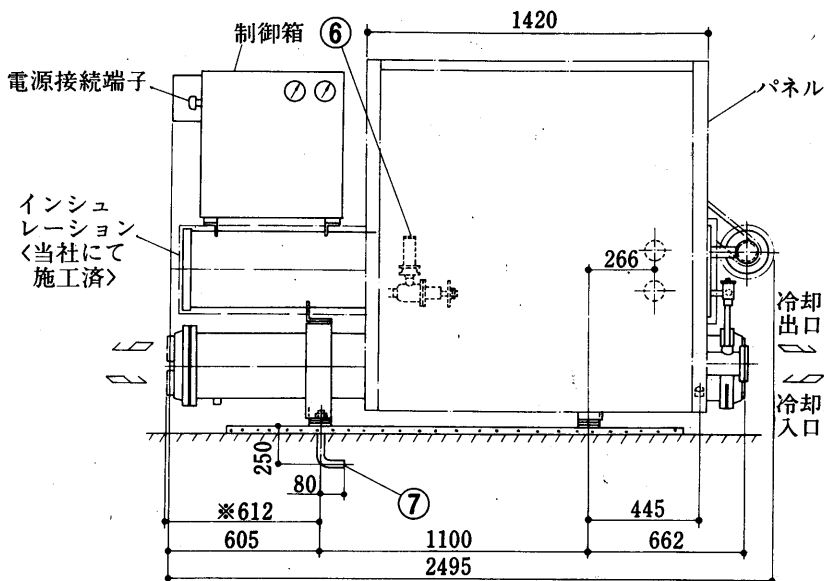
※印 612寸法は冷却水配管方向左側の場合を示します。

CR<H>-80F形<パネル付>

サービススペース

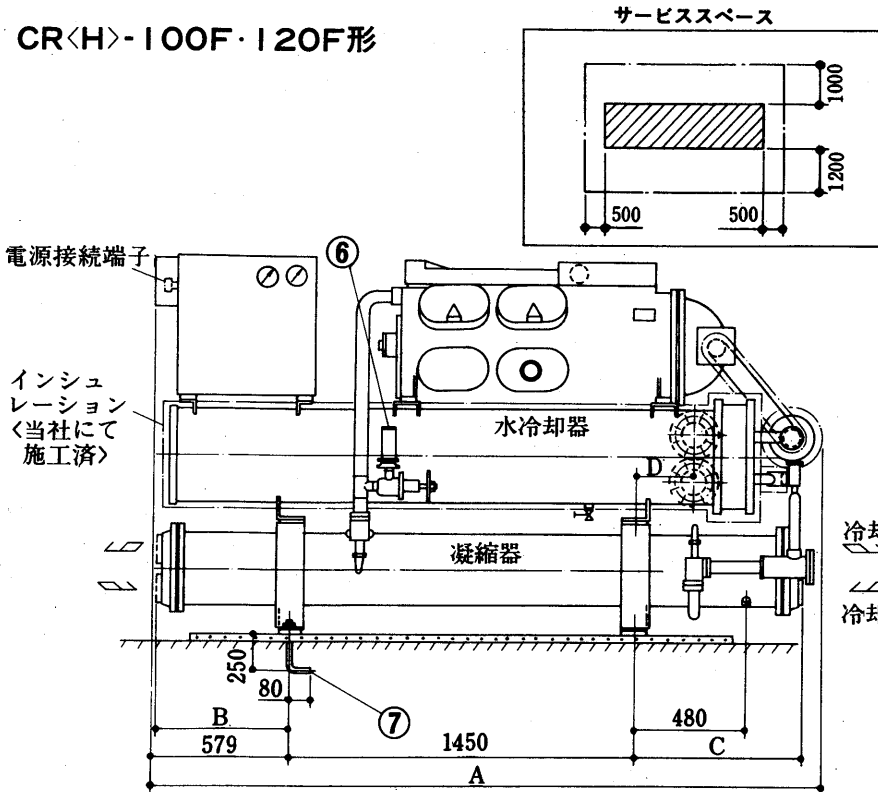


- 冷却水入口 PT4ねじ.....①
- 冷却水出口 PT4ねじ.....②
- 冷水入口 JIS10K-100.....③
- 冷水出口 JIS10K-100.....④
- 溶栓 銅管φ9.5をフレア接続...⑤
- 冷媒放出口 PT1¼ねじ.....⑥
- 基礎ボルト M20×315⑦

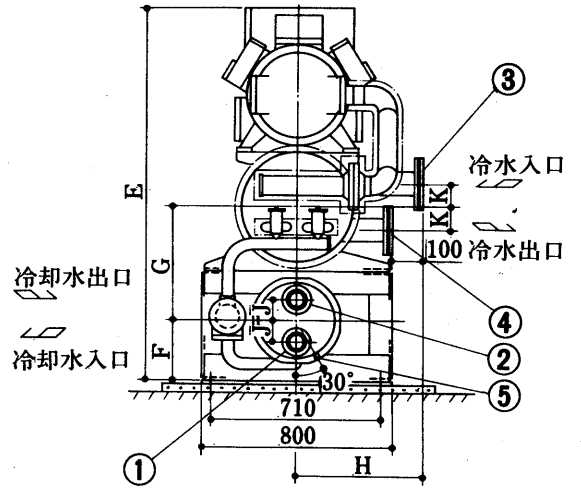


※印612寸法は冷却水配管方向左側の場合を示します。

CR<H>-100F・120F形



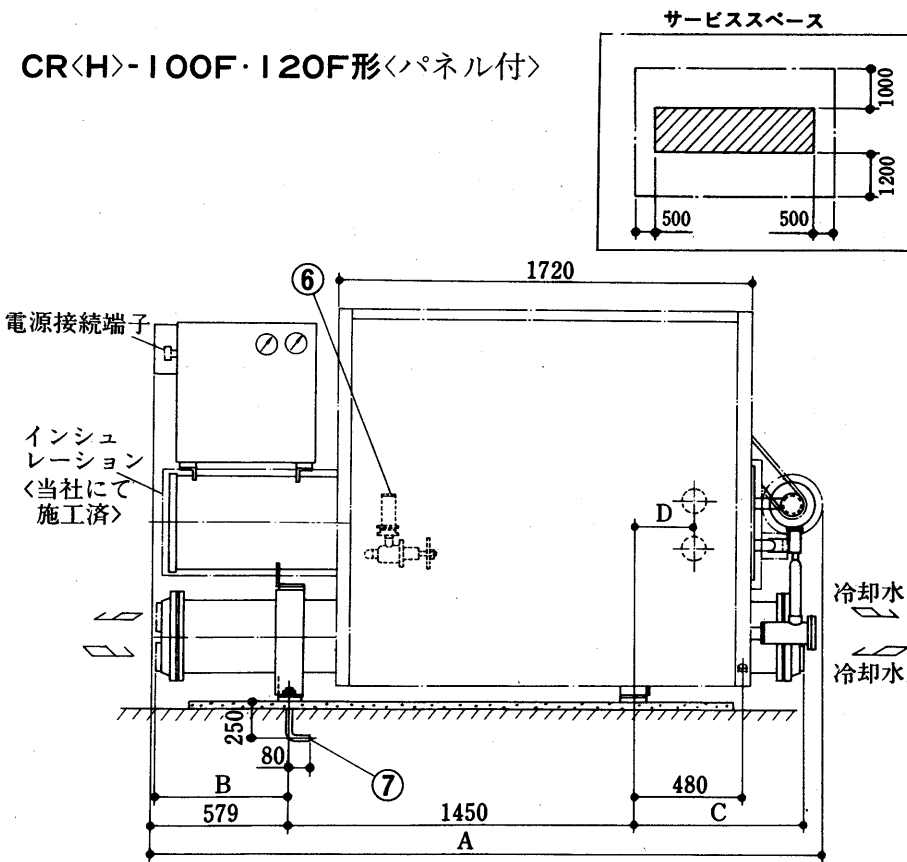
- 冷却水入口 PT4ねじ.....①
- 冷却水出口 PT4ねじ.....②
- 冷水入口 JIS10K-100.....③
- 冷水出口 JIS10K-100.....④
- 溶栓 銅管φ9.5をフレア接続...⑤
- 冷媒放出口 PT1¼ねじ.....⑥
- 基礎ボルト M20×315⑦



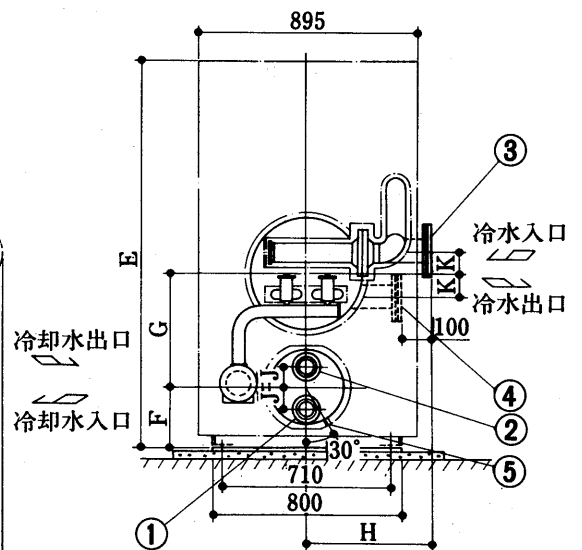
変化寸法表 B寸法は冷却水配管方向左側の場合を示します。

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
CR<H>-100F	2803	562	712	245	1570	247	473	490	85	100
CR<H>-120F	2804	576	726	240	1655	265	515	510	95	110

CR<H>-100F・120F形<パネル付>



- 冷却水入口 PT4ねじ.....①
- 冷却水出口 PT4ねじ.....②
- 冷水入口 JIS10K-100.....③
- 冷水出口 JIS10K-100.....④
- 溶栓 銅管φ9.5をフレア接続...⑤
- 冷媒放出口 PT1¼ねじ.....⑥
- 基礎ボルト M20×315⑦



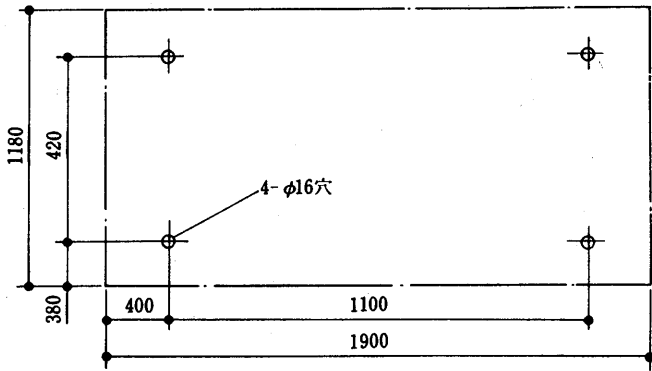
変化寸法表 B寸法は冷却水配管方向左側の場合を示します。

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
CR<H>-100F	2803	562	712	245	1630	247	473	490	85	100
CR<H>-120F	2804	576	726	240	1715	265	515	510	95	110

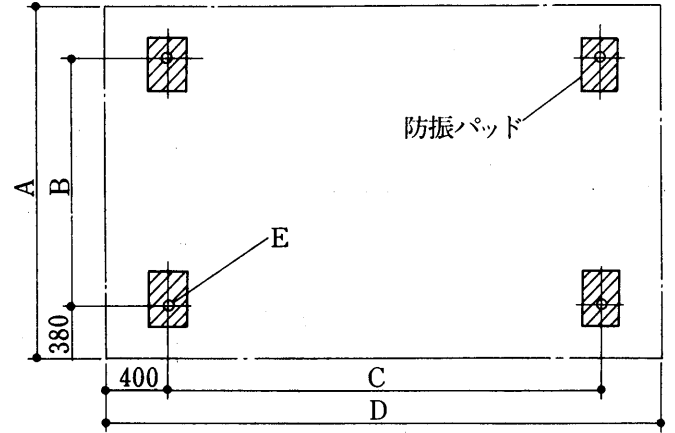
基礎寸法図・CR-2

基礎寸法図

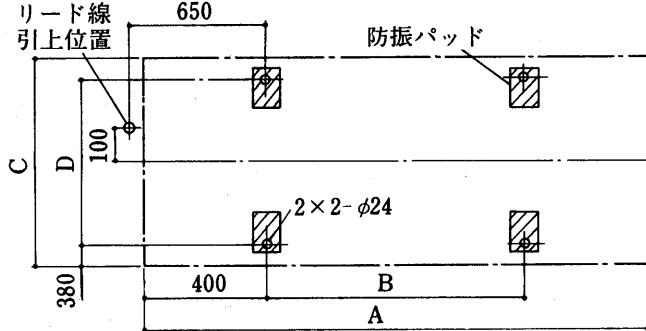
CR<H>-L20G~30G形



CR<H>-40G・50G・60G形



CR<H>-80F~120F形



変化寸法表

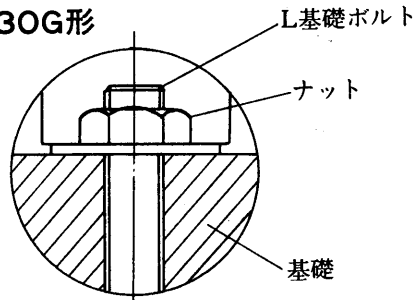
形名	A	B	C	D	E
CR-40G	1280	520	900	1700	φ16
CR-50・60G	1380	620	1100	1900	φ20

変化寸法表

形名	A	B	C	D
CR-80F	1900	1100	1420	660
CR-100F・120F	2250	1450	1470	710

基礎ボルト詳細

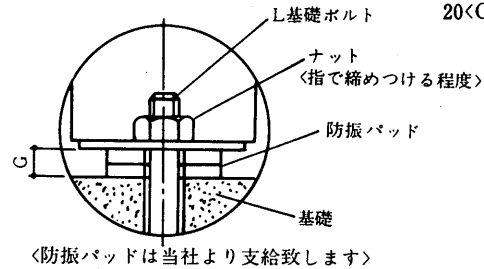
CR<H>-L20G~30G形



CR<H>-40G~120F形

防振パッド取付要領

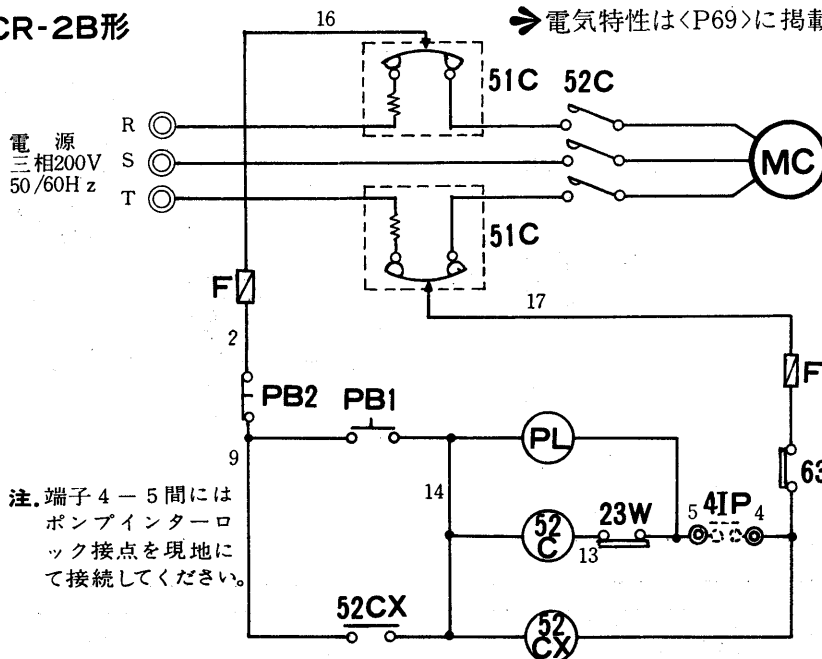
G=16<CR-40G~80F>
20<CR-100F・120F>



<防振パッドは当社より支給致します>

1.1.3 電気系統図

CR-2B形



注. 端子4-5間にはポンプインターロック接点を現地に接続してください。

➡電気特性は<P69>に掲載。CR-2B・CR<H>-3~10形記号説明

記号	名称
MC	圧縮機用電動機
52C	電磁接触器<圧縮機>
51C	過電流継電器<圧縮機>
49C	温度開閉器<圧縮機>
63D	圧力開閉器<高低圧>
63H	圧力開閉器<高圧>
26W	温度開閉器<凍結防止>
23W, 23W1	温度調節器<冷水制御>
23W2	温度調節器<温水制御>
4IP	インターロック接点<ポンプ>
52CX	補助継電器
PL1	表示灯<電源>
PL・PL2	表示灯<運転>
PB1	押ボタンスイッチ<始動>
PB2	押ボタンスイッチ<停止>
H	電熱器<クランクケース>
SW	スイッチ<冷暖切替>
F	ヒューズ

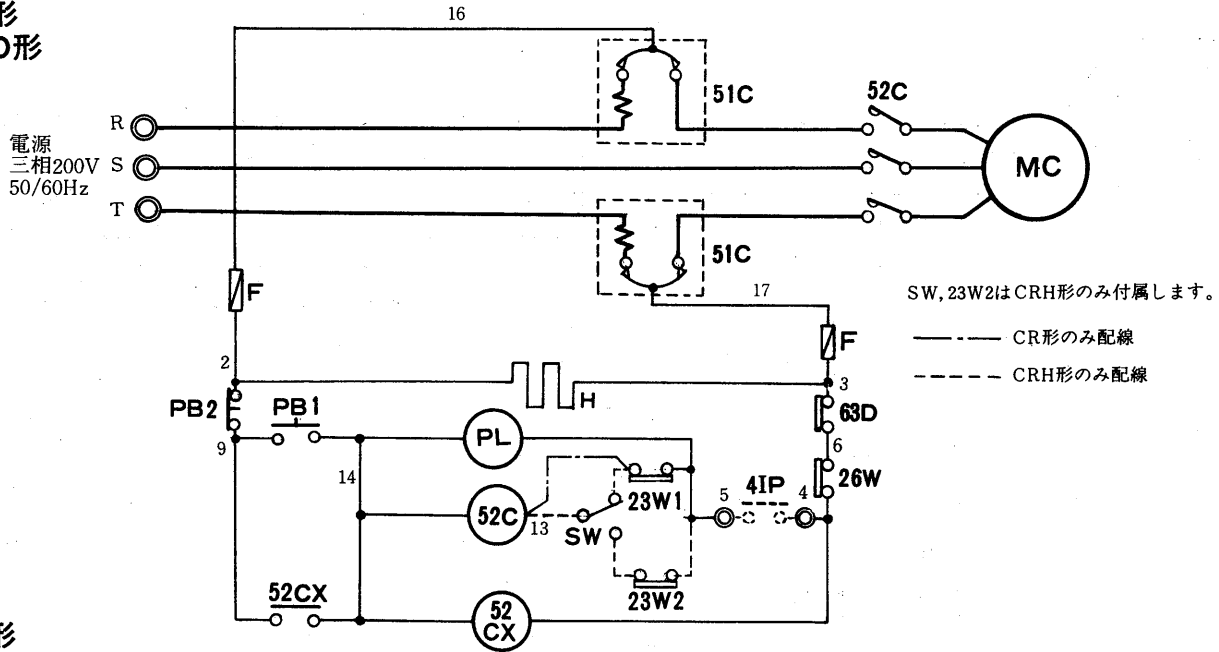
注1. 端子4-5間にはポンプインターロック接点を現地に接続してください。

2. ◎印端子は現地差込端子を示します。

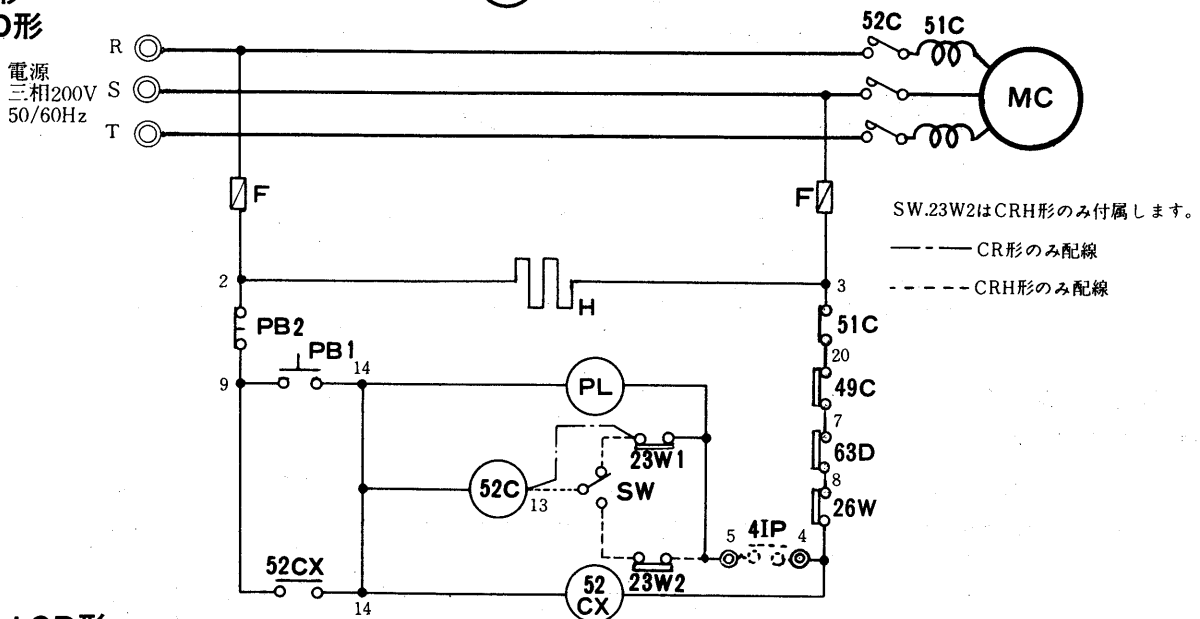
➔ 電気特性はくP69>に掲載。

水冷式
チリングU

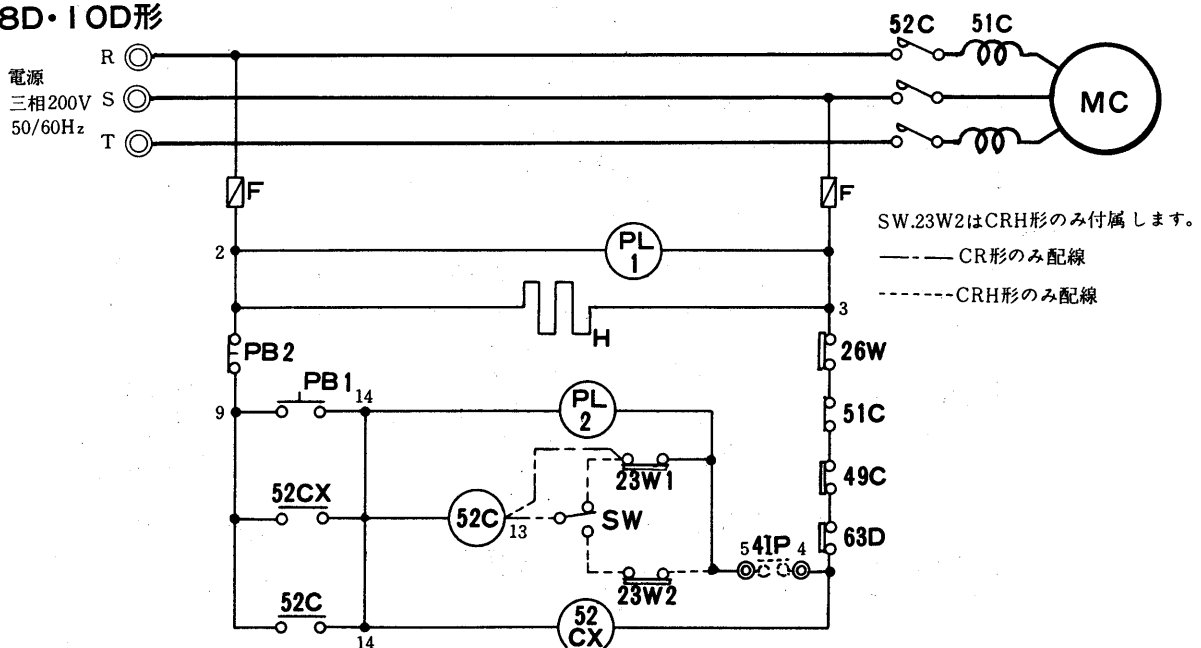
CR-3D形
CRH-3D形



CR-5D形
CRH-5D形

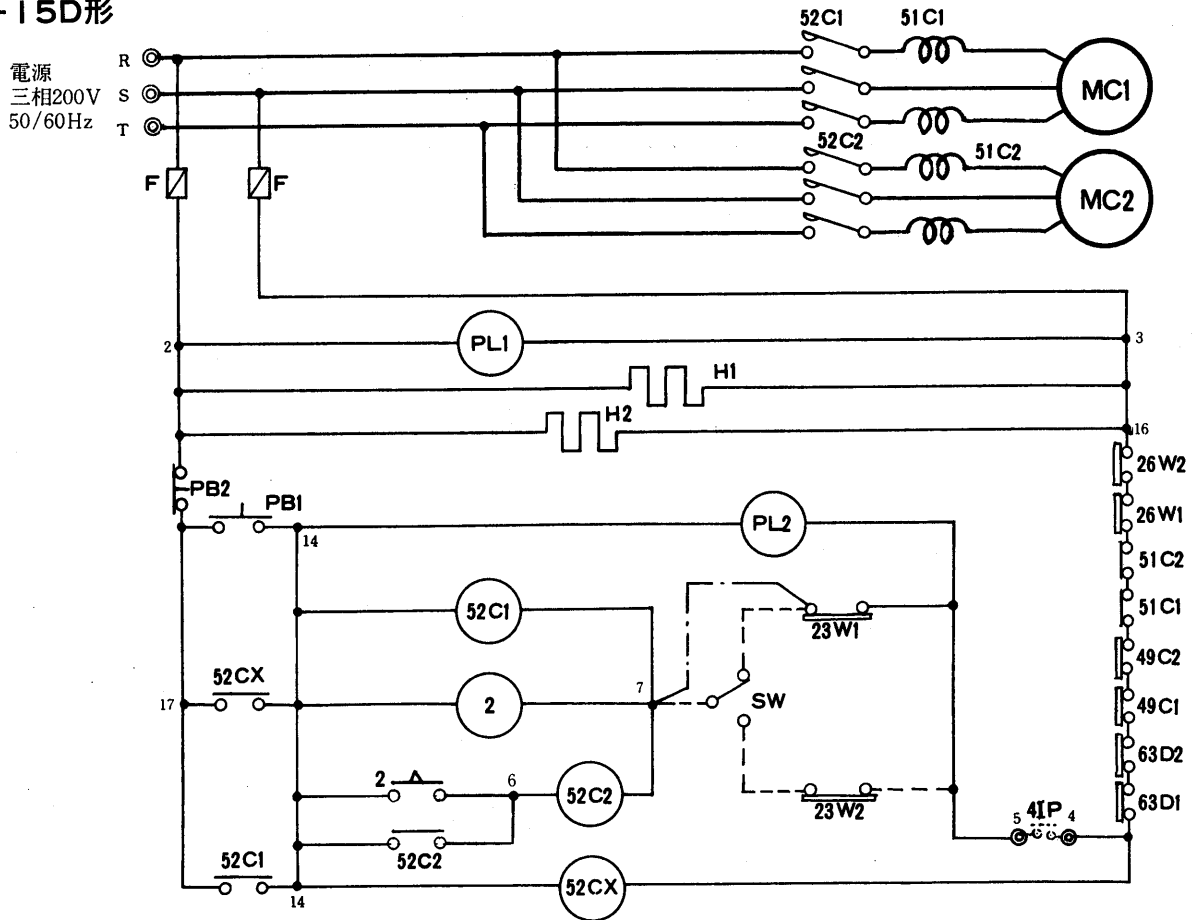


CR-8D・10D形
CRH-8D・10D形

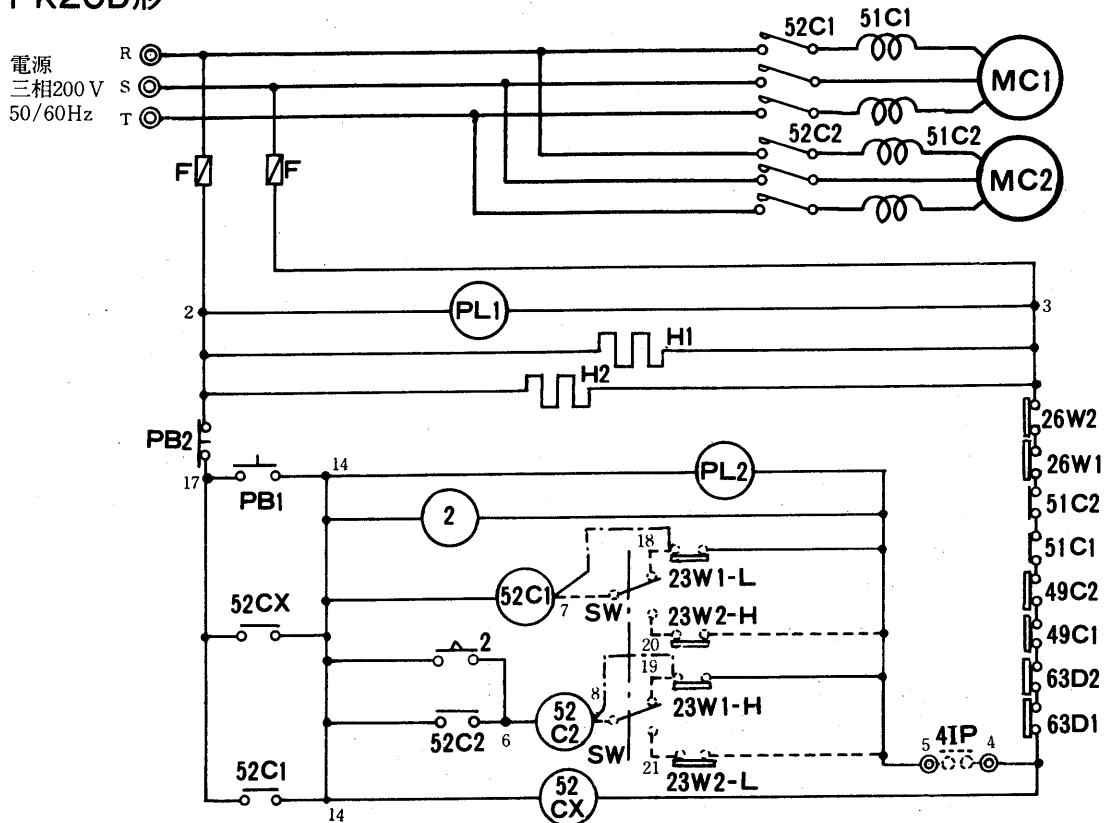


電気

CR-15D形
CRH-15D形



CR-K20D形
CRH-K20D形



CR-15D・K20D形 記号説明
CRH-15D・K20D形

記号	名称	記号	名称	記号	名称
MC1・2	圧縮機用電動機	23W2	温度調節器<温水制御>	PL2	表示灯<運転>
52C1・2	電磁接触器<圧縮機>	23W2-H	温度調節器<温水制御>	PB1	押ボタンスイッチ<始動>
51C1・2	過電流継電器<圧縮機>	23W2-L	温度調節器<温水制御>	PB2	押ボタンスイッチ<停止>
49C1・2	温度開閉器<圧縮機>	26W1・2	温度開閉器<凍結防止>	H1・2	電熱器<クランクケース>
63D1・2	圧力開閉器<高低圧>	2	限時継電器<遅延>	SW	スイッチ<冷暖切換>
23W1	温度調節器<冷水制御>	4IP	インターロック接点<ポンプ>	F	ヒューズ
23W1-H	温度調節器<冷水制御>	52CX	補助継電器		
23W1-L	温度調節器<冷水制御>	PL1	表示灯<電源>		

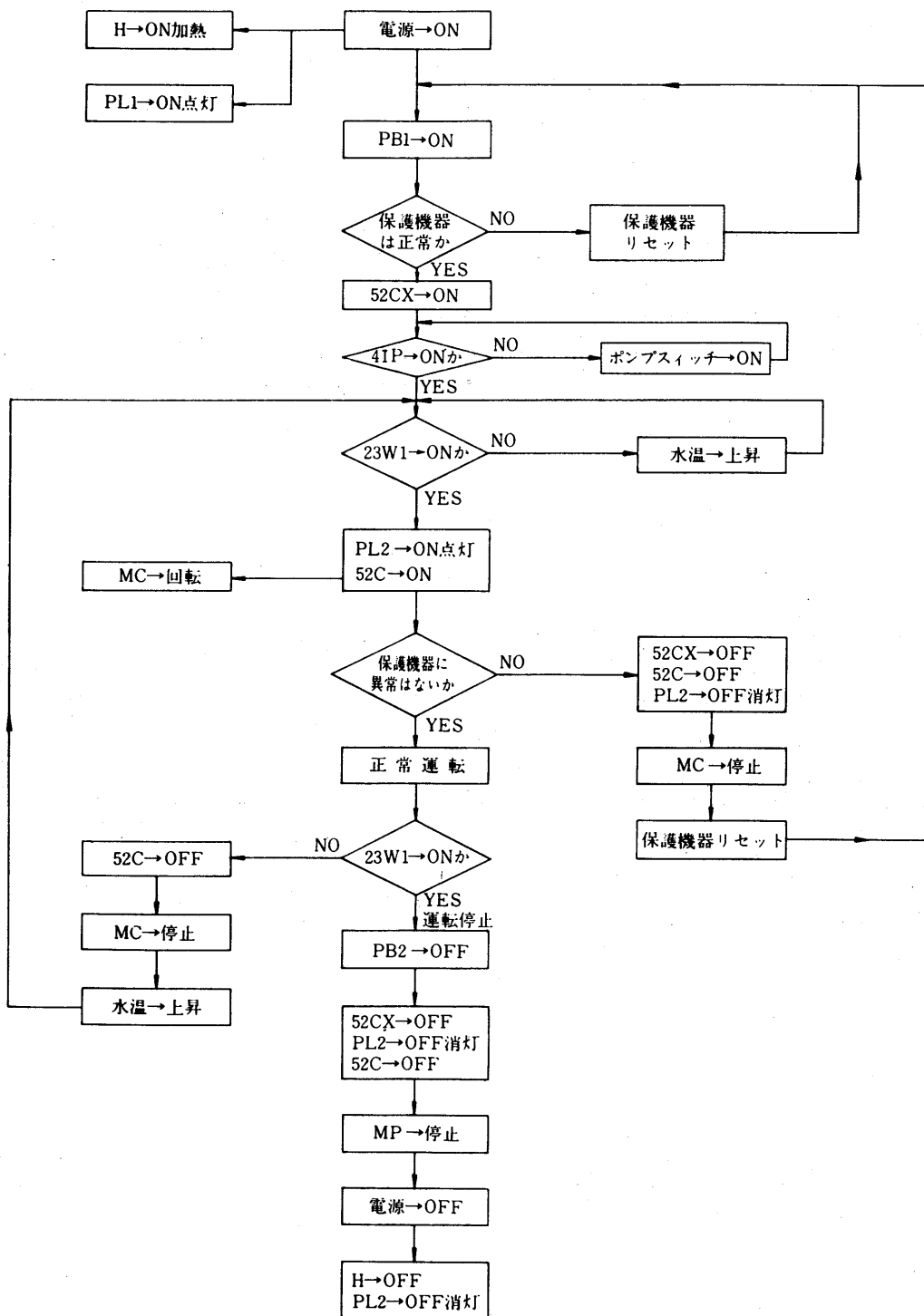
注1. SW, 23W2・23W2-H・23W2-LはCRH形のみ付属します。

----- CR形のみ配線 ----- CRH形のみ配線

➔ 電気特性は<P69>に掲載。

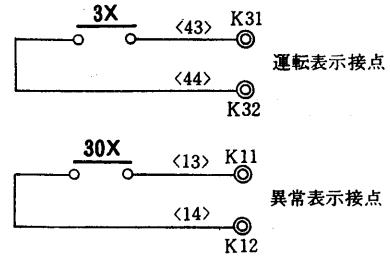
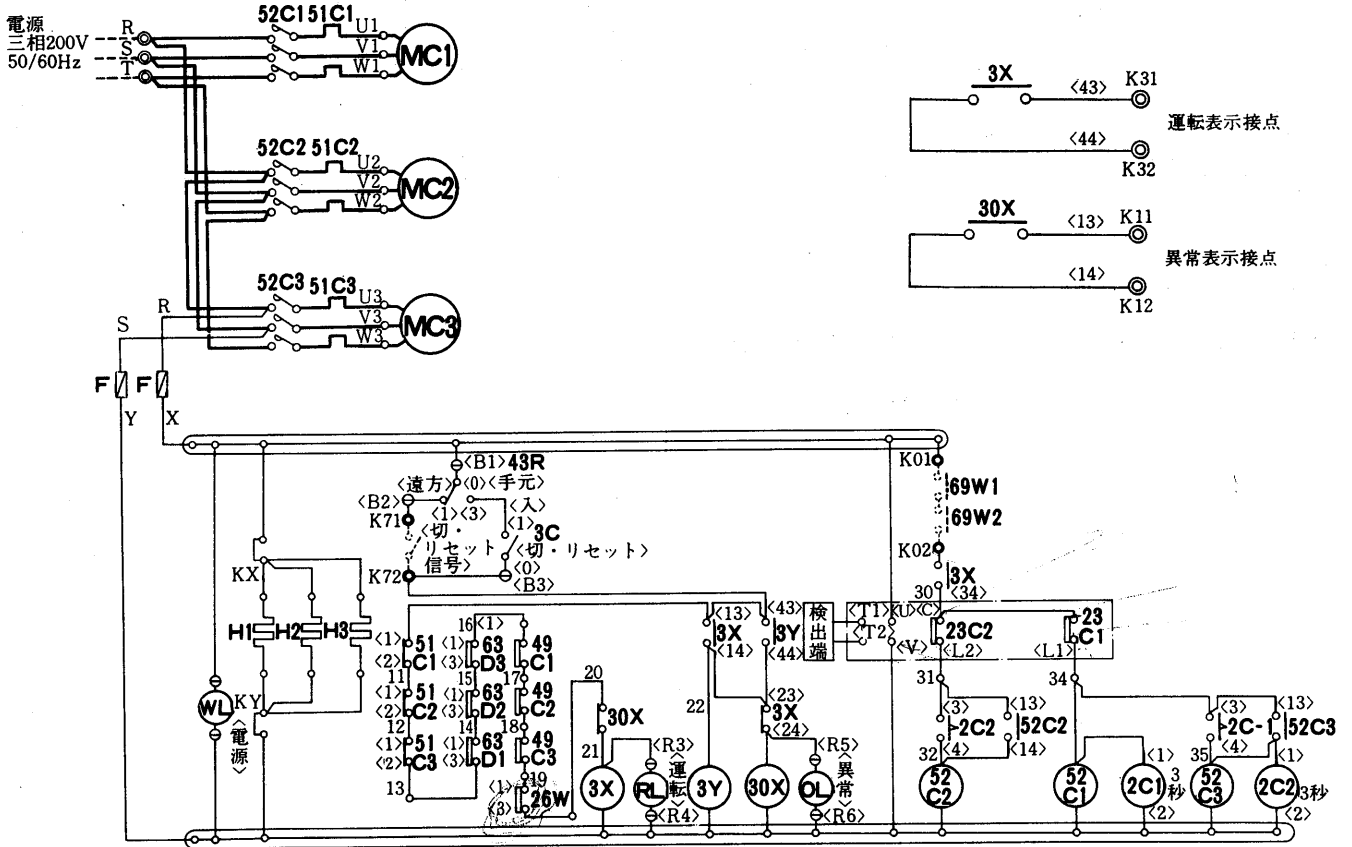
- 端子4-5間にはポンプインターロック接点を現地ににて接続してください。
- ◎印端子は現地接続端子を示します。

運転・停止フローチャート<CR-8D・10D形>



CR-L20G・25G・30G形<直入始動>

➡電気特性は<P70>に掲載。
作動説明P26を参照



CR-L20G~30G形記号説明

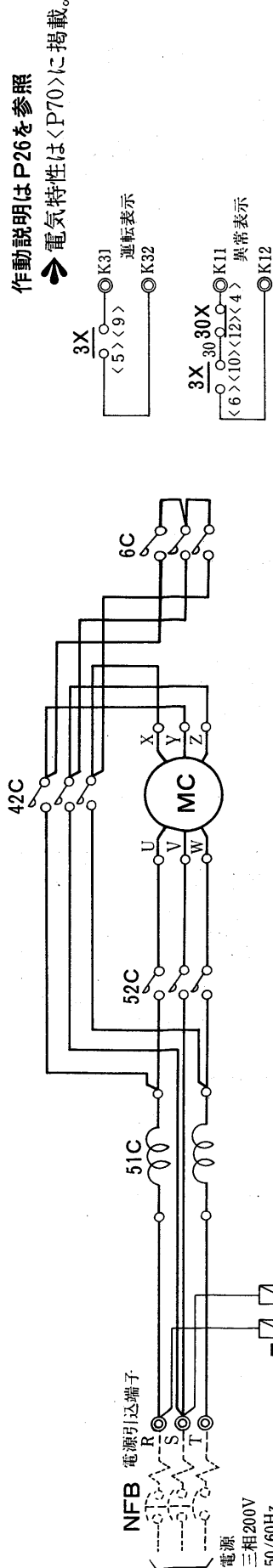
記号欄の< >は別売部品

記号	名 称	記号	名 称	記号	名 称
MC1~3	圧縮機用電動機	49C1~3	温度開閉器<巻線>	H1~H3	電熱器<クランクケース>
52C1~3	電磁接触器	23C1,2	温度調節器	43R	切換開閉器
51C1~3	過電流継電器	69W1	ポンプインターロック<冷水>	3C	操作開閉器
3X, 3Y, 30X	補助継電器	69W2	ポンプインターロック<冷却水>	WL	表示灯<白色>
2C1,2	限時継電器	26W	温度開閉器<凍結>	RL	表示灯<赤色>
63D1~3	圧力開閉器<高低圧>	F	ヒューズ	OL	表示灯<橙色>

- 注1. 保護開閉器が作動した時には、ユニットは停止しランプ表示します。<OL点灯>異常の原因を除去し3C<切・リセット>を切に操作後再始動下さい。
2. ポンプインターロック<69W1・69W2>はK01, K02に必ず接続下さい。
3. ユニット停止時、主電源をOFFにする場合には電熱器<H1, H2, H3>の電源は別電源とし、KX, KYに接続下さい。その時X-KX, Y-KYの短絡線は取外し下さい。
4. 破線部分は弊社手配外です。
5. 遠方盤用端子接続、又電熱器別電源の場合は端子配列図を参照の上配線接続下さい。
6. ○○○ コモン端子 ⊕ ファストン端子 ◦ 中継端子 ◎ 遠方盤端子

CR-40G形

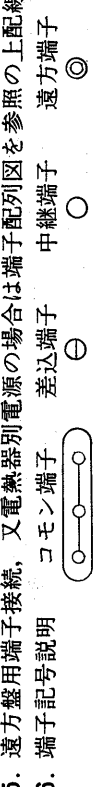
作動説明はP26を参照
電気特性は<P70>に掲載。



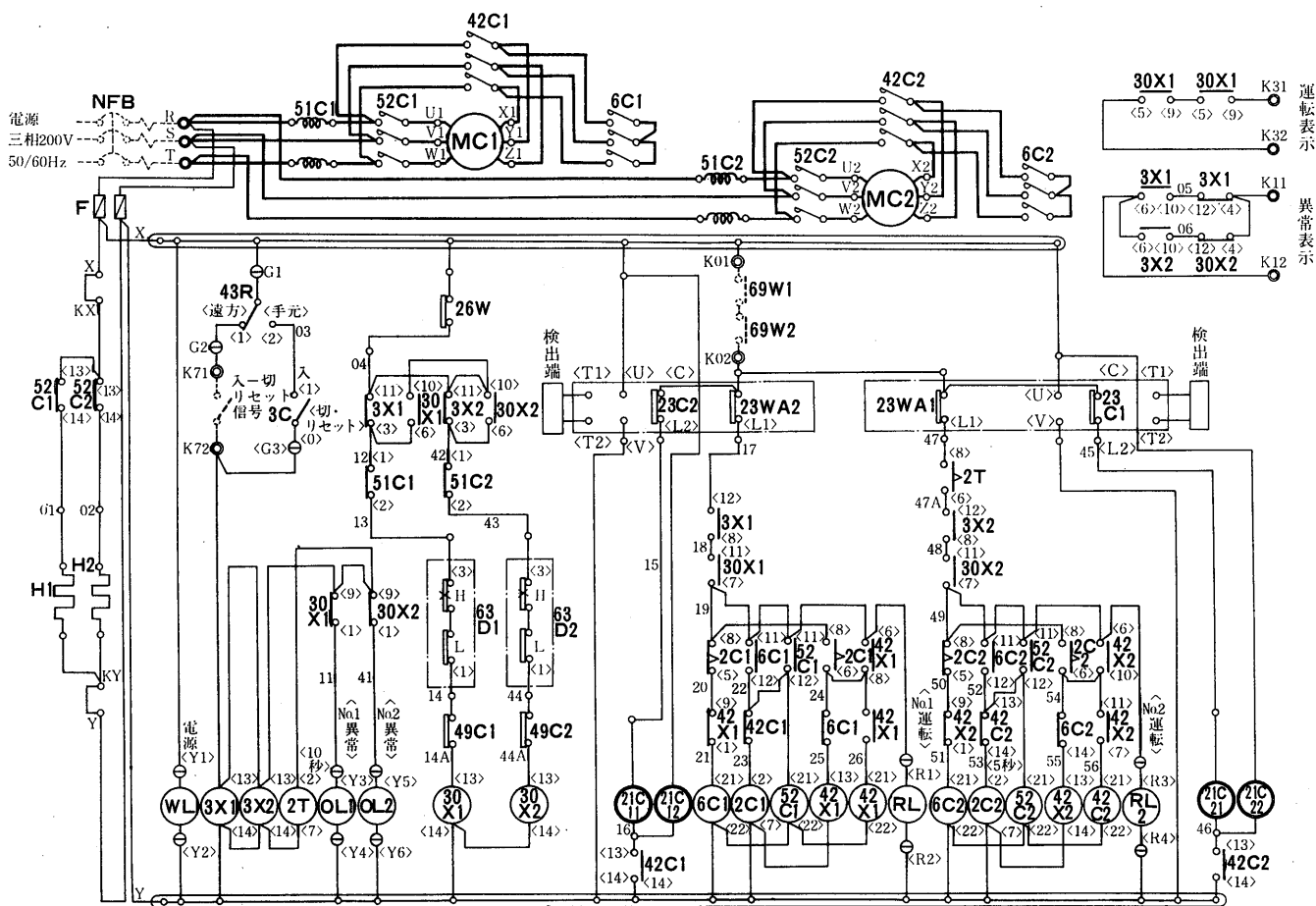
記号説明

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	3C	操作閉閉器	63D	圧力閉閉器<高低圧>	OL	表示灯<橙>
51C	過電流継電器	3X	補助継電器	21C1・2	電磁弁	RL	表示灯<赤>
52C	電磁接点	30X	補助電器	49C	温度閉閉器<巻線>	F	ヒューズ
42C	電磁接点	42X, 42C	補助電器	23C・23WA	温度調節器	69W1	ポンプインターロック<冷水>
6C	電磁接点	2C	限時継電器	H	電熱器<クランクケース>	69W2	ポンプインターロック<水冷水>
43R	切換閉閉器	26W	温度閉閉器<凍結>	WL	表示灯<白>		

- 注1. 保護閉閉器が作動した時にはユニットは停止しランプ表示します。<OL点灯>異常の原因を除去し、3C<切りセット>に操作後、再始動下さい。
2. ポンプインターロック<69W1, 69W2>はK01, K02に必ず接続下さい。
3. ユニット停止時、主電源をOFFにする場合には電熱器<H>の電源は、別電源とし、KX・KYに接続下さい。その時X-KX・Y-KYの短絡線は取外し下さい。
4. 破線部分は弊社手配外です。
5. 遠方盤用端子接続、又電熱器別電源の場合は端子配列図を参照の上配線下さい。
6. 端子記号説明



CR-50G・60G形



記号説明

記号	名称	記号	名称	記号	名称
MC1~3	圧縮機用電動機	42X1・2	補助継電器	H1~3	電熱器<クランクケース>
51C1~3	過電流継電器	2T	限時継電器	WL	表示灯<白>
52C1~3	電磁接触器	2C1・2	限時継電器	OL1・2	表示灯<橙>
42C1・2	電磁接触器	26W	温度開閉器<凍結>	RL1・2	表示灯<赤>
6C1・2	電磁接触器	63D1~3	圧力開閉器<高低圧>	F	ヒューズ
43R	切換開閉器	21C11・12	電磁弁<容量制御>	69W1	ポンプインターロック<冷水>
3C	操作開閉器	21C21・22	電磁弁<容量制御>	69W2	ポンプインターロック<水冷水>
3X1・2	補助継電器	49C1~3	温度開閉器<巻線>		
30X1・2	補助継電器	23C1・2, 23WA1・2	温度調節器		

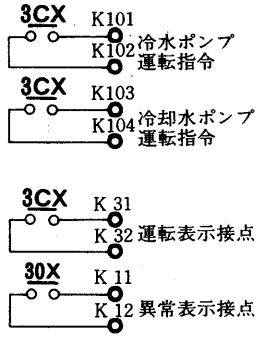
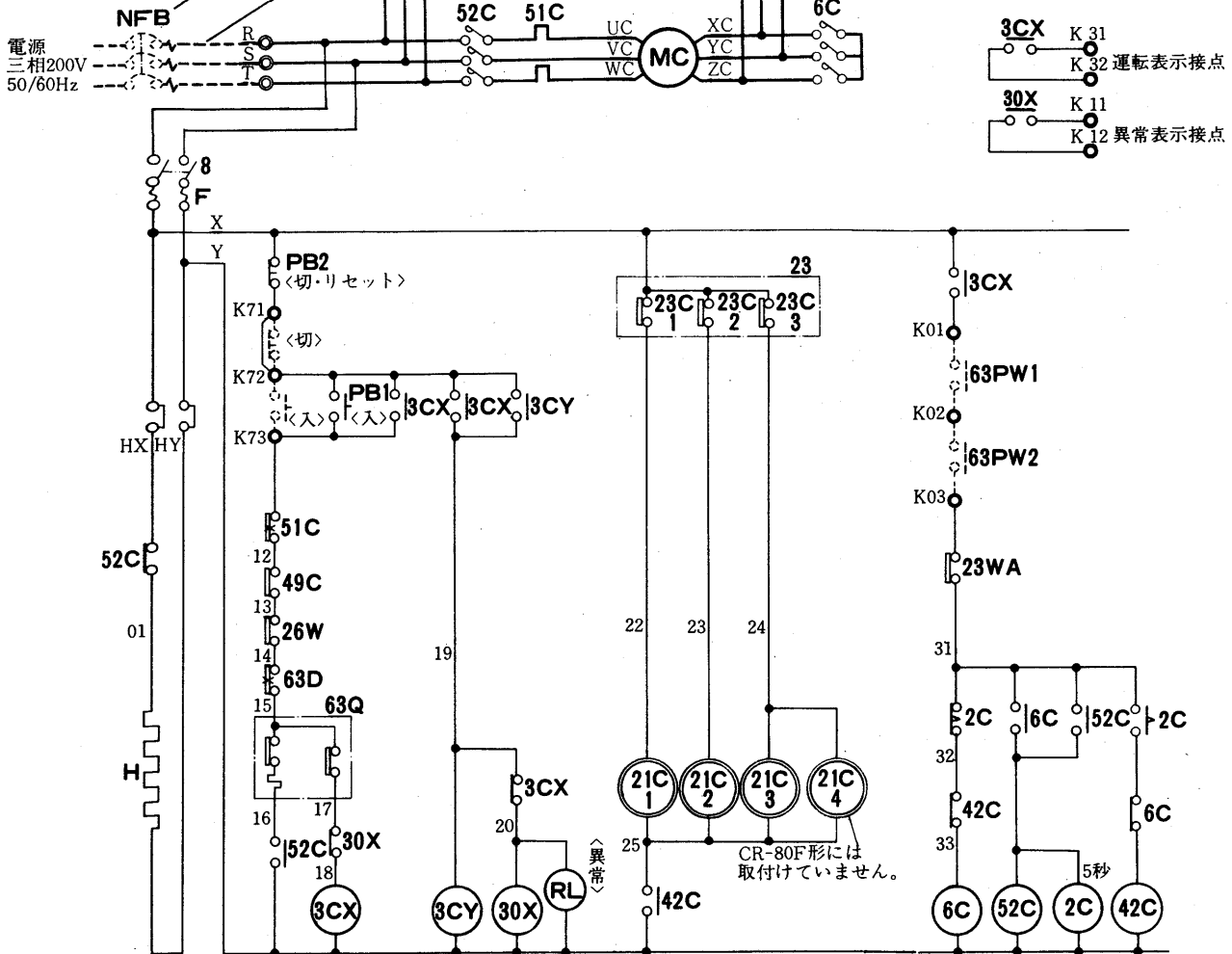
- 注1. 保護開閉器が作動した時にはユニットは停止しランプ表示します。<OL点灯>異常の原因を除去し、3C<切りセット>に操作後、再始動下さい。
2. ポンプインターロック<69W1, 69W2>はK01, K02に必ず接続下さい。
3. ユニット停止時、主電源をOFFにする場合には電熱器<H>の電源は、別電源とし、KX・KYに接続下さい。その時X-KX・Y-KYの短絡線は取外し下さい。
4. 破線部分は弊社手配外です。
5. 遠方盤用端子接続、又電熱器別電源の場合は端子配列図を参照の上配線下さい。
6. 端子記号説明 コモン端子 差込端子 中継端子 遠方盤端子



➡ 電気特性は<P70>に掲載。
 作動説明P27を参照

CR-80F・100F・120F形<人-△方式>

CR-80F	NF-400, 400A	150mm ²
CR-100F	NF-600, 500A	200mm ²
CR-120F	NF-600, 500A	250mm ²



記号説明

記号欄の< >は別売部品

記号	名称	記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	26W	温度開閉器<凍結>	8	刃形開閉器
51C	過電流継電器	21C1~4	電磁弁	PB1, 2	押しボタンスイッチ
49C	温度開閉器<巻線>	3CX, 3CY	補助継電器	RL	表示灯<赤色>
63D	圧力開閉器<高低圧>	30X	補助継電器	H	電熱器<クランクケース>
63Q	圧力開閉器<油圧>	2C	限時継電器	F	ヒューズ
<63PW1>	ポンプインターロック<冷水>	23<23WA, 23C>	温度調節器		
<63PW2>	ポンプインターロック<冷却水>	52C, 6C, 42C	電磁接触器		

- 注1. 点線部分は弊社手配外です。
- 運転中異常が起きた場合、ユニットは停止し、表示灯<RL>が点灯します。異常の原因を除去し、PB2<切・リセット>を押した後、再始動ください。
 - 電熱器<H>は圧縮機停止中は常時通電ください。ユニット停止時、主電源をOFFにする場合には、電熱器の電源は別電源とし、HX, HYに接続ください。<X-HX, Y-HYの短絡線は取外してください。>
 - 63PW1, 63PW2はポンプインターロックです。必ず接続願います。尚、接続に際しては、限時接点又は断水開閉器の接点を使用願います。
 - K71, K72の短絡線は遠方操作する場合は取外し願います。

➡電気特性は<P70>に掲載。

作動説明<CR-25G・30G> P22参照

- (1) 主電源スイッチ及びNFB<図示せず>を入れると、制御回路の電熱器<クランクケース>に通電される。<電熱器<クランクケース>は圧縮機の運転、停止に関係なく通電されて、冷媒が油に溶け込まないように油を暖めている。>
- (2) 手元運転の場合、3Cを入にすると、3X, 3Yが励磁される。
<遠方運転の場合には、遠方操作盤に設けられた入スイッチを入れる。>
- (3) 3Xの励磁により69W1, 69W2, 52C1の回路により52C1が励磁される。
<69W1, 69W2は冷水ポンプ及び冷却水ポンプのインターロックでポンプ運転中あるいは冷水及び冷却水が通水中は接点閉となるよう必ず現地にセインターロックをとること。>
- (4) 52C1励磁により52C1の主接点が接となりNo.1圧縮機の電動機MC1に電源電圧がかかりNo.1圧縮機よ運転となる。52C1励磁後3秒後、2C1の働きにより、52C3が励磁され、No.3圧縮機が運転に入り、さらに3秒後に2C2の働きにより、52C2が励磁され、No.2圧縮機が運転に入り、100%運転になる。
- (5) 負荷が減少し、冷水入口温度が下がった場合は、温度調節器<23C2>は接点OFFになる。これにより52C2が消磁され、No.2圧縮機は停止し、No.1圧縮機及びNo.3圧縮機の運転の容量制御運転となる。
更に冷水入口温度が下がれば温度調節器<23C1>は接点OFFとなり、52C1及び52C3が消磁され、No.1圧縮機及びNo.2圧縮機も停止する。
- (6) 異常現象が起き保護装置<51C1~C3, 63D1~D3, 49C1~C3, 26W>のいずれかが作動すると、3Xが消磁され、52C1~C3が消磁されNo.1~3の圧縮機は停止し、3Xのb接点により異常表示灯が点灯する。
- (7) 保護装置が作動した場合は、30Xが励磁され、30Xのb接点の働きにより、保護装置が自動復帰しても圧縮機は再始動しないようになっている。従って、保護装置が作動し異常表示

作動説明<CR-40G> P23参照

- (1) 主電源スイッチ<図示せず>及びNFBを入れると制御回路の電熱器<クランクケース><H>に通電されるとともに、電源ランプ<WL>が点灯し、30Xが励磁される。
<電熱器<クランクケース><H>は、圧縮機が停止している間は常に通電されて、冷媒が油に溶け込まないように油を暖めている。>
- (2) 次に3Cを入にすると、3Xが励磁される。3Xの励磁により、69W1, 69W2, 6C, 52Cのコイルの回路により、6C, 52Cが励磁される。
<69W1, 69W2は、冷水ポンプおよび冷却水ポンプのインターロックでポンプ運転中あるいは冷水および冷却水が通水中は接点用となるよう、必ず現地にて限時接点、または断水開閉器<フローズスイッチ>の接点を接続すること。>
- (3) 6C, 52C励磁により、6C, 52Cの主接点が接となり、圧縮機の電動機に電動機に電源電圧がかかりY運転にて電動機は回転を始める。運転ランプ<RL>も点灯する。
- (4) 2Cの働きにより5秒後、6C消磁、42X励磁、42C励磁となり、△運転となる。
- (5) 負荷が減少し、冷水入口温度が下がった場合は温度調節器<23C>は接点OFFとなる。この時、容量制御用電磁弁<21C1>の回路が開き、圧縮機は容量制御運転となる。更に冷水入口

温度が下がれば温度調節器<23WA>が接点OFFとなり、52C、42Cが消磁される。従って圧縮機は停止する。

- (6) 異常現象が起き保護装置<26W, 51C, 63D, 49C>のいずれかが作動すると52C、42Cが消磁されて、圧縮機は停止するとともに、30Xが消磁されて異常ランプが点灯する。
- (7) 保護装置が作動した場合は30Xが消磁され自己保持接点<30X-a>が落ち、保護装置が自動復帰しても圧縮機は再始動しない。従って保護装置が作動し、異常ランプが点灯した場合は3Cを切りセットで、リセットする必要がある。

備考 保護装置の接点に×印が入っているものは手動復帰を示す。

- (8) 容量制御用電磁弁は通電時オンロードする。

作動説明<CR-50G~60G>P24 参照

- (1) 主電源スイッチ<図示せず>及びNFBを入れると、制御回路の電熱器<クランクケース><H1, H2>に通電されるとともに電源ランプ<WL>が点灯し、30X1, 30X2が励磁される。<電熱器<クランクケース><H1, H2>は圧縮機が停止している間は常に通電されて、冷媒が油に溶け込まないように油を暖めている。>
- (2) 次に3Cを入にすると、3X1, 3X2, 2Tが励磁される。3X1の励磁により69W1, 69W2のコイルの回路により、はじめに6C1, 52C1が励磁される。<69W1, 69W2は冷水ポンプ及び冷却水ポンプのインターロックでポンプの運転中あるいは冷水及び冷却水が通水中は接点閉となるよう、必ず現地にて限時接点、または断水開閉器<フロースイッチ>の接点を接続すること。>
- (3) 6C1, 52C1励磁により、6C1, 52C1の主接点が接となり、圧縮機の電動機に電源電圧がかかり、Y運転にて電動機は回転を始める。運転ランプ<RL>も点灯する。
- (4) 2C1の働きにより、5秒後、6C1消磁、42X1励磁、42C1励磁となり△運転となる。
- (5) つづいて2Tの働きにより、No.1系統運転後、10秒後にNo.1系統同様No.2系統も運転する。
- (6) 負荷が減少し、冷水入口温度が下がった場合温度調節器<23C1, 23WA1, 23C2, 23WA2>はそれぞれのセット値により段階的に接点が開かれ容量制御運転、停止となる。
- (7) 異常現象が起き保護装置<26W, 51C1, 63D1, 49C1, 51C2, 63D2, 49C2>のいずれかが作動すると、異常のあった系統、例えばNo.1系統とすると、30X1が消磁され、42C1, 52C1の消磁により圧縮機は停止するとともに、No.1異常ランプ<OL1>が点灯する。
この場合、No.2系統は26W以外の保護装置が作動しなければ運転を続行する。
- (8) 保護装置が作動した場合、例えばNo.1系統に異常が生じたとすると、30X1消磁され、自己保持接点<30X-a>が落ち、保護装置が自動復帰しても圧縮機は再始動しないようになる。従って、保護装置が作動し、異常ランプが点灯した場合には3Cを切りセットでリセットする必要がある。

備考 保護装置の接点に×印が入っているものは手動復帰を示す。

- (9) 容量制御用電磁弁は、通電時オンロードする。

作動説明

作動説明<CR-80F~120F> 例 標準CR-80<λ-△方式>P25参照

- (1) 主電源スイッチ<図示せず>及びNFBを入れると、制御回路の電熱器<クランクケース>に通電される。<電熱器<クランクケース>は圧縮機が停止している間は常に通電されて冷媒が油に溶け込まないように油を暖めている。>
- (2) 次にPB<入>を押すと3CX, 3CYが励磁され3CX, 3CYの a 接点により自己保持する。PB<入>より手を離しても3CX, 3CYは励磁を続けている。
- (3) 3CXの励磁により、63PW1, 63PW2, 2C, のコイルの回路により 6C が励磁される。<63PW1, 63PW2は冷水ポンプおよび冷却水ポンプのインターロックで、ポンプ運転中あるいは冷水および冷却水が通水中は接点閉となる様必ず現地にて限時接点または断水開閉器<フローズスイッチ>の接点を接続すること。>
- (4) 6C励磁により6Cの主接点が接となり、圧縮機電動機はλ始動する。始動完了後、限時継電器<2C>により<6C>のコイルが消磁されると同時に42Cの主接点が接となりλ運転から△運転に入る。
- (5) 負荷が減少し、冷水入口温度が下がった場合は温度調節器<23C₁~C₃>はそれぞれのセット値により段階的に接点が開かれ容量制御用電磁弁<21C₁~C₃>の回路を開き圧縮機は容量制御運転をする。
更に冷水入口温度が下がれば温度調節器<23WA>は接点OFFとなり2Cが消磁され52Cは消磁され42Cも消磁され、圧縮機は停止する。
- (6) 異常現象が起き保護装置<49C, 51C1, 51C2, 63Q, 26W, 63D>のいずれかが作動すると圧縮機用電磁接触器<6C, 42C>は消磁され、圧縮機電動機は停止し3CXの b 接点により異常表示灯<RL>が点灯する。
- (7) 保護装置が作動した場合は補助継電器<3CX>が消磁され自己保持接点<3CX-a>が落ち保護装置が自動復帰しても圧縮機が再始動しないようになる。従って保護装置が作動し異常表示灯が点灯した場合はリセットボタン<PB<切・リセット>>でリセットする必要がある。
備考 保護装置の接点に×印が入っているものは手動復帰を示す。
- (8) 容量制御用電磁弁の使い方は通電時オンロードする。

1.1.4 能力線図

(1)能力線図の見方

能力線図使用上の注意

●冷却水源と冷却水温の関係について<CR>

クーリングタワーや井水などの冷却水源により、冷却水入口温度はほぼ決まりますから、これにより冷却水出口温度も決められます。これを表1に示します。従って、次の例2のようにクーリングタワーを使う場合は冷却水出口温度は36～40℃となり、井水を使う場合は、普通24～32℃となります。このように能力線図を見る場合、冷却水源により冷却水出口温度や出入口温度差の使いわけをしてください。なお、表1は標準的な場合ですがなるべくこの範囲で使用してください。

表1 冷却水源と冷却水温の関係

冷却水源	冷却水入口温度	出入口温度差	冷却水出口温度
クーリングタワー	31～33℃	5～7 deg	36～40℃
井水	16～20℃	8～12deg	24～32℃

注意事項

<CR-L20G～30G>

冷水出口温度範囲は5～20℃です。CR-L20G～30Gは標準の場合、冷媒制御はキャピラリーチューブにて行っております。そのため冷水出口温度が10℃を越える場合、キャピラリーチューブの特性から、冷却能力は、冷水出口温度10℃における冷却能力のまま一定となります。よって、冷水出口温度が10～20℃のところでは連続運転する仕様の場合には、キャピラリーチューブに替えて、温度式膨張弁を使用する必要があります。<オプション>
この点、特にご注意ください。

<CR-40G～120F>

(1)冷水出口温度は5℃以下にしないこと。またヒートポンプの場合温水出口温度は45℃以上にしないこと。

(2)冷水・冷却水量の範囲

形名	項目	冷水流量<m ³ /h>		冷却水流量<m ³ /h>	
		最 小	最 大	最 小	最 大
CR-L20G		5.0	20	10	25
CR-25G		7.0	23	10	25
CR-30G		8.0	25	15	33
CR-40G		10	35	15	40
CR-50G		15	45	20	50
CR-60G		20	55	25	60
CR-80F		22	64	40	90
CR-100F		27.5	84	50	90
CR-120F		33	100	60	110

能力線図

グラフ内が弊社保証値です

例1 CR-8D形チリングユニットを例にとって説明します。〈P38参照〉

電源 200V, 50Hz 冷却水 32 → 37°C

形名 CR-8D 冷水 12 → 7°C

なるとき、冷却能力、冷水量、冷却器水頭損失、冷却水量、凝縮器水頭損失、消費電力を求めよ。

〈解答〉

CR-8D, 50Hzの能力線図において、冷水出口温度〈7°C〉を出発点①として

① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ → ⑧, ③ → ⑪ → ⑫ → ⑬ → ⑭ → ⑮, ③ → ⑨ → ⑩ の順序に直線を引くことによりすべてのデータを求めることができます。

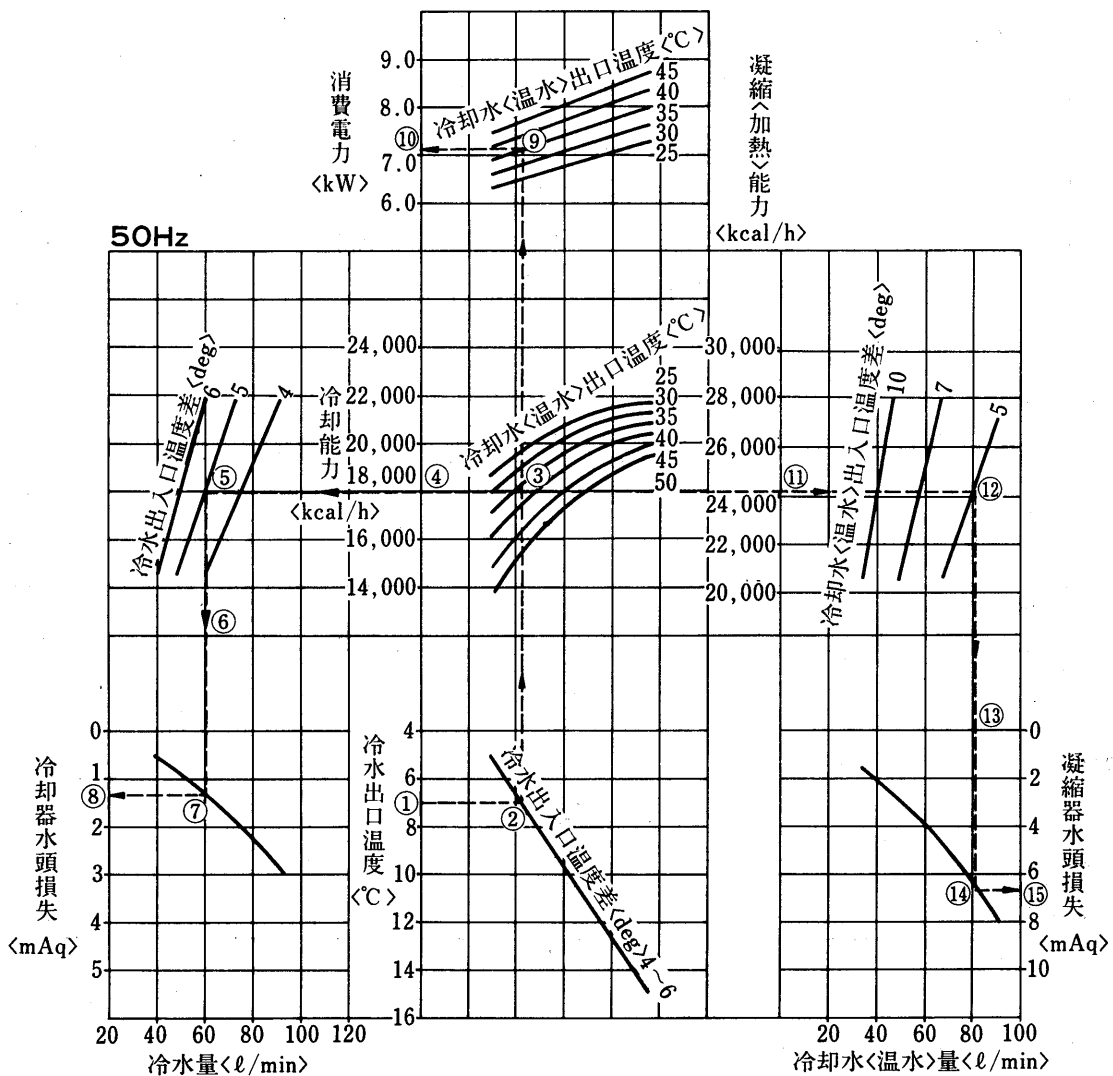
上記例題の場合

④が冷却能力で 18,000kcal/h ⑥が冷水量で 60ℓ/min

⑧が冷却器水頭損失で 1.3mAq ⑩が消費電力で 7.2kW

⑪が凝縮能力で 24,200kcal/h ⑬が冷却水量で 80.7ℓ/min

⑮が凝縮器水頭損失で 6.7mAq



例2 CR-40G形を例にとって説明致します。

電源 200V 50Hz, 冷却水32→37℃, 冷水12→7℃

このときの冷却能力, 冷水流量, 冷却器水頭損失, 冷却水流量, 凝縮器水頭損失, 消費電力を求めよ。

〈解答〉

CR-40G, 50Hzの能力線図において冷水出口温度7℃を出発点①として

①→②→③→④→⑤→⑥→⑦, ②→⑧→⑨→⑩→⑪, ②→⑫→⑬の順序によりすべてのデータを求めることができます。

上記例の場合

③から, 冷却能力は101,000kcal/h

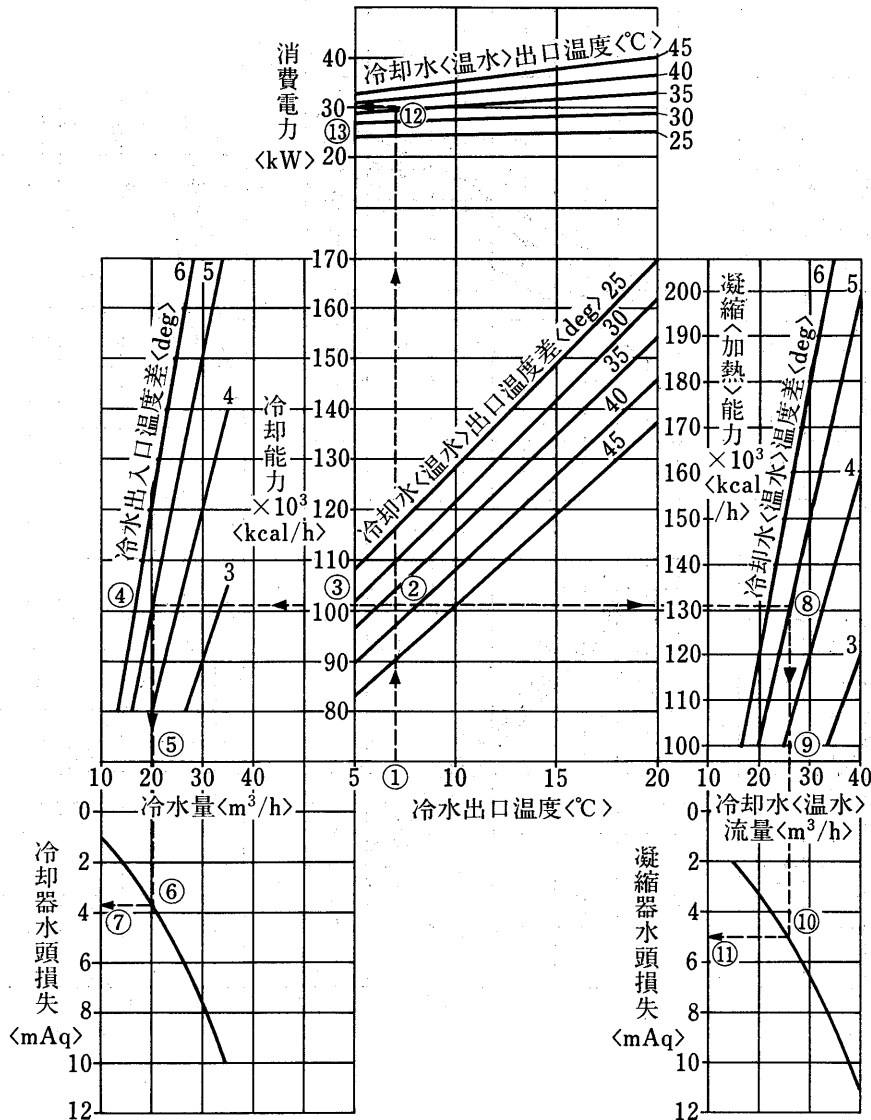
⑨から, 冷却水流量は25.4m³/h

⑤から, 冷水量は20.2m³/h

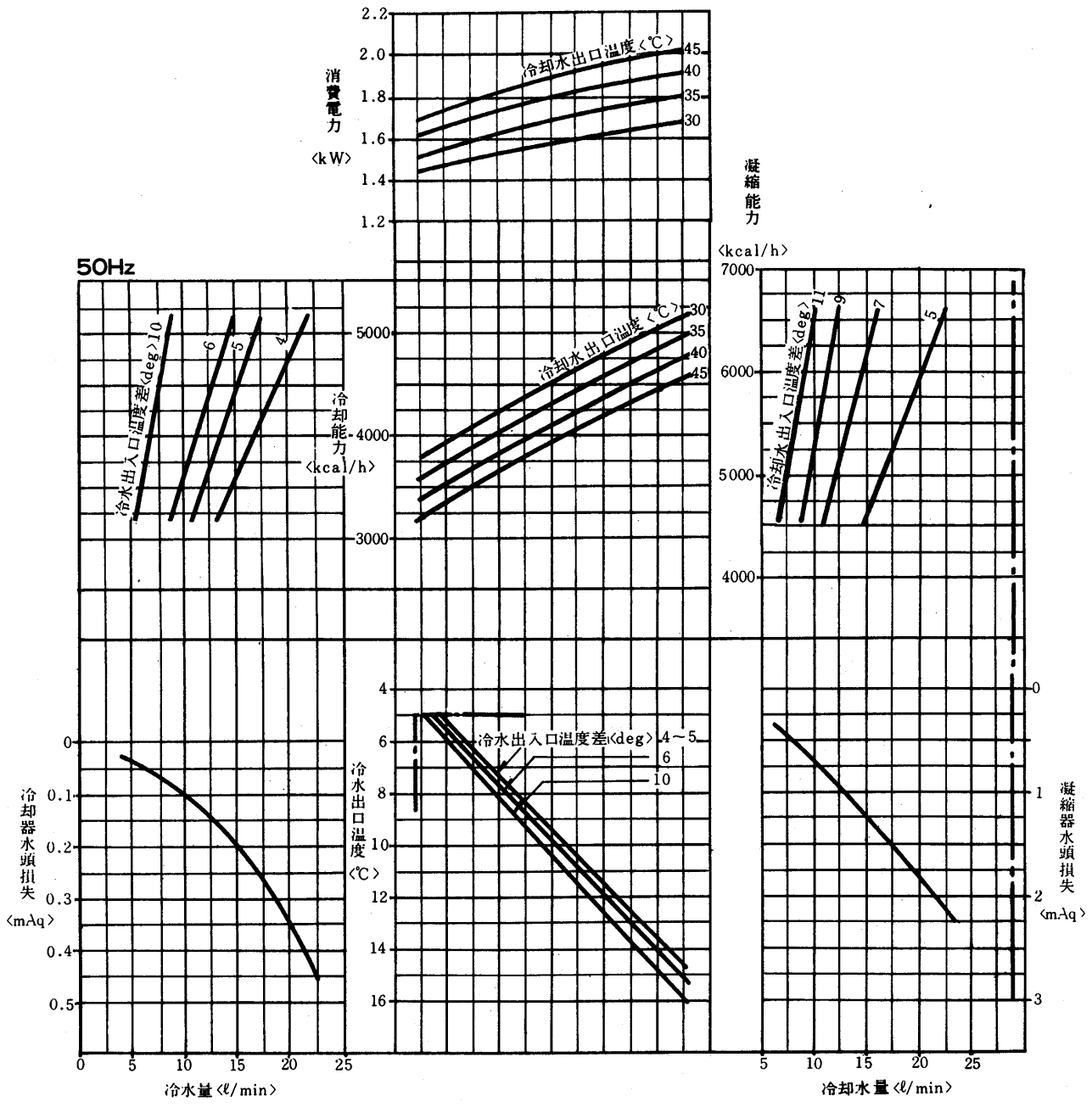
⑪から, 凝縮器水頭損失は5.0mAq

⑦から, 冷却器水頭損失は3.7mAq

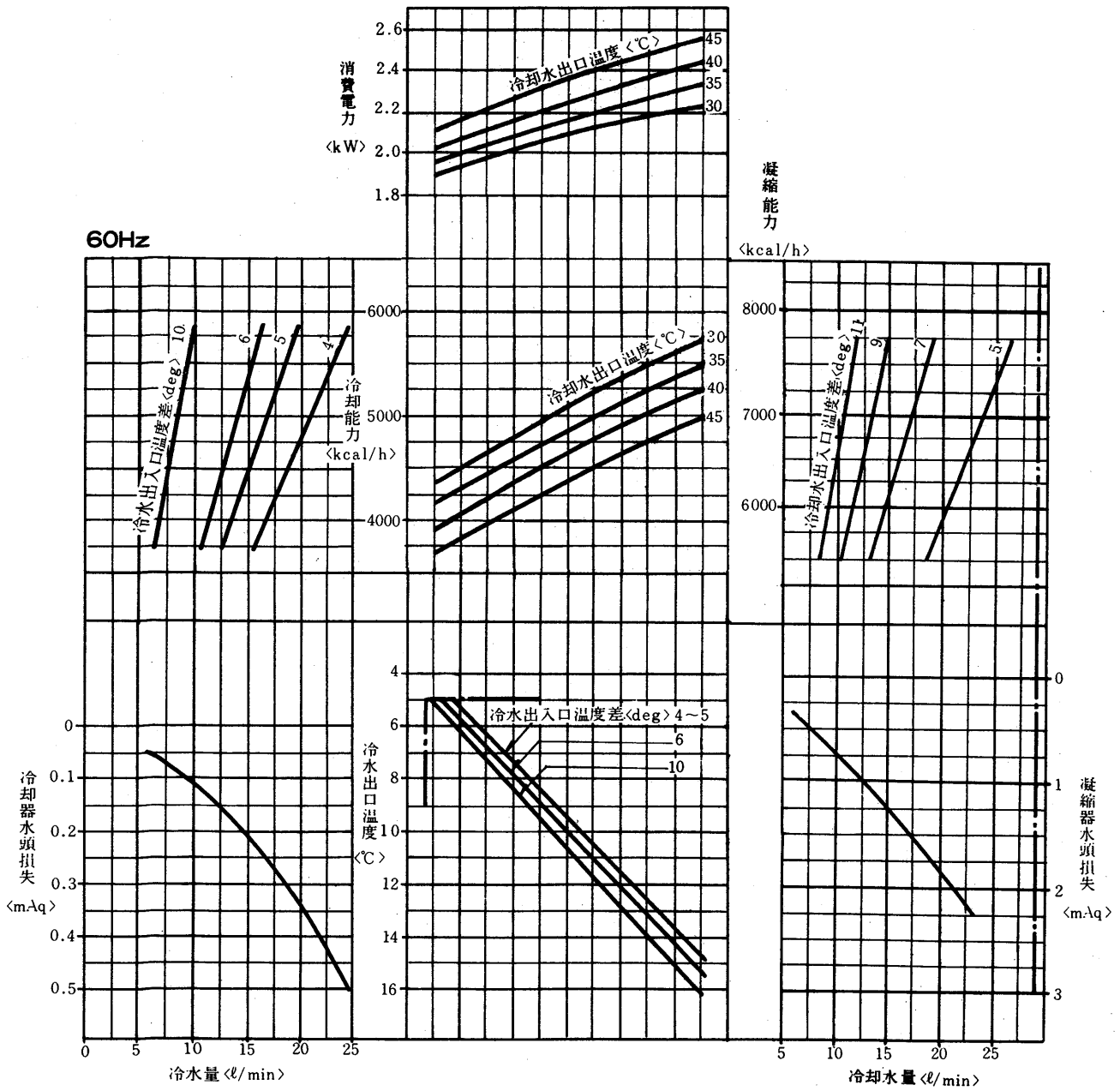
⑬から, 消費電力は30.4kW



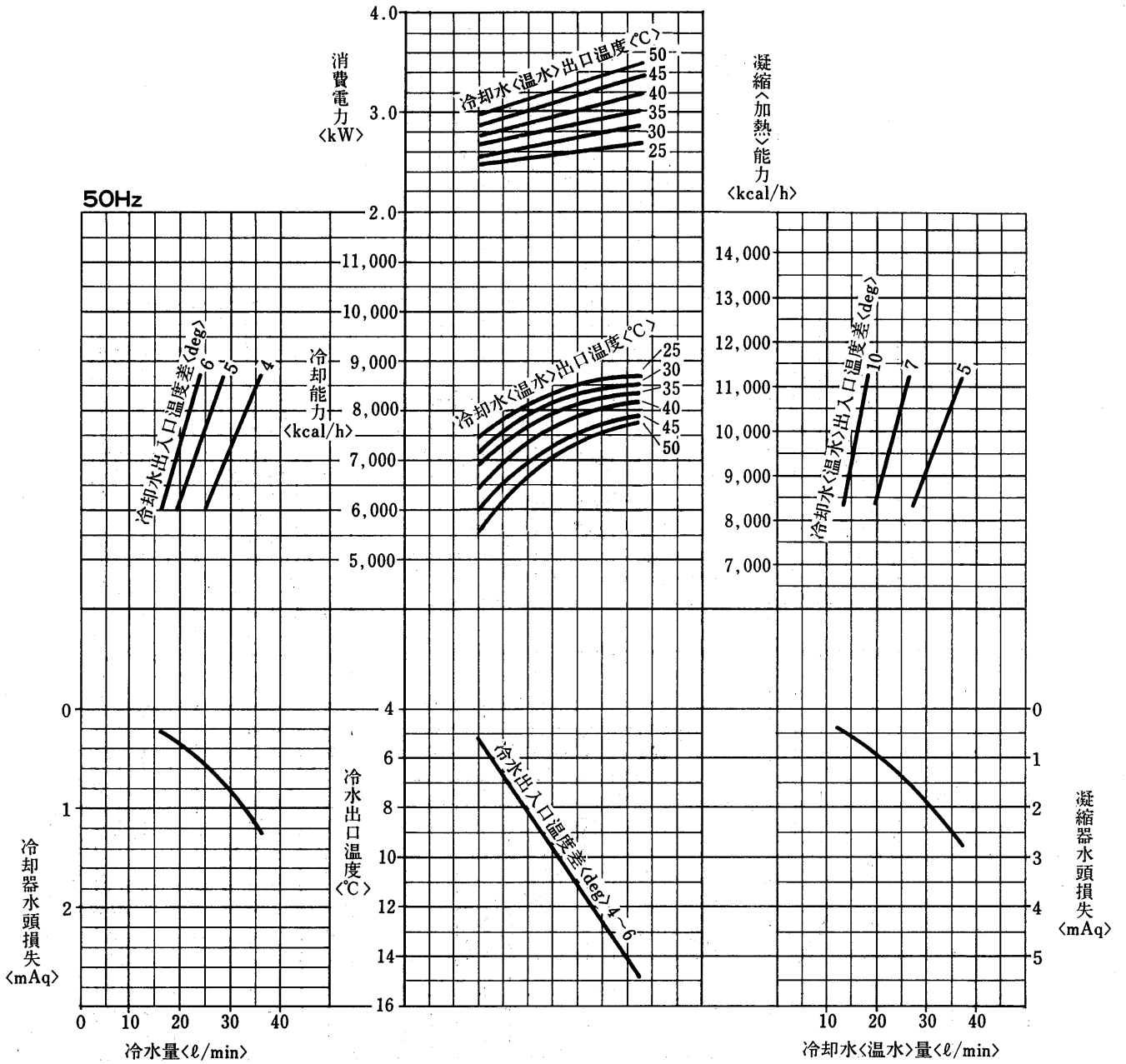
(2) 能力線図
CR-2B形<50Hz>



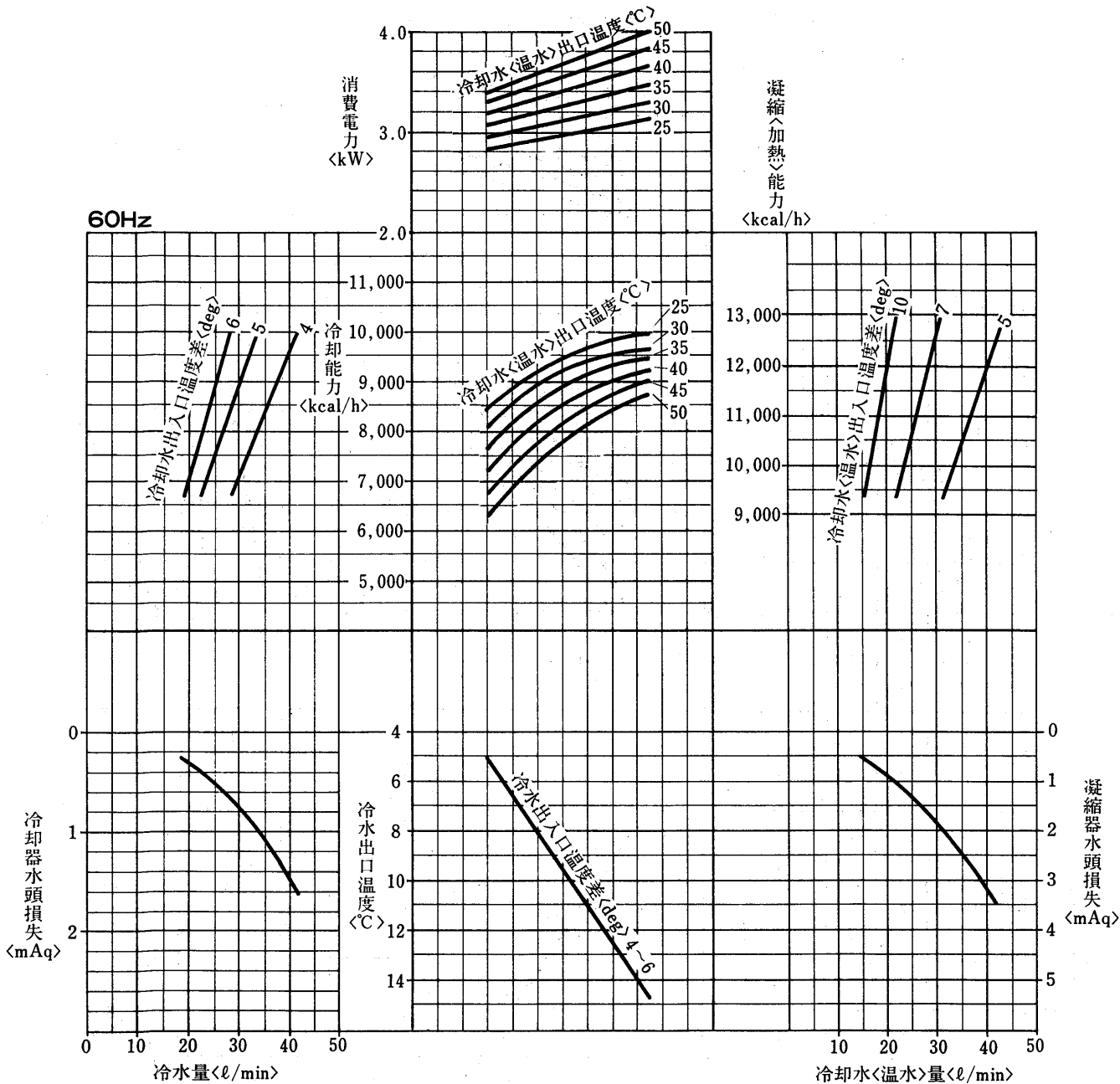
CR-2B形<60Hz>



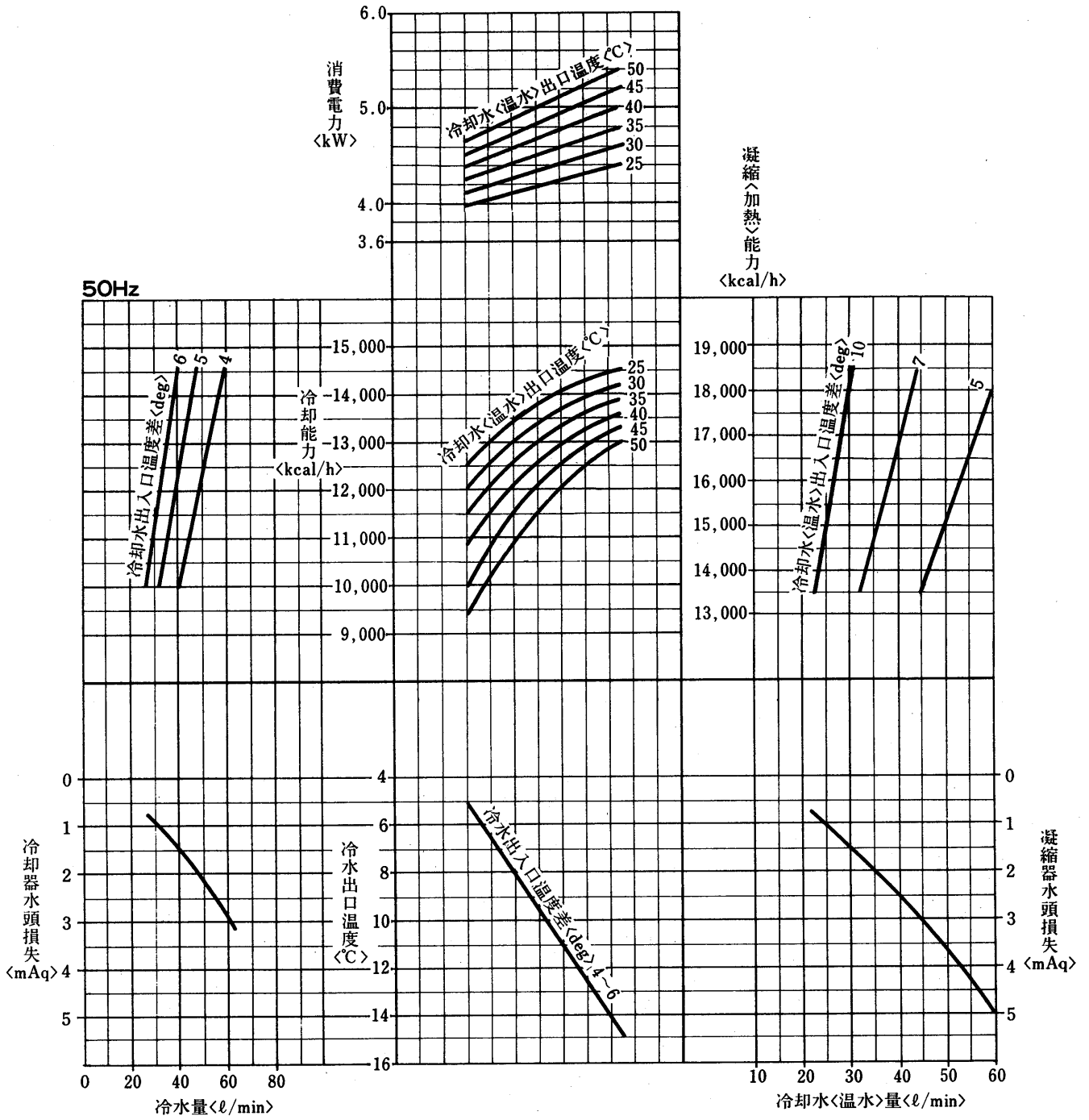
CR-3D形 <50Hz>
CRH-3D形



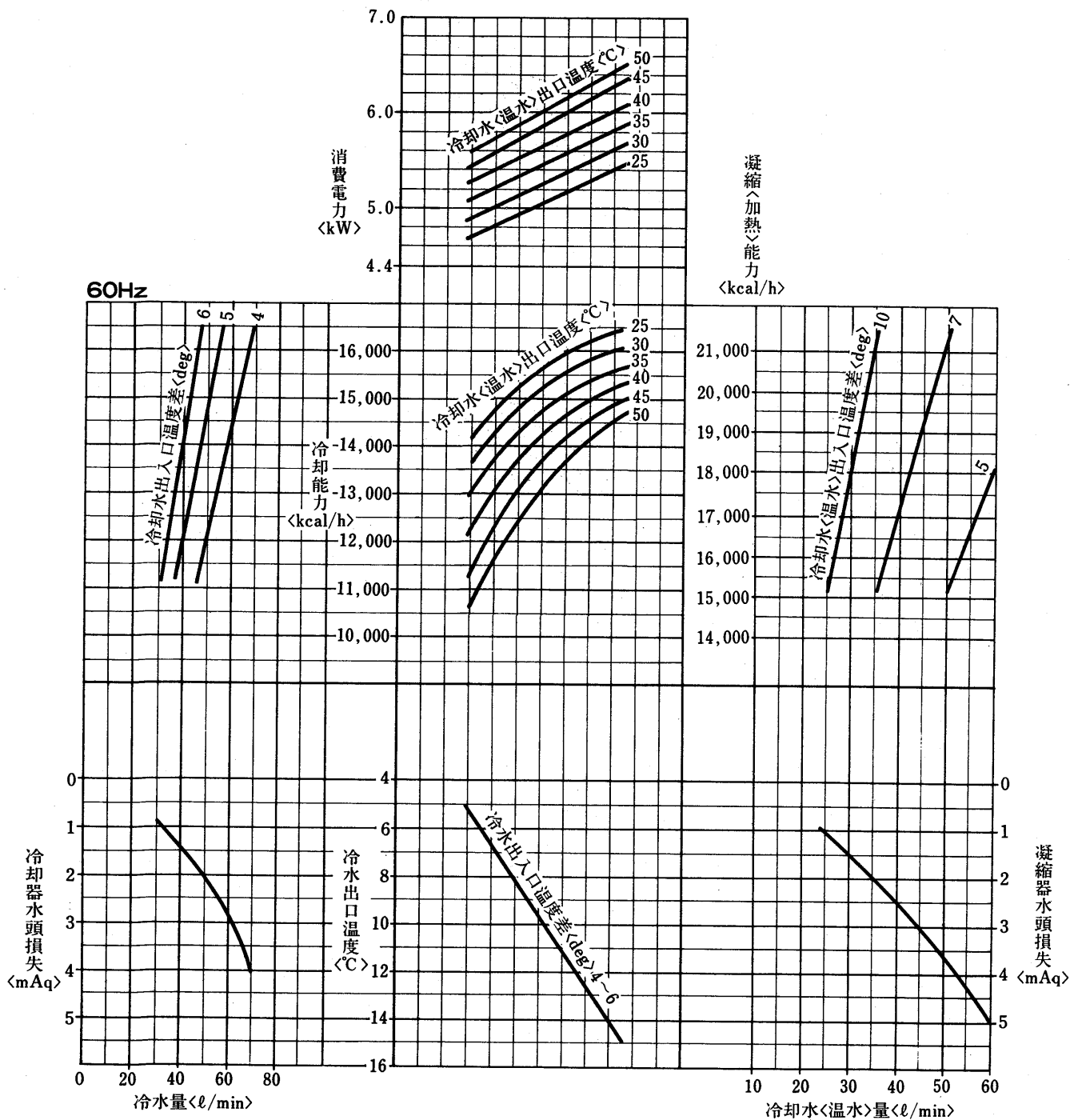
CR-3D形 <60Hz>
CRH-3D形



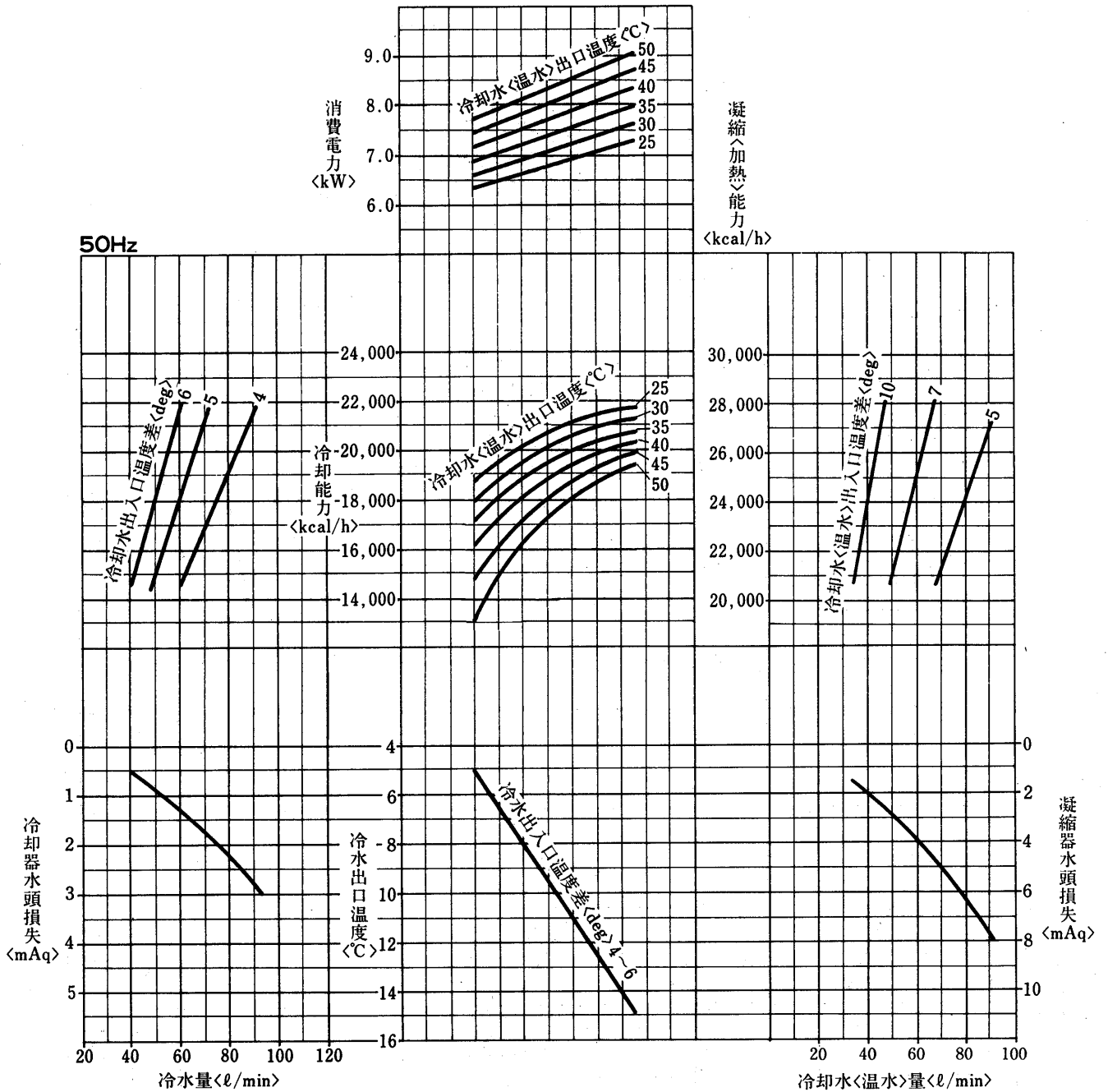
CR-5D形 <50Hz>
CRH-5D形



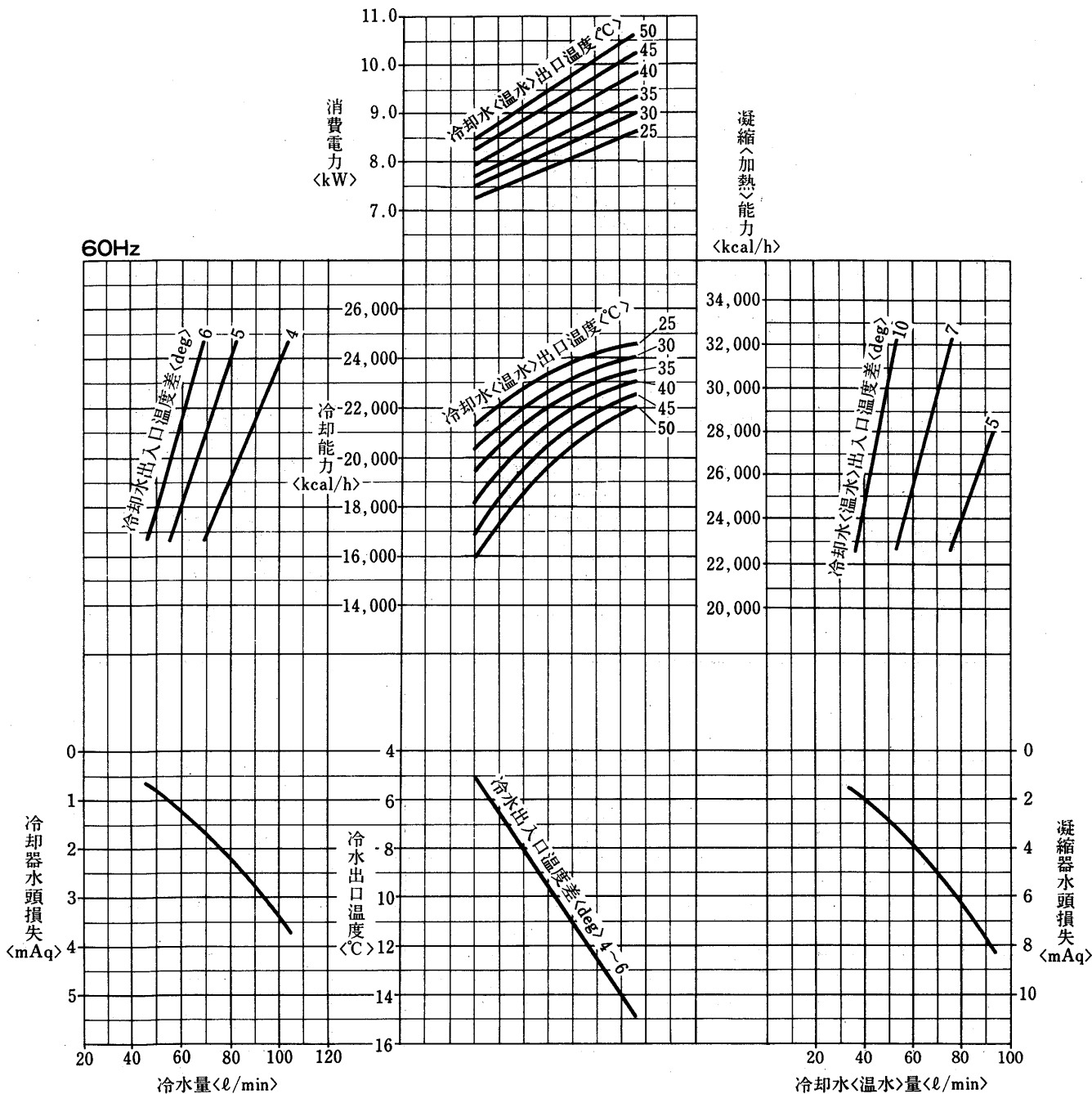
CR-5D形 <60Hz>
CRH-5D形



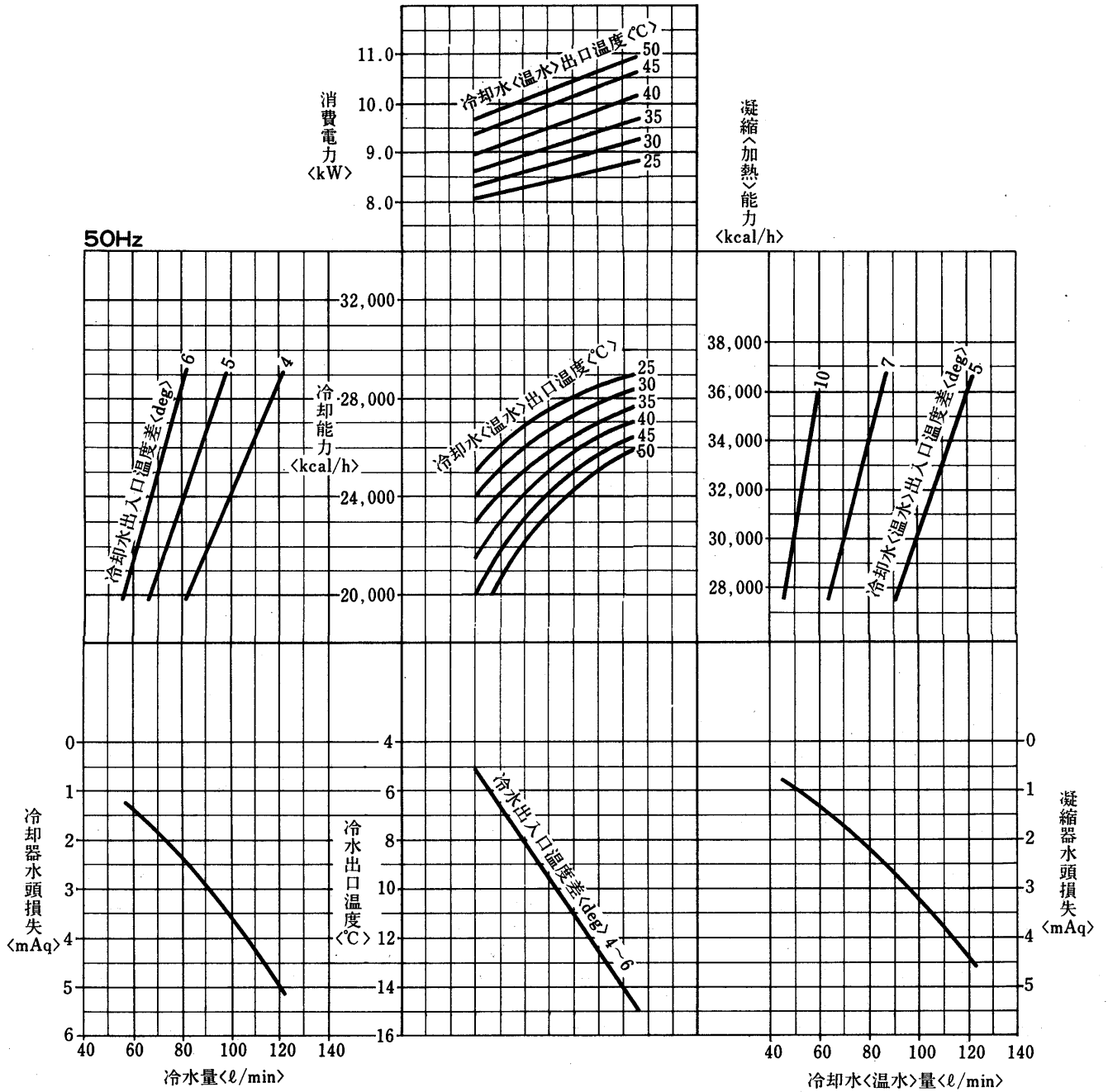
CR-8D形
CRH-8D形 <50Hz>



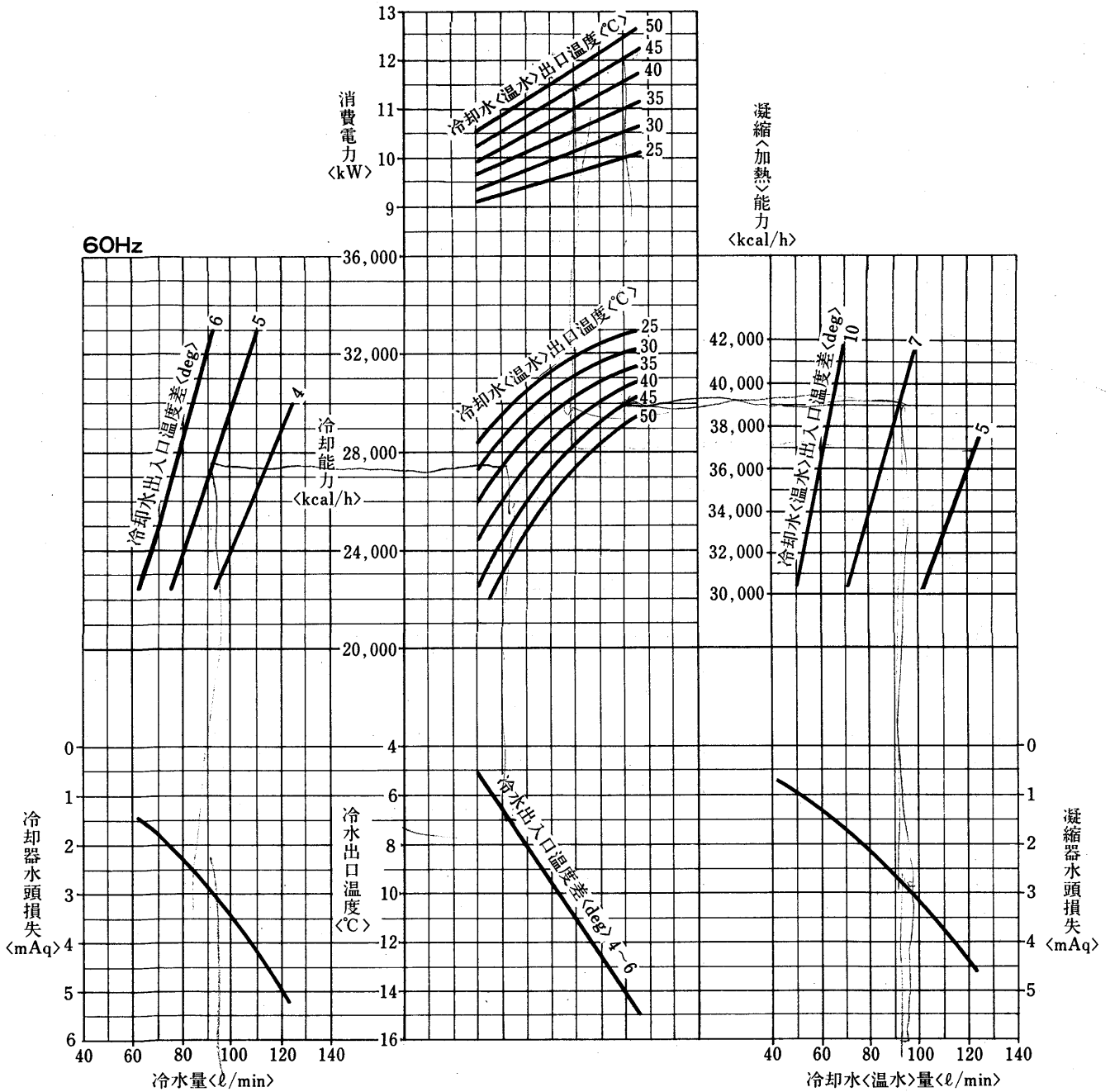
CR-8D形 <60Hz>
CRH-8D形



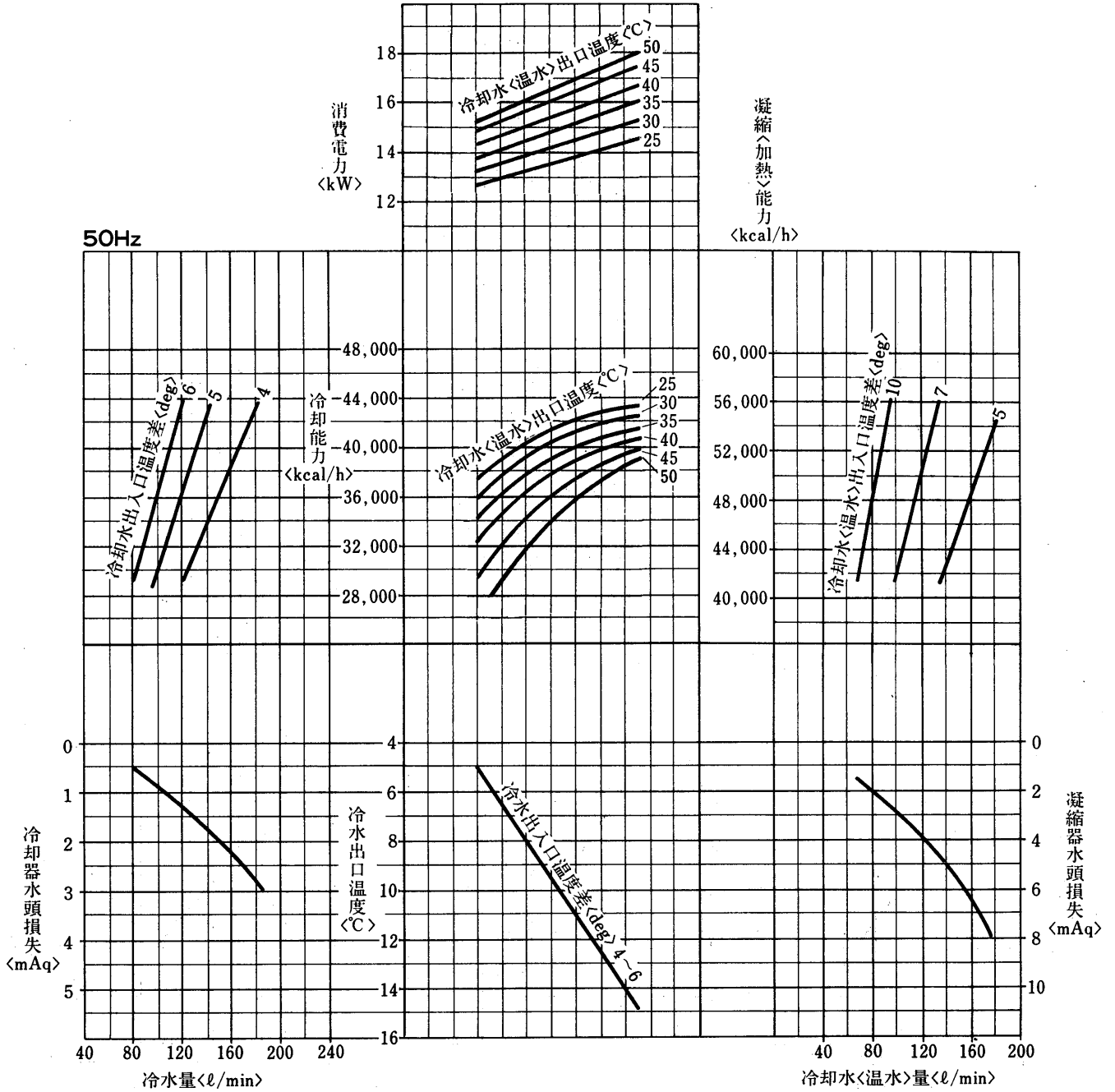
CR-10D形
CRH-10D形 <50Hz>



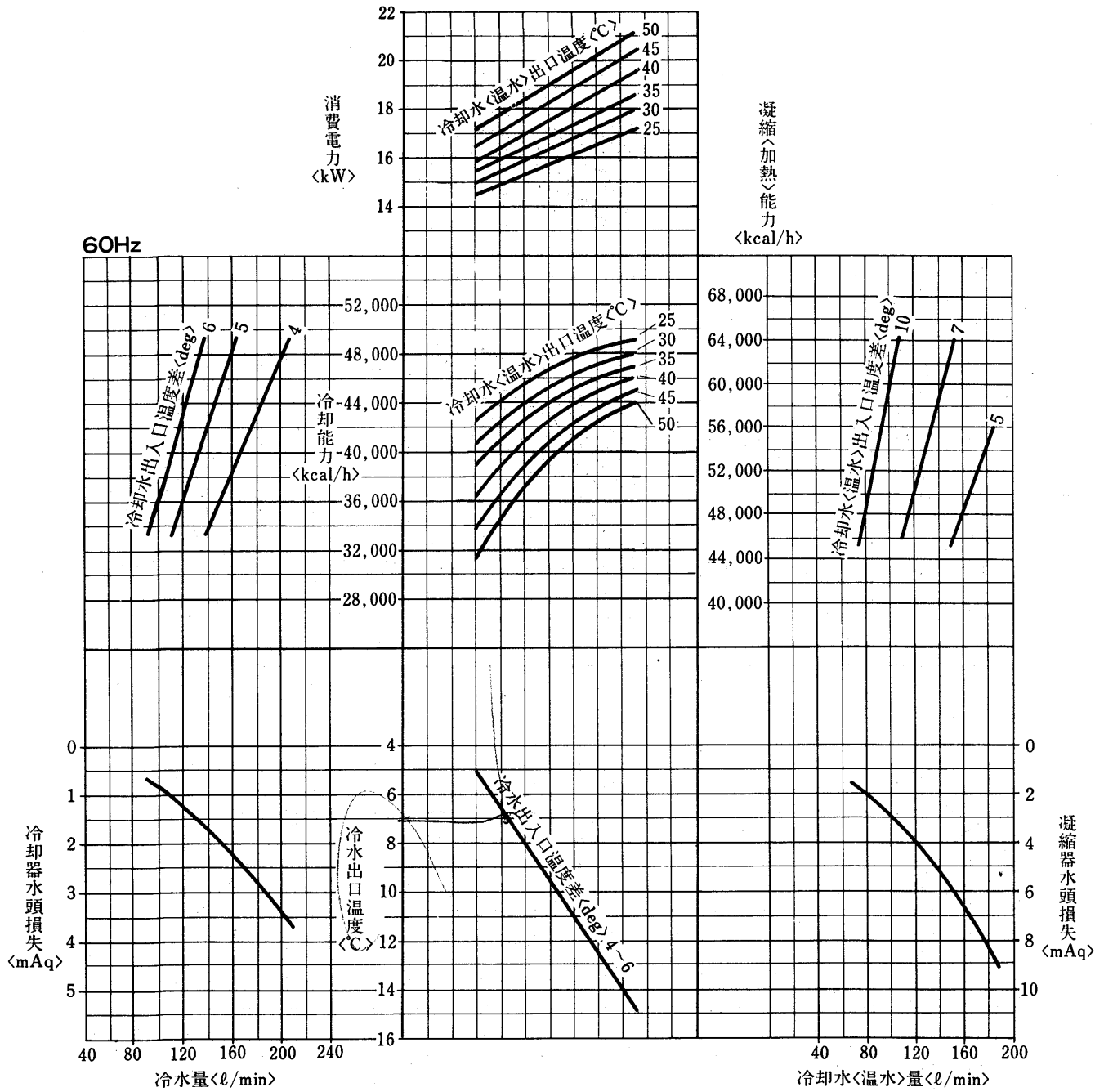
CR-10D形 <60Hz>
CRH-10D形



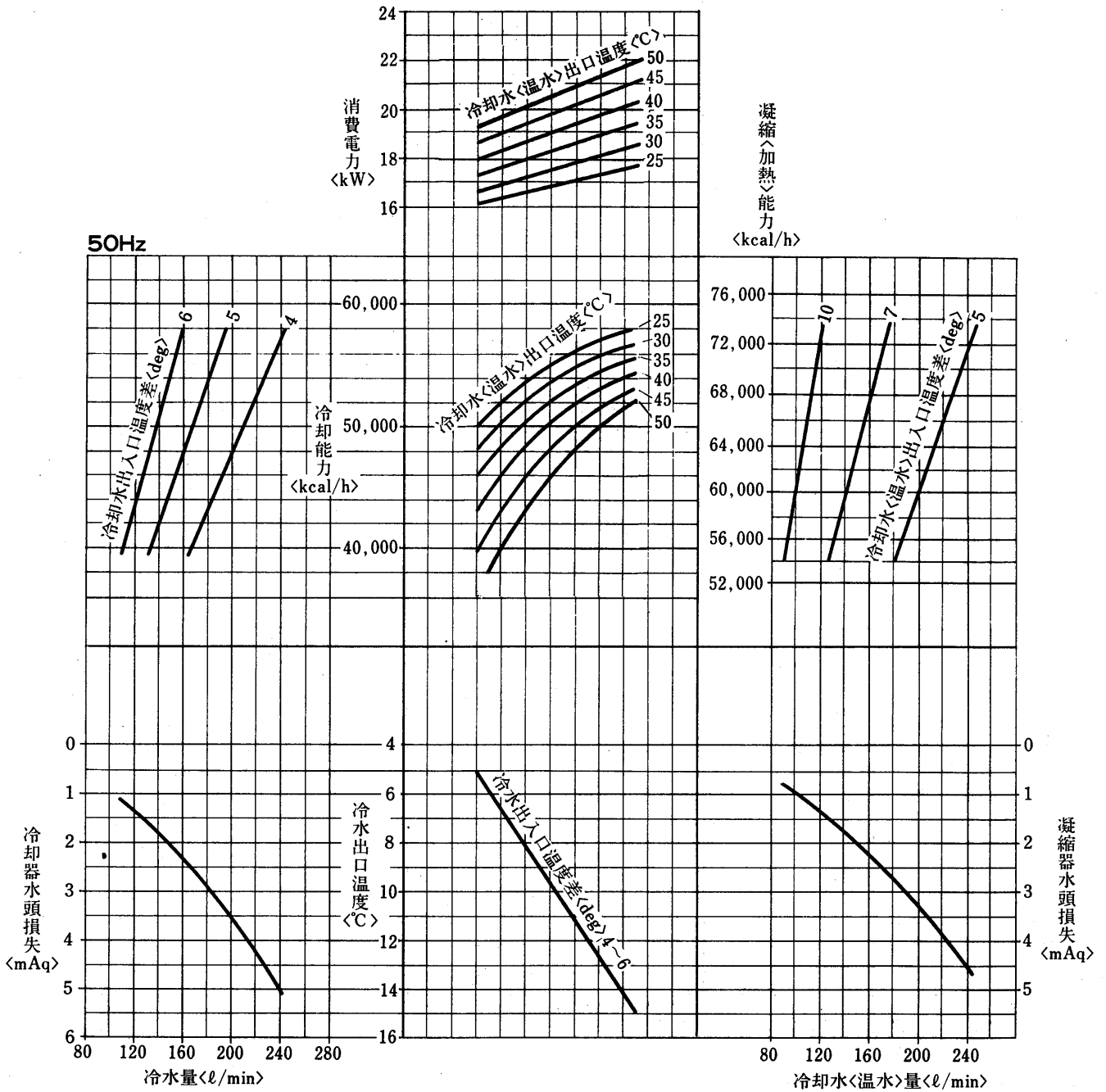
CR-15D形
CRH-15D形 <50Hz>



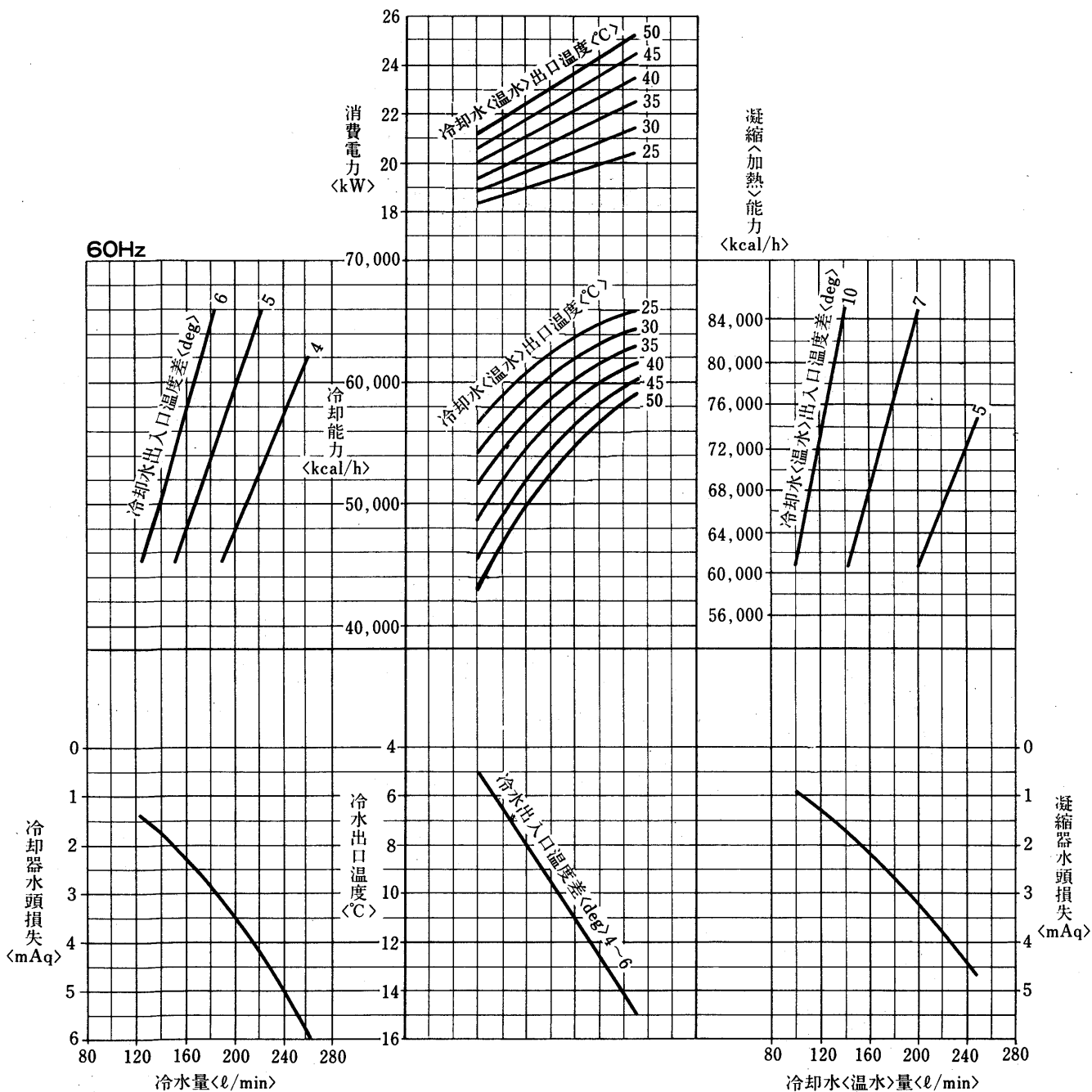
CR-15D形 <60Hz>
CRH-15D形



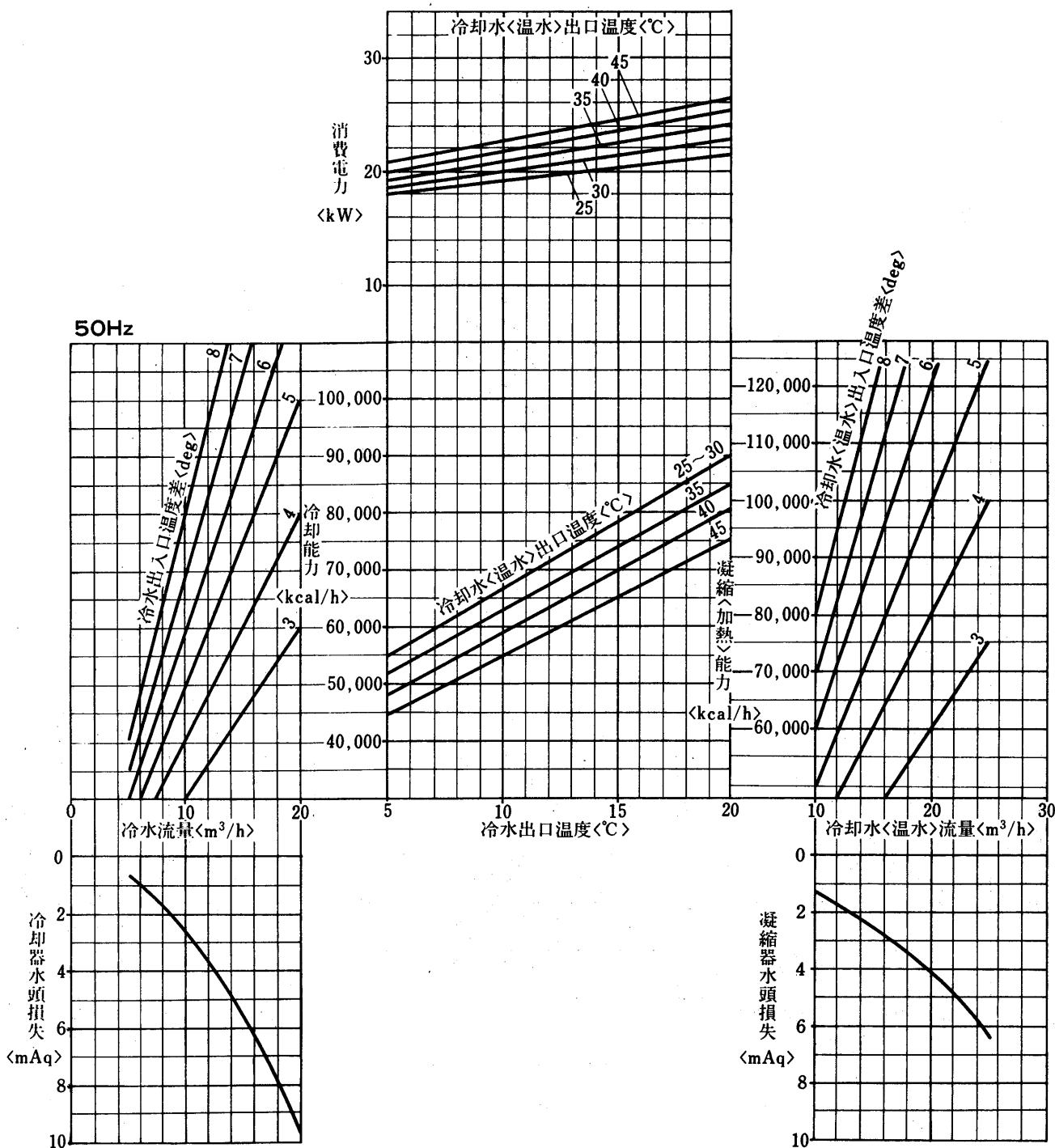
CR-K20D形 <50Hz>
CRH-K20D形



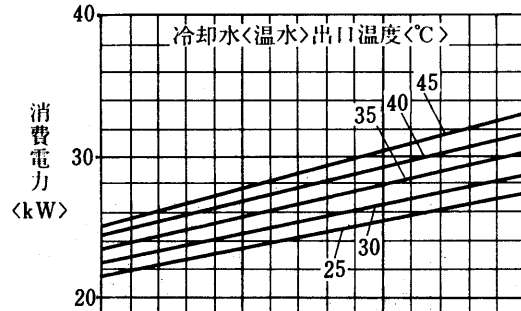
CR-K20D形
CRH-K20D形 <60Hz>



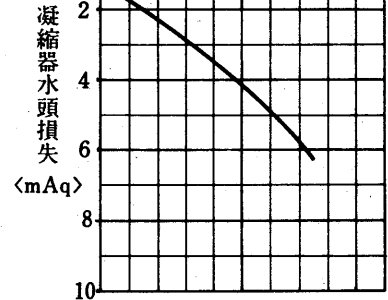
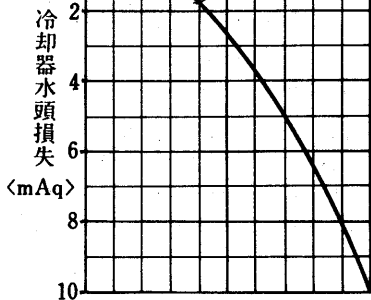
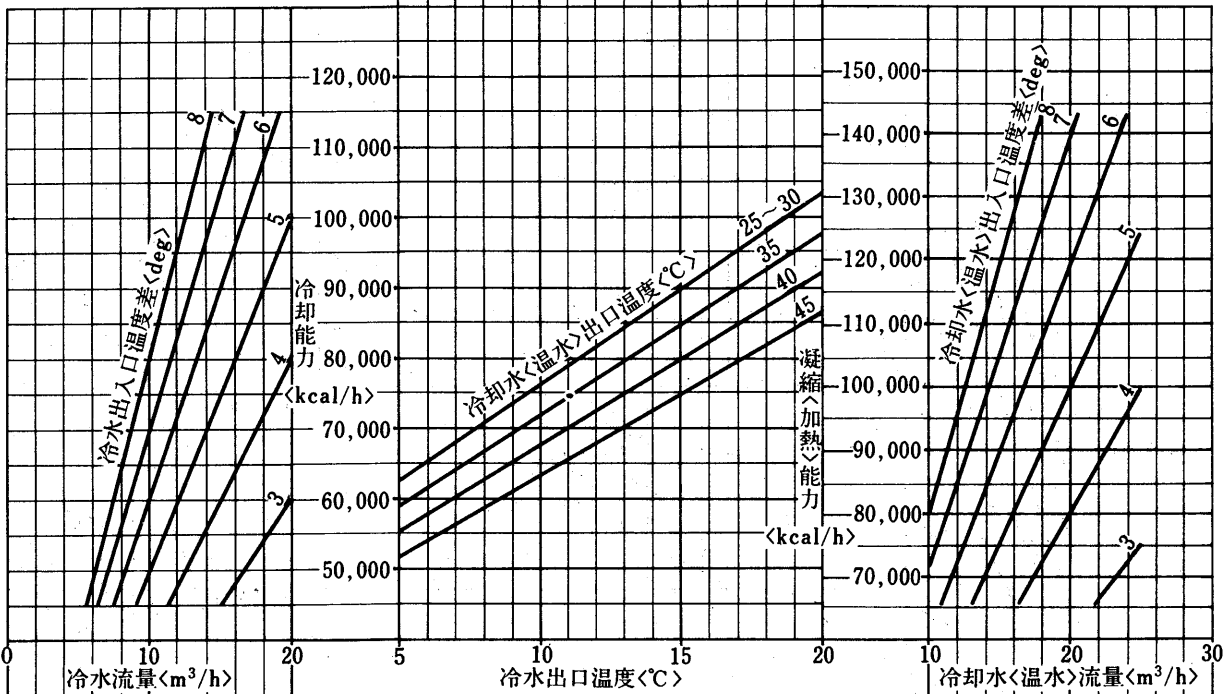
CR-L20G形 <50Hz>



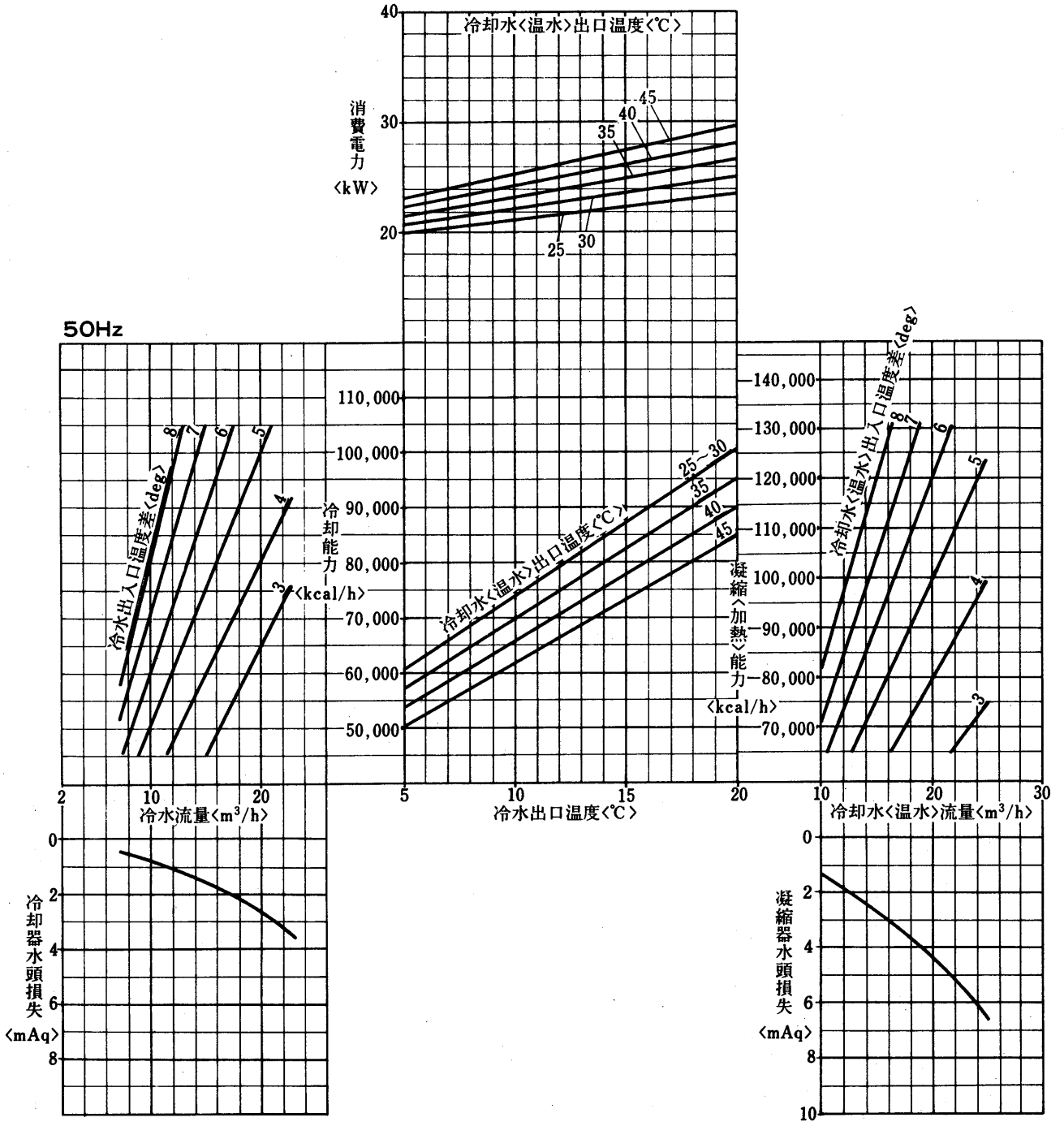
CR-L20G形 <60Hz>



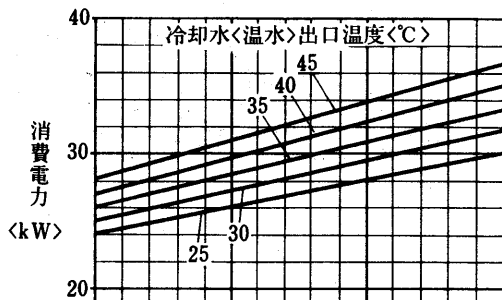
60Hz



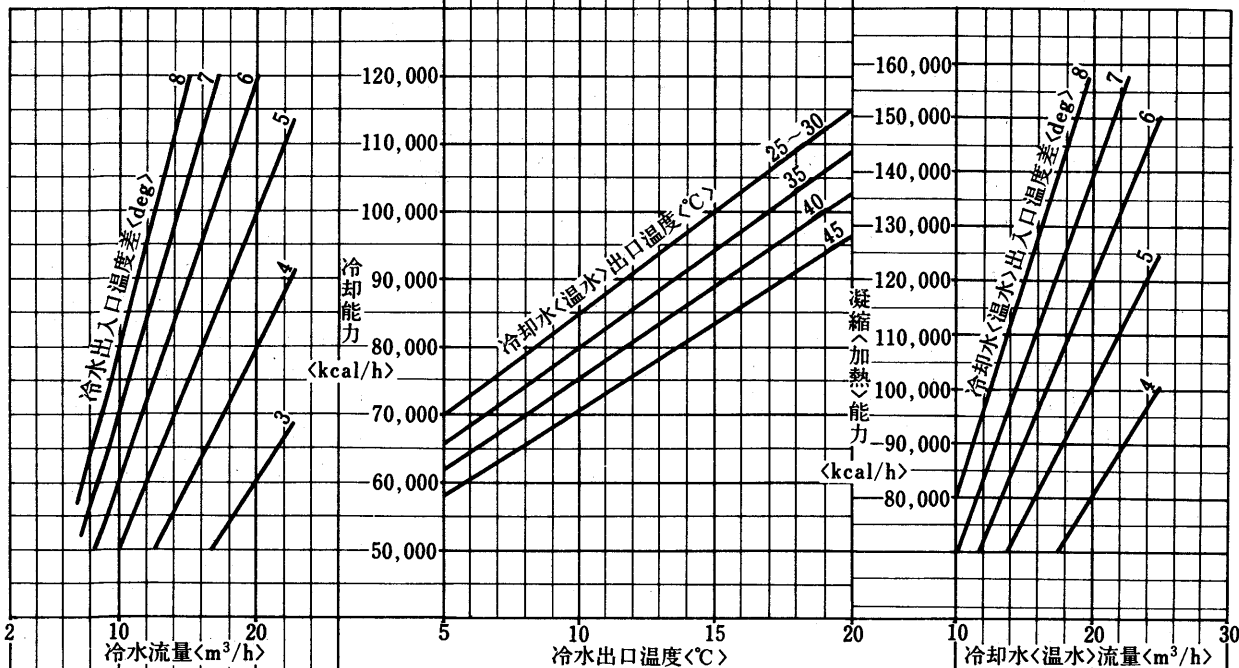
CR-25G形 <50Hz>
CRH-25G形



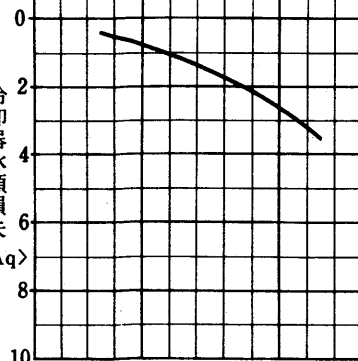
CR-25G形 <60Hz>
CRH-25G形



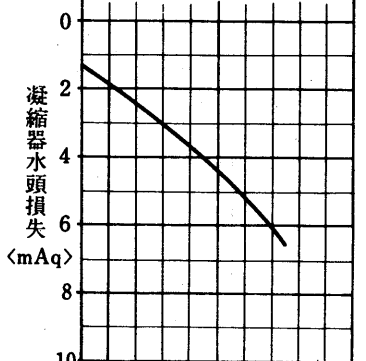
60Hz



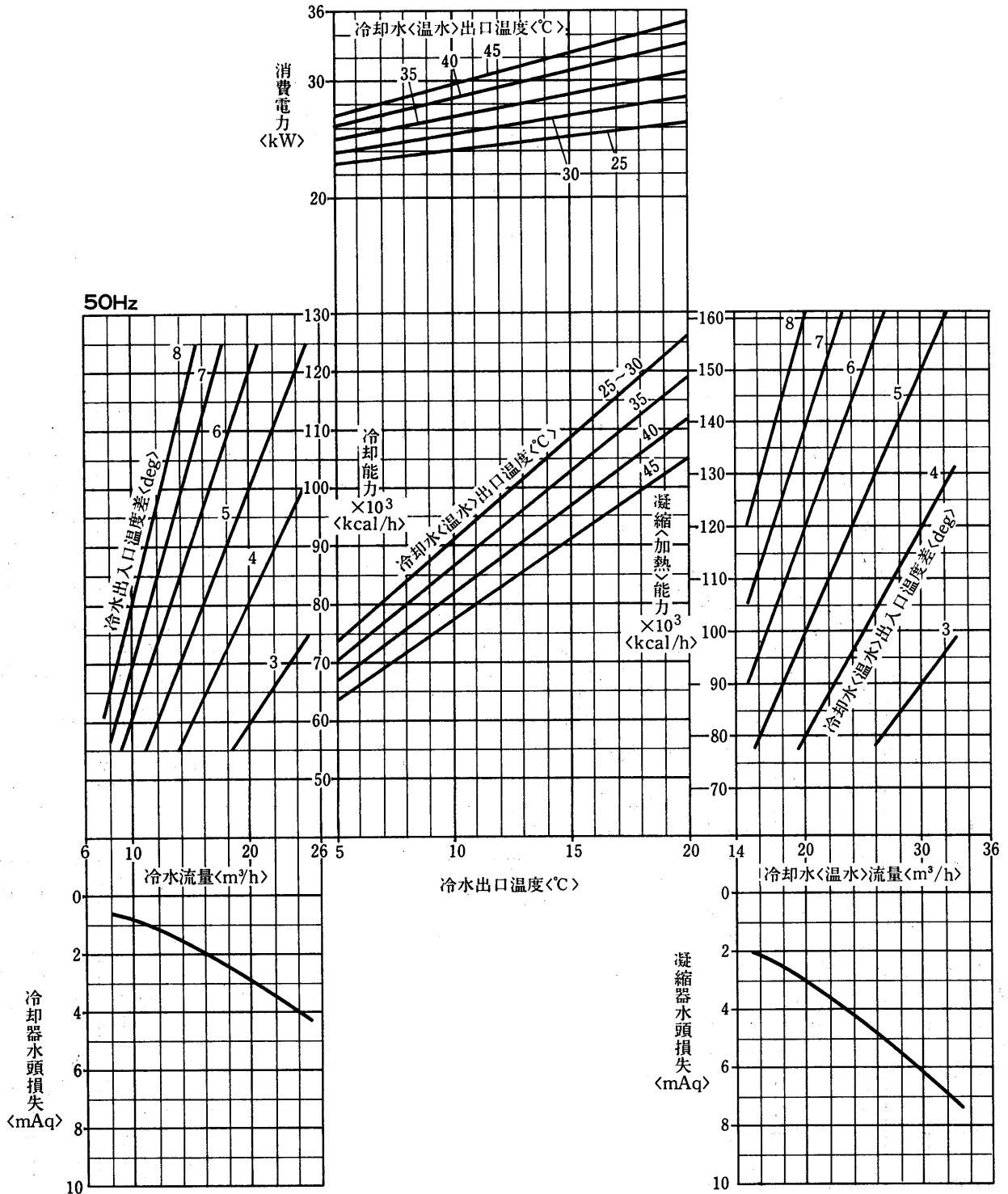
冷却器水頭損失 <mAq>



凝縮器水頭損失 <mAq>



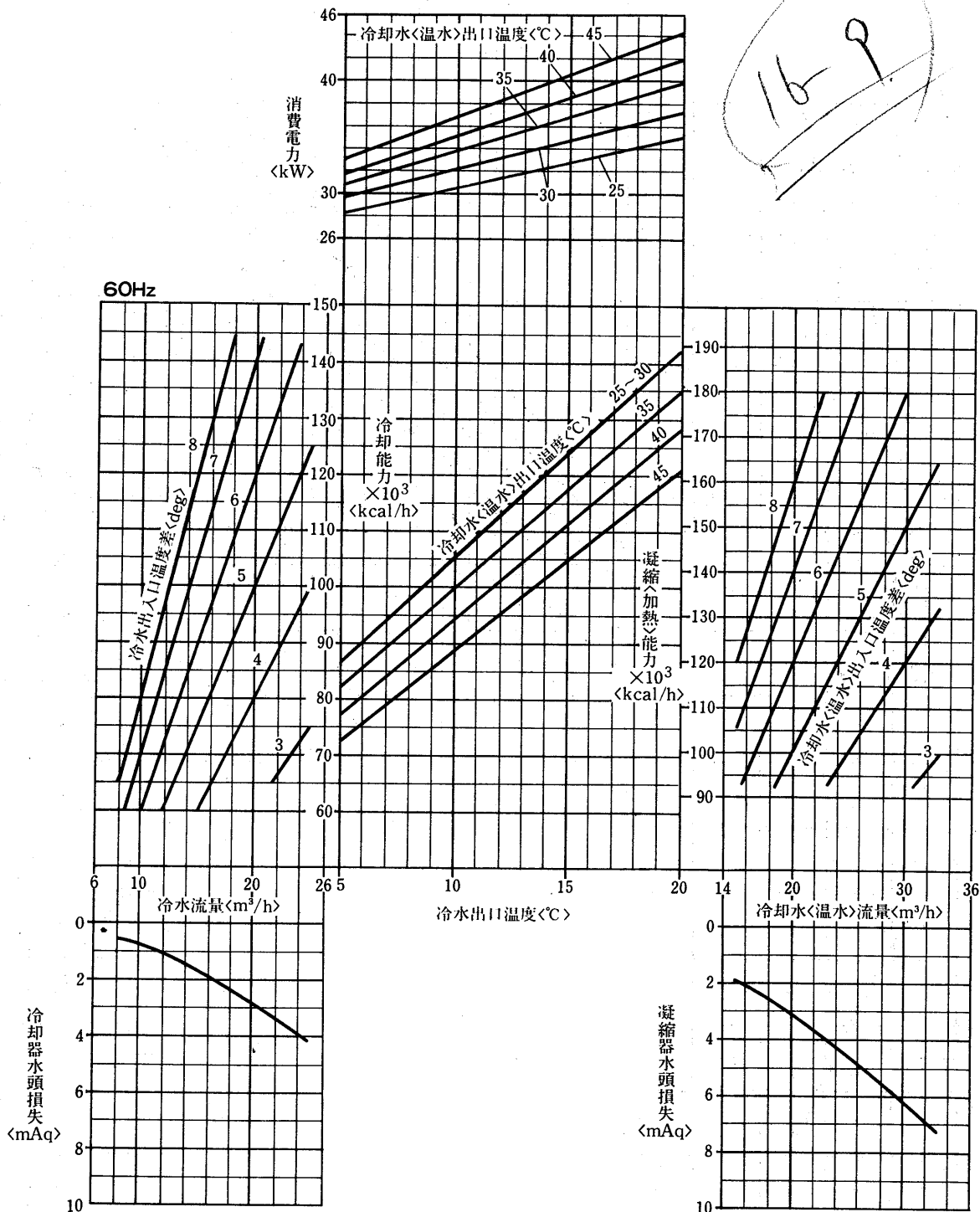
CR-30G形 <50Hz>
CRH-30G形



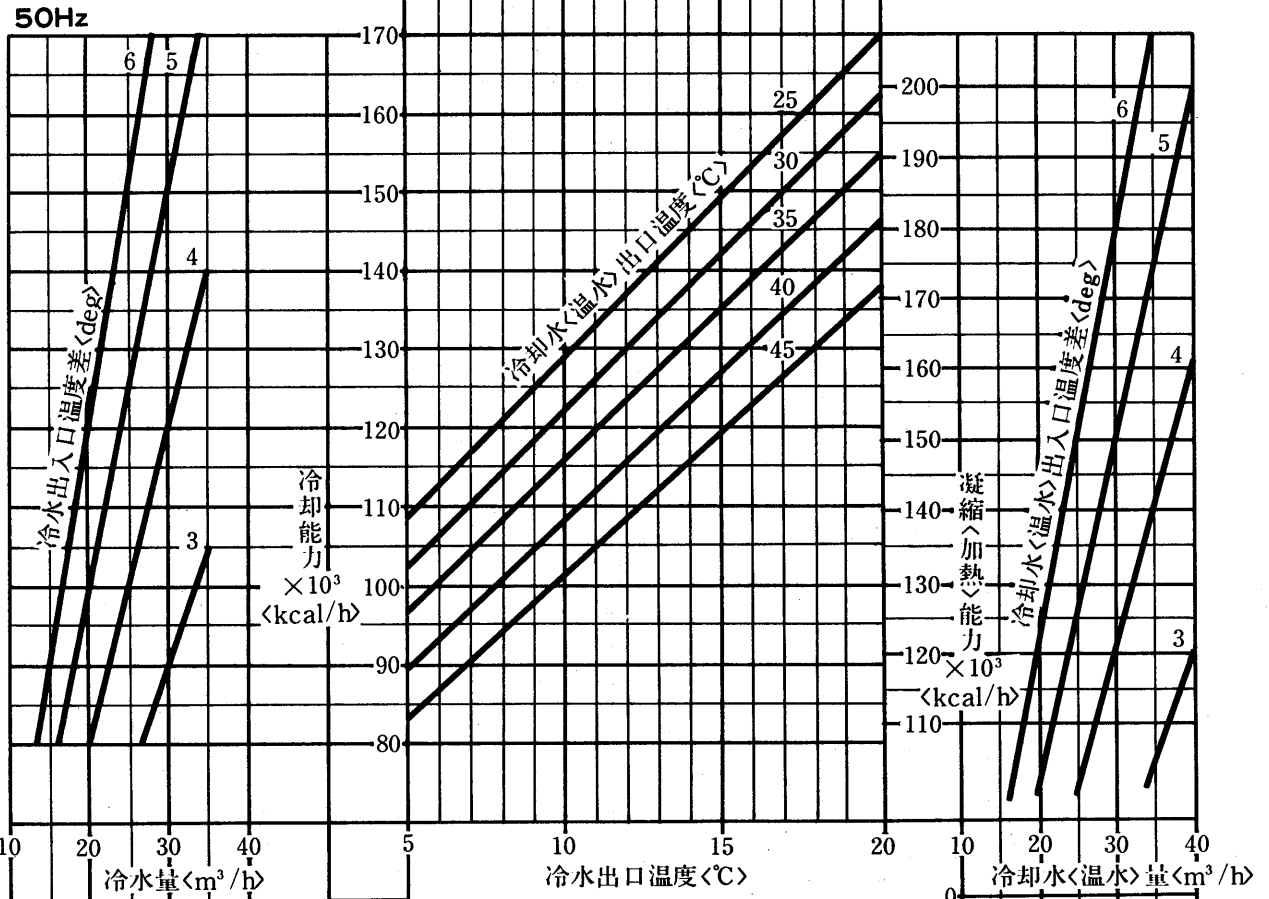
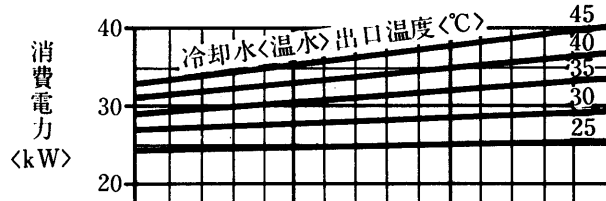
CR-30G形 <60Hz>
CRH-30G形

18

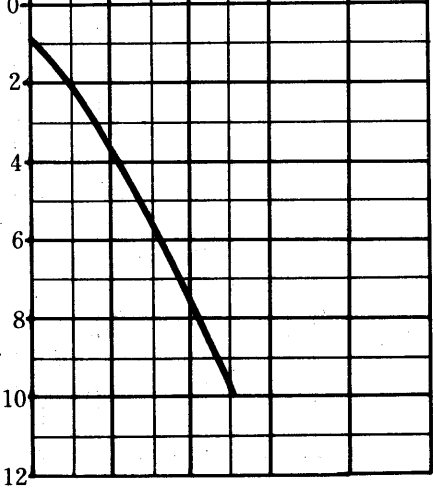
16.9



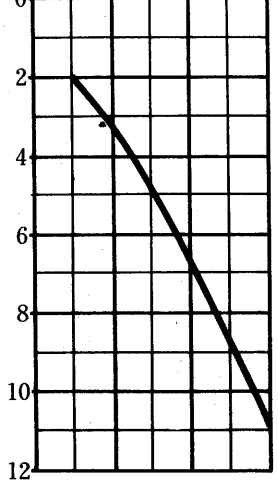
CR-40G形 <50Hz>
CRH-40G形



冷却器水頭損失 <mAq>



凝縮器水頭損失 <mAq>

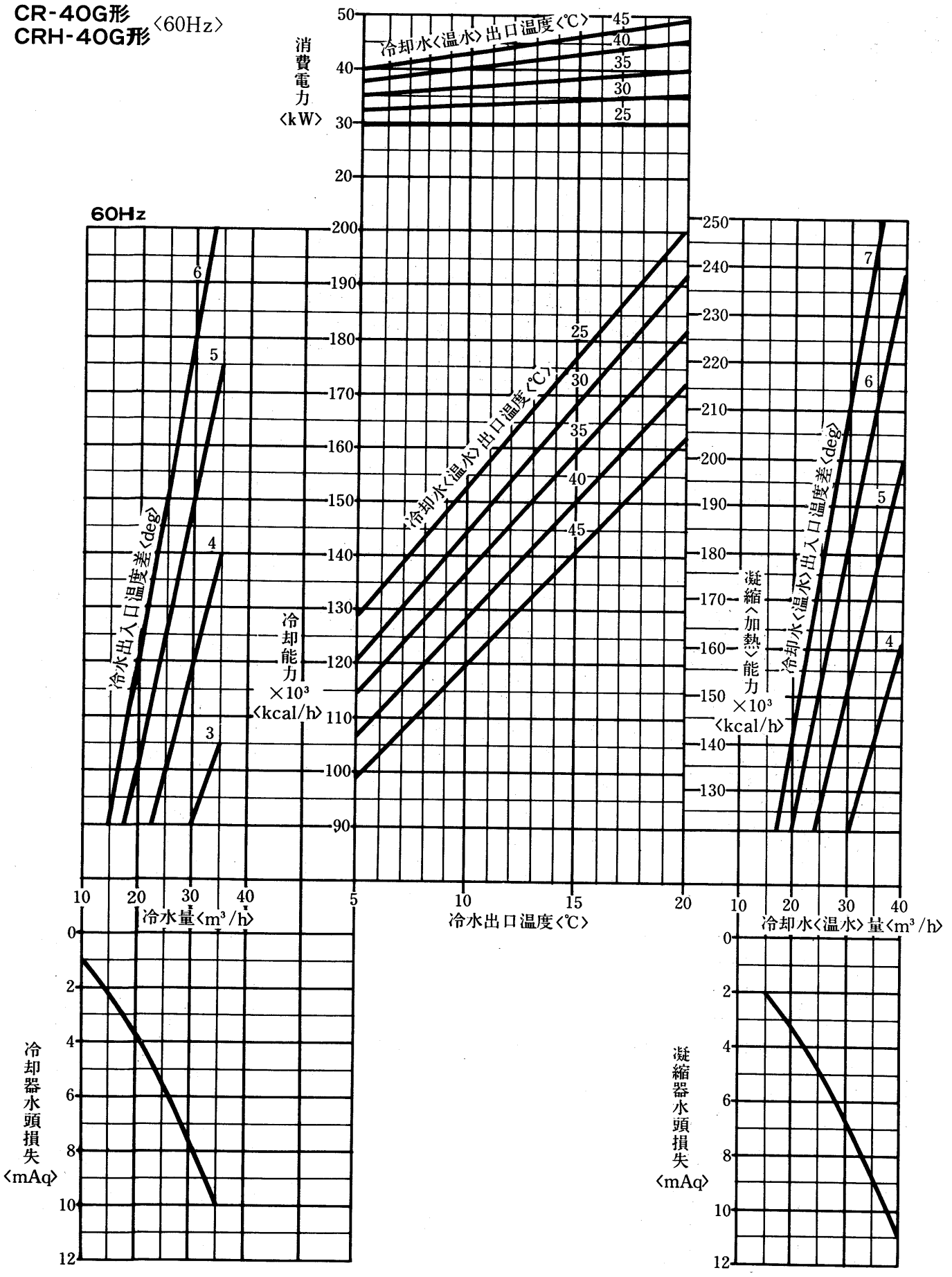


グラフ内が弊社保証値です

CR<H>-40

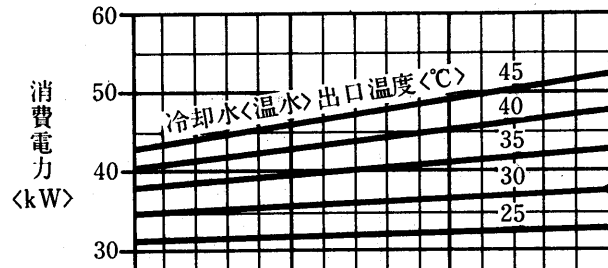
水冷式
チリンググU

CR-40G形 <60Hz>
CRH-40G形

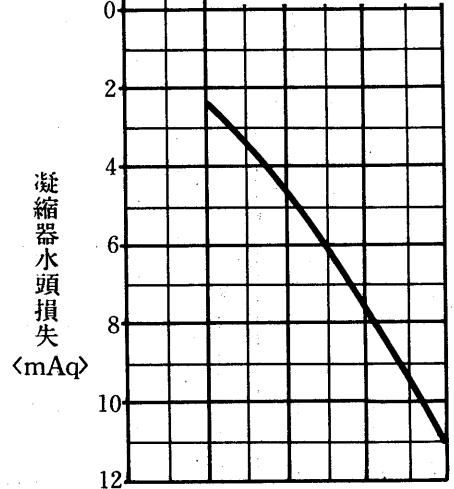
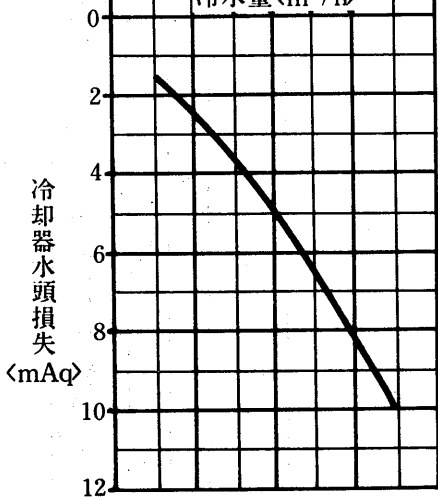
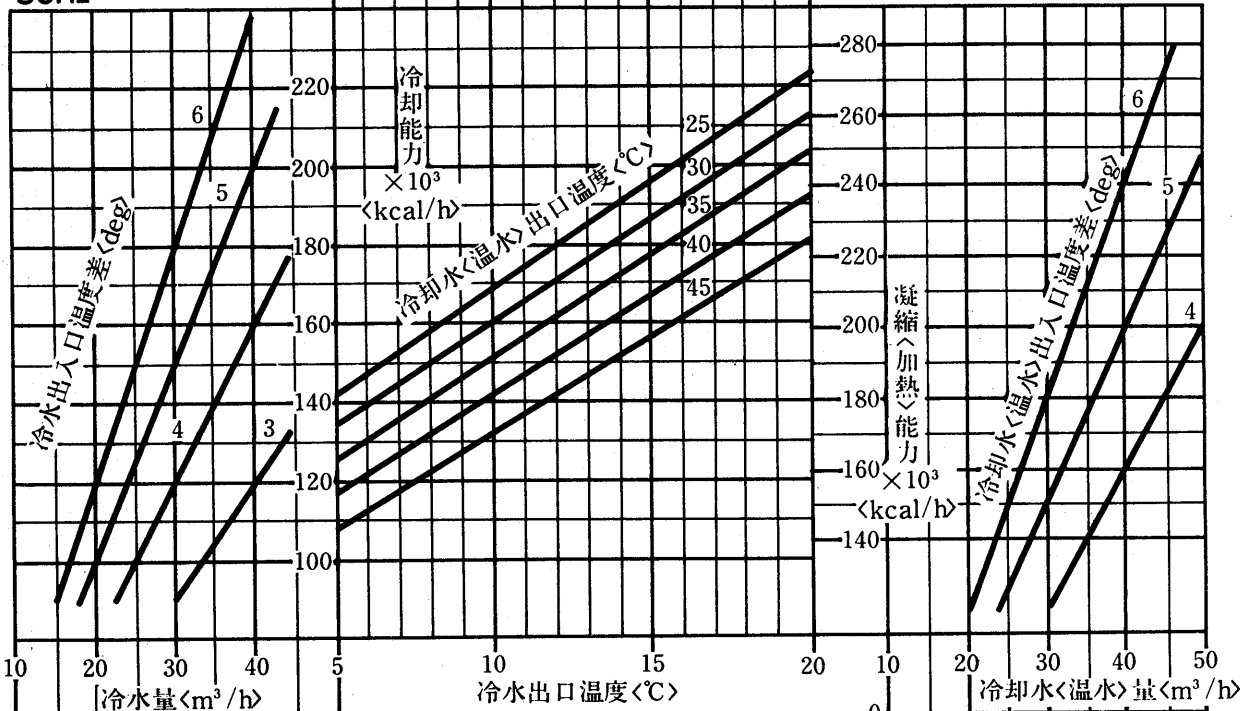


能力

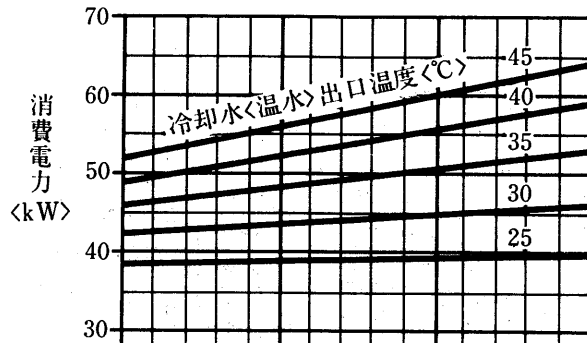
CR-50G形 <50Hz>
CRH-50G形



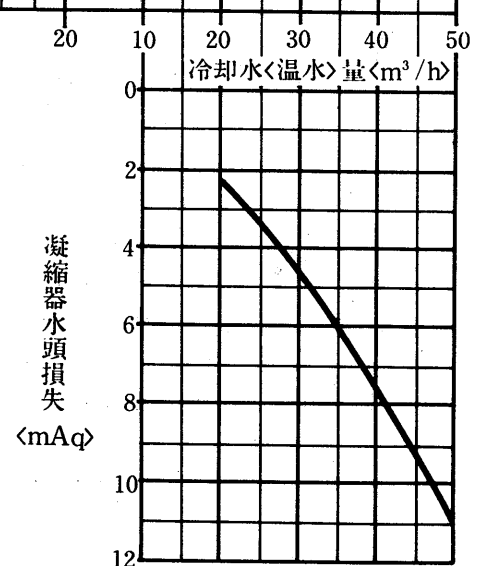
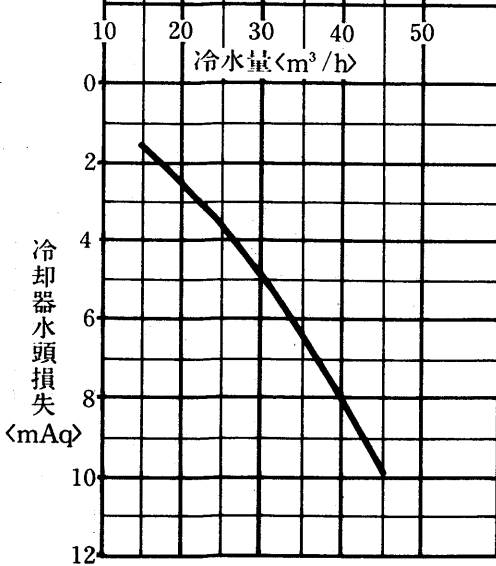
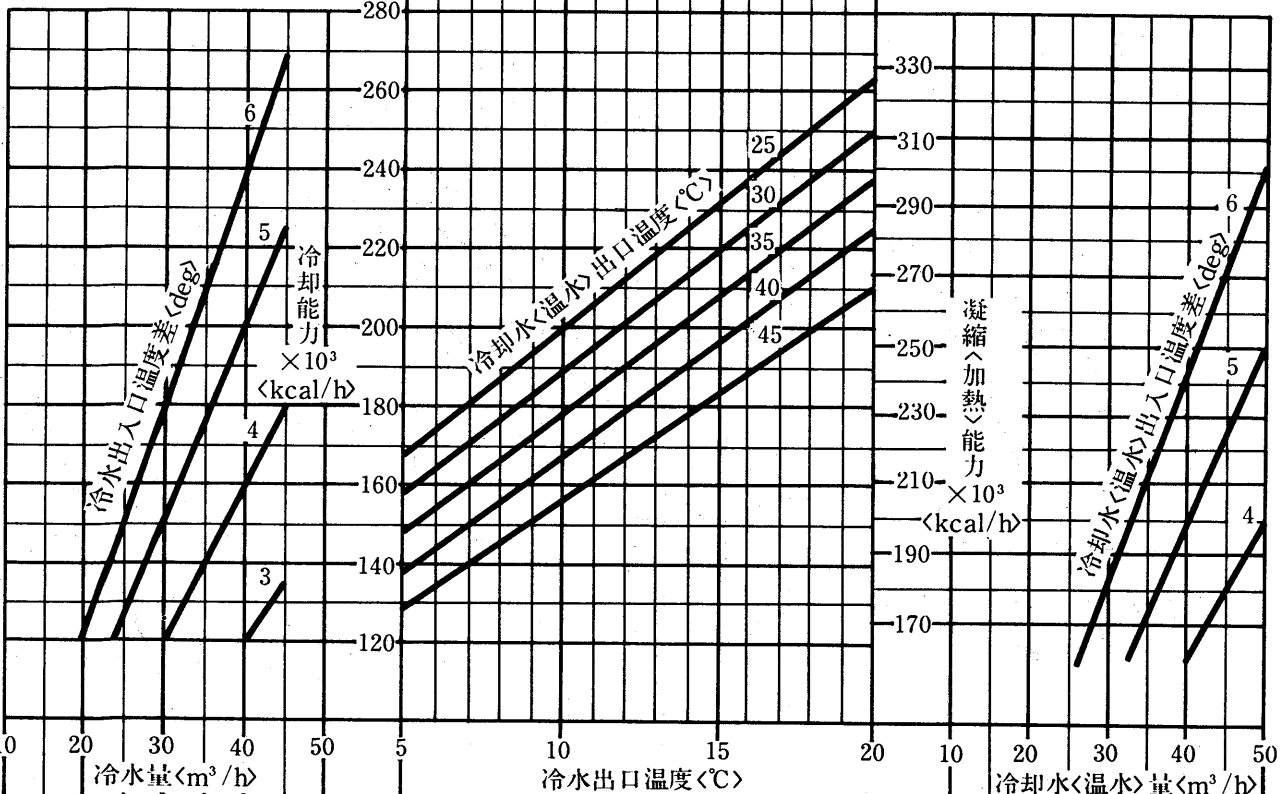
50Hz



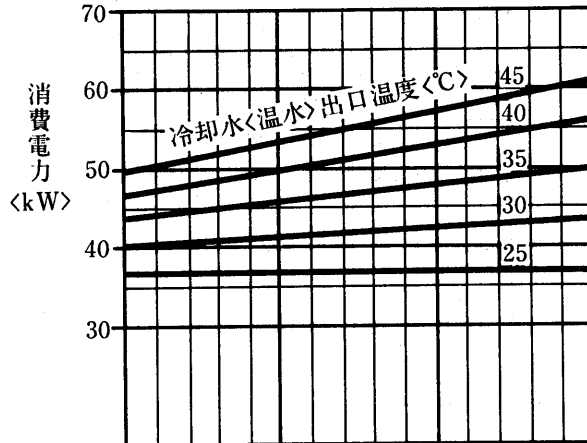
CR-50G形 <60Hz>
CRH-50G形



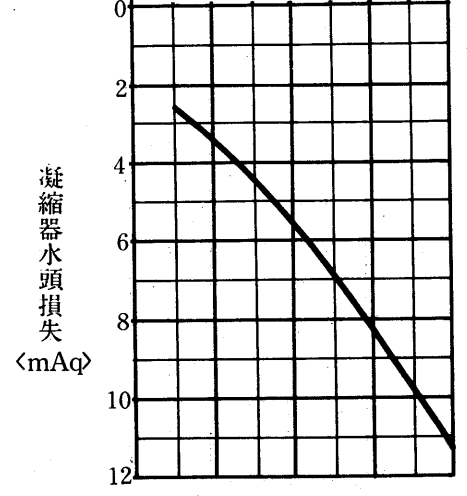
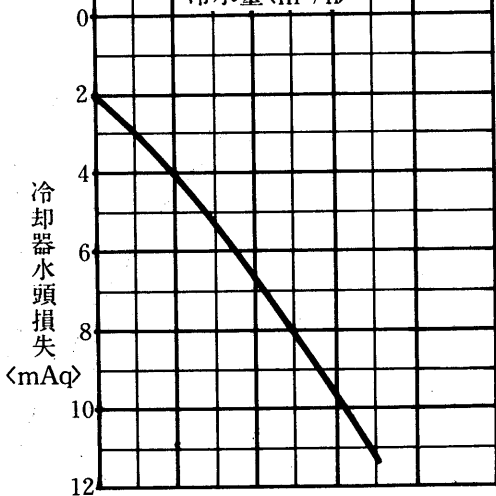
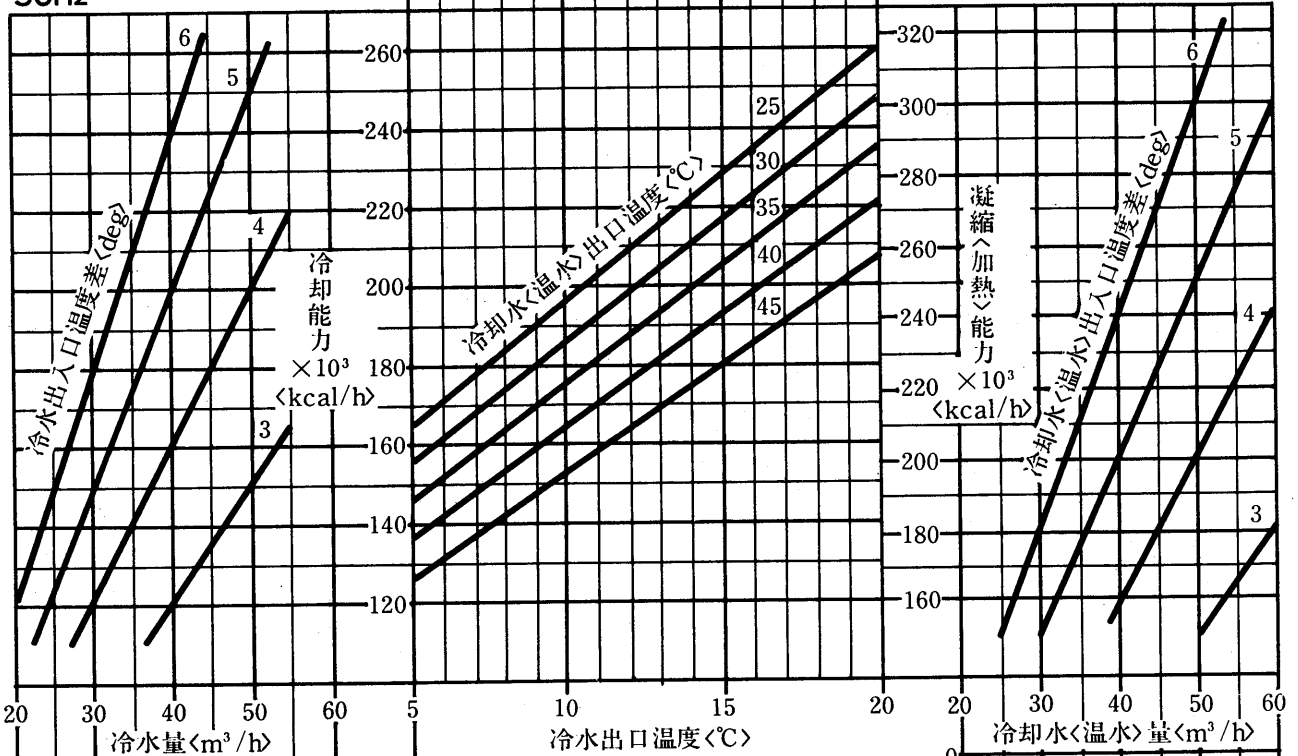
60Hz



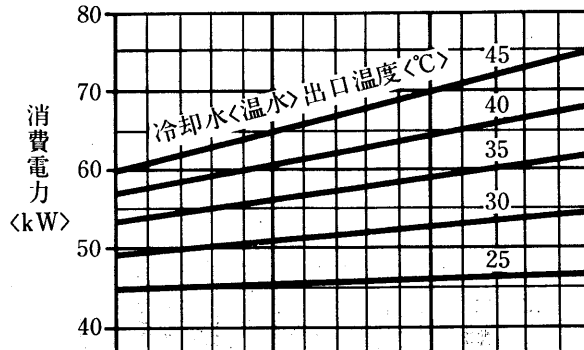
CR-60G形
CRH-60G形 <50Hz>



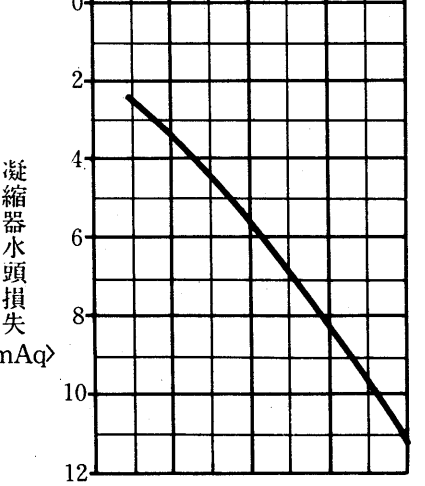
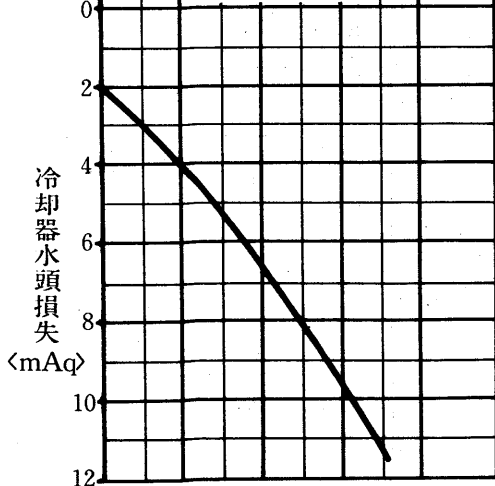
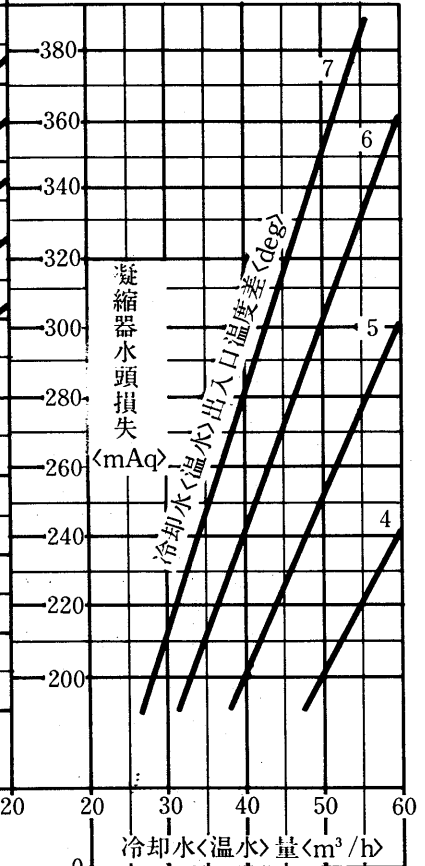
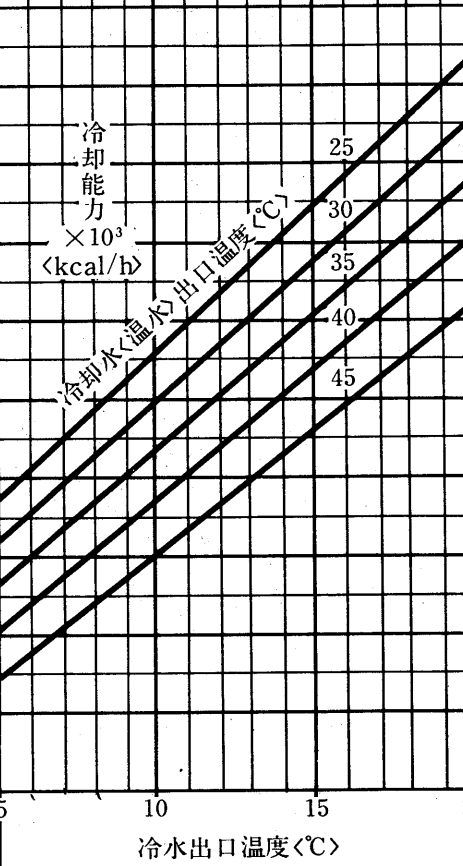
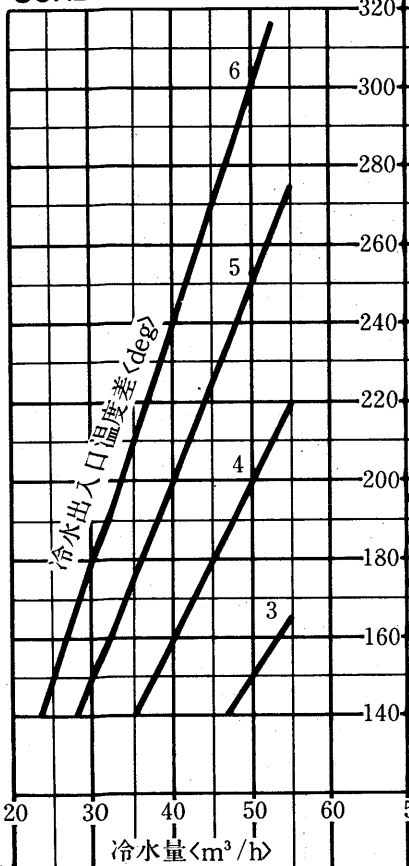
50Hz



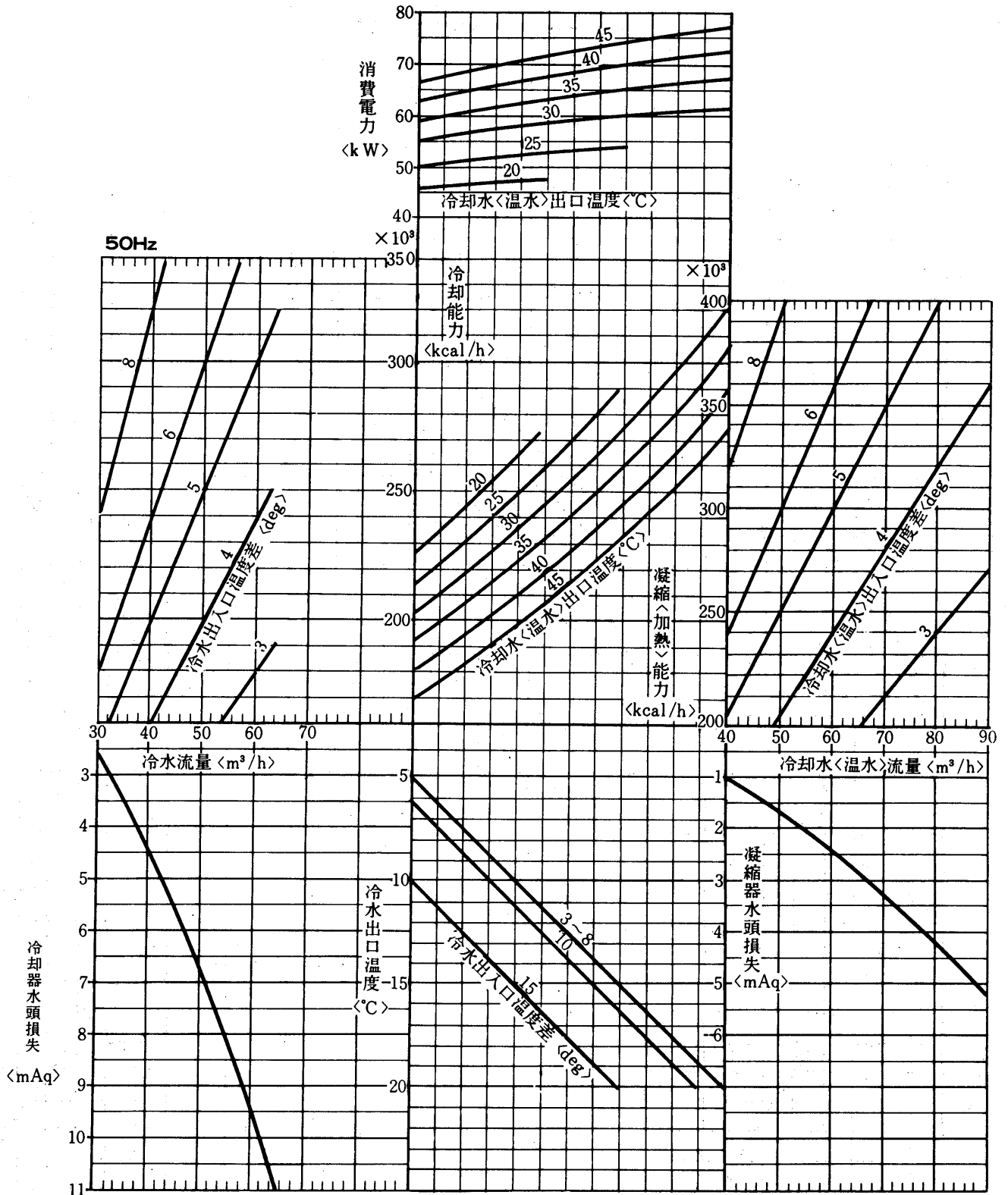
CR-60G形 <60Hz>
CRH-60G形



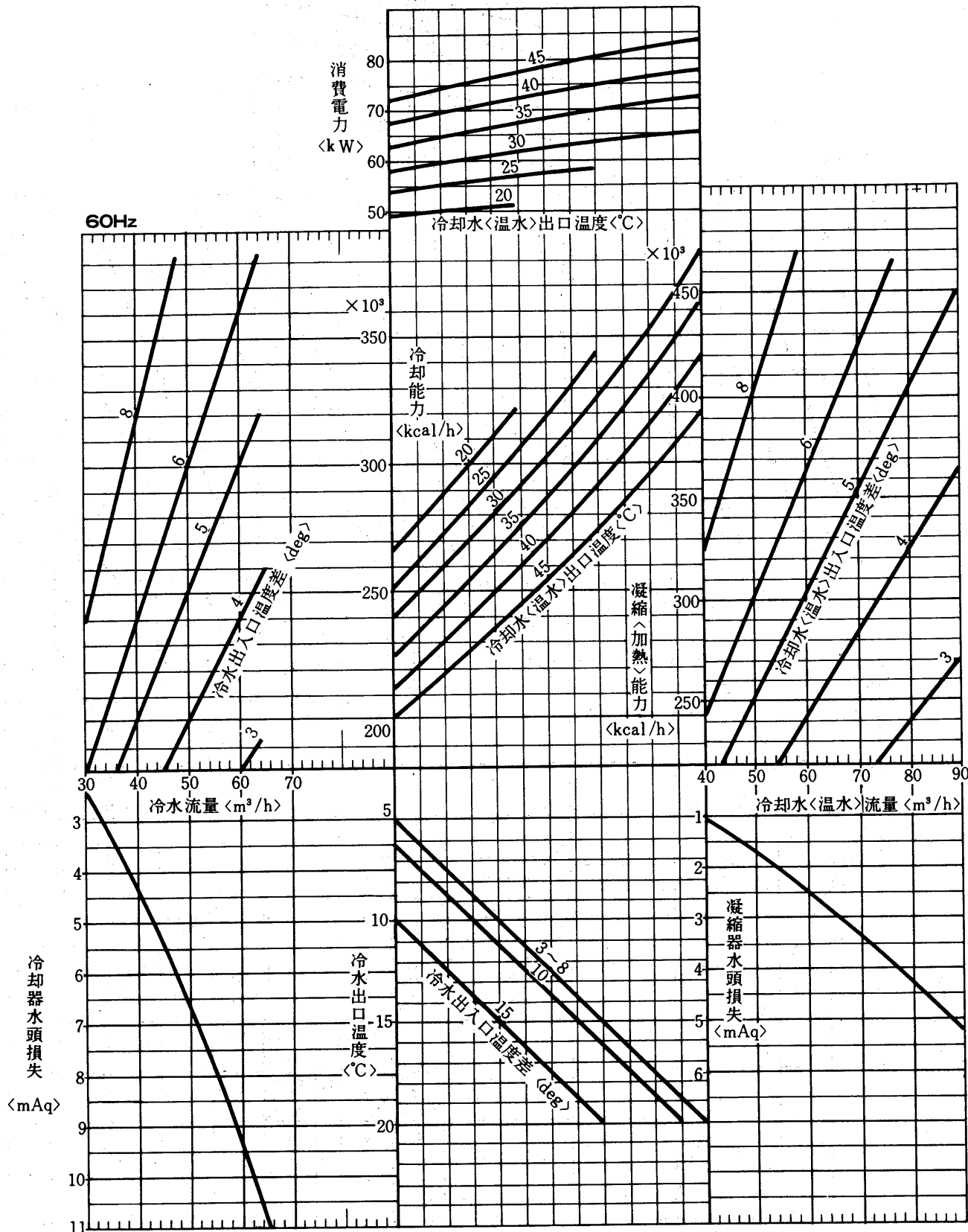
60Hz



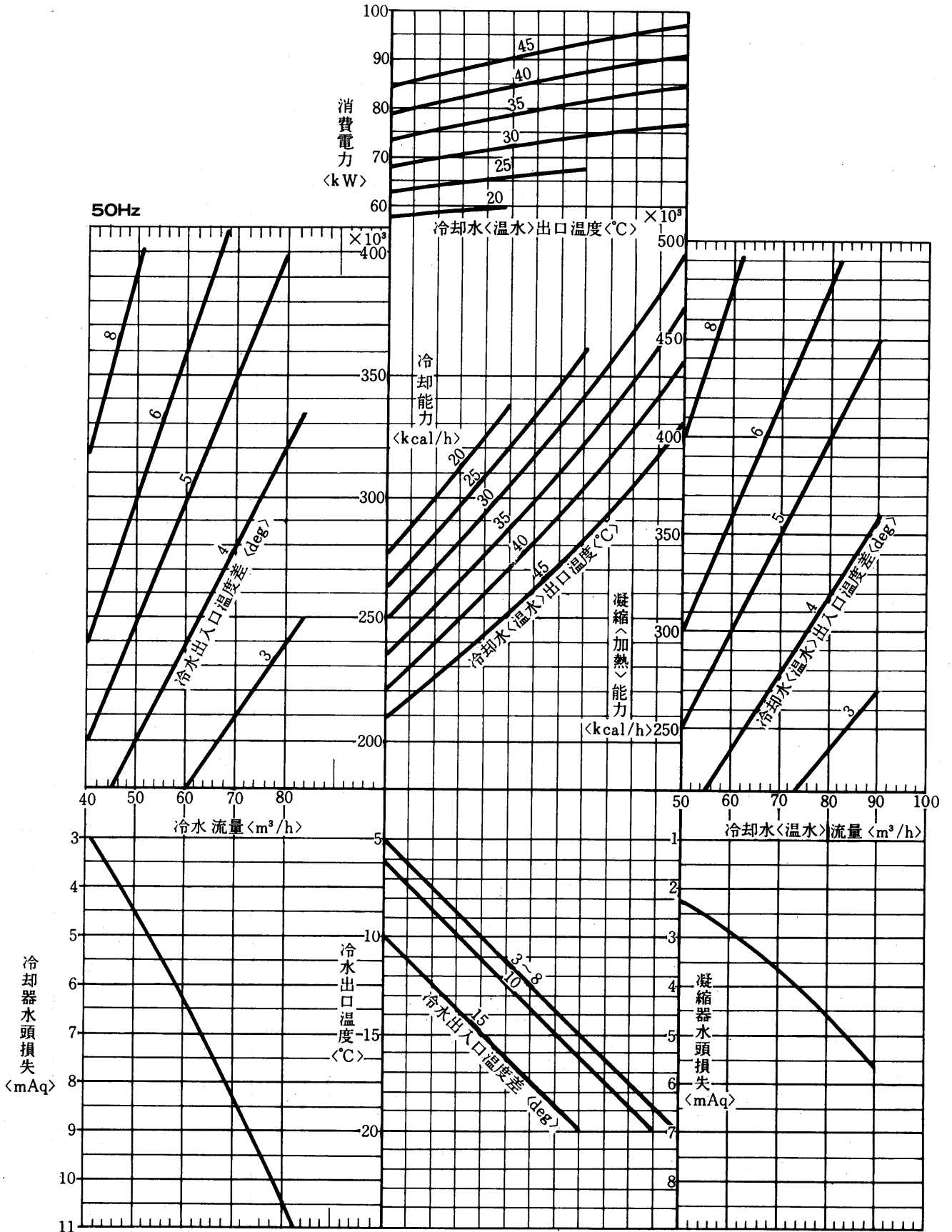
CR-80F形 <50Hz>
CRH-80F形



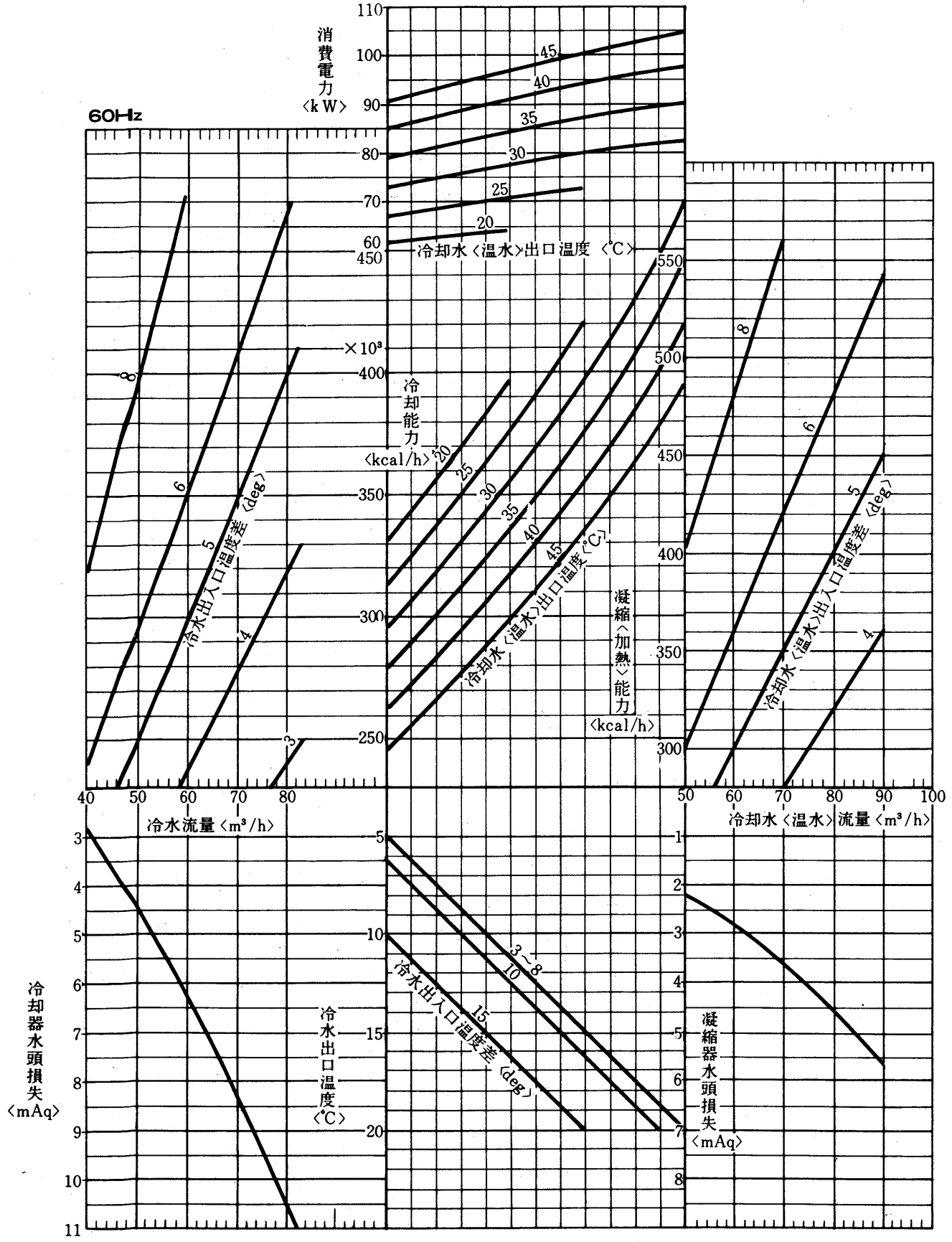
CR-80F形 <60Hz>
CRH-80F形



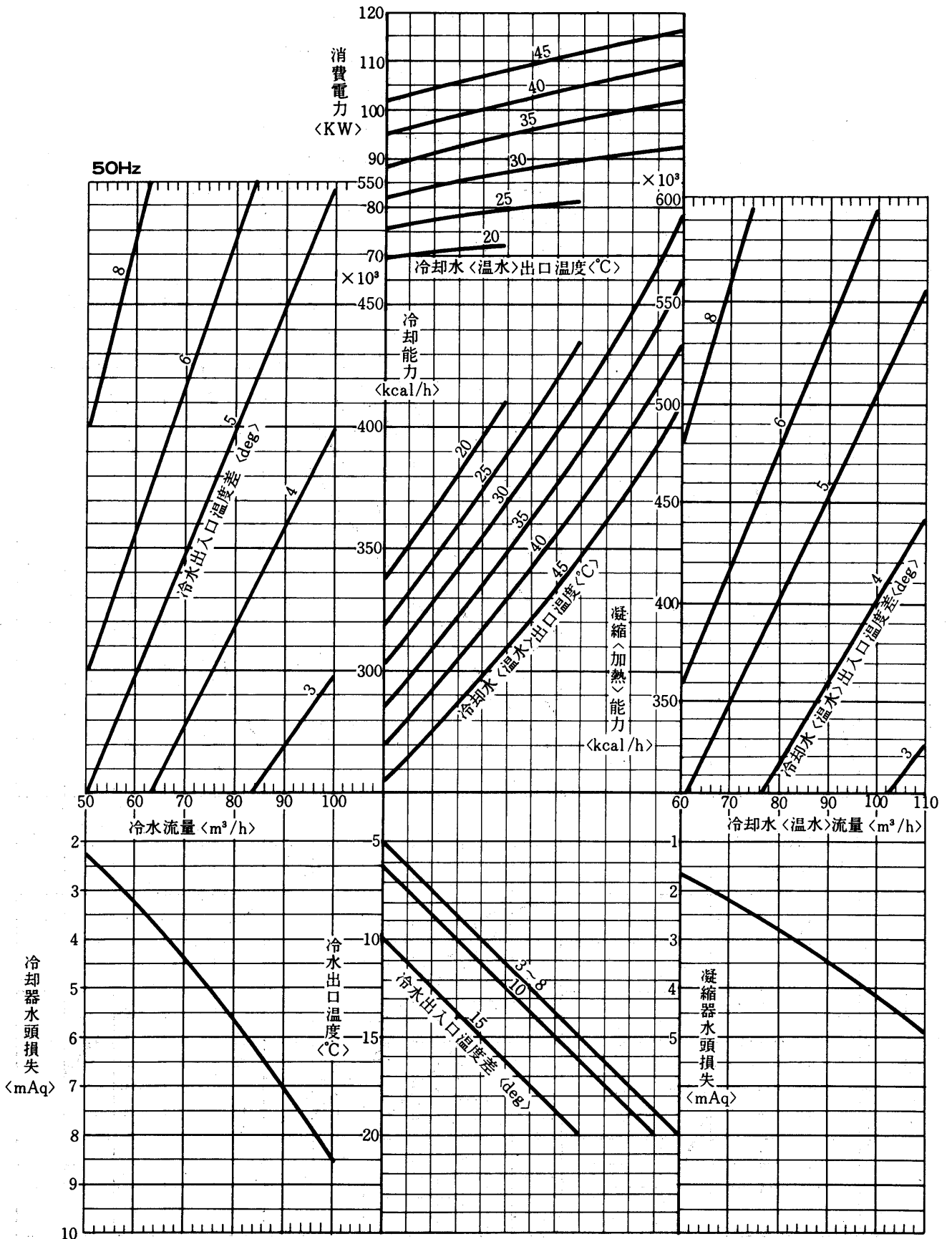
CR-100F形 <50Hz>
CRH-100F形



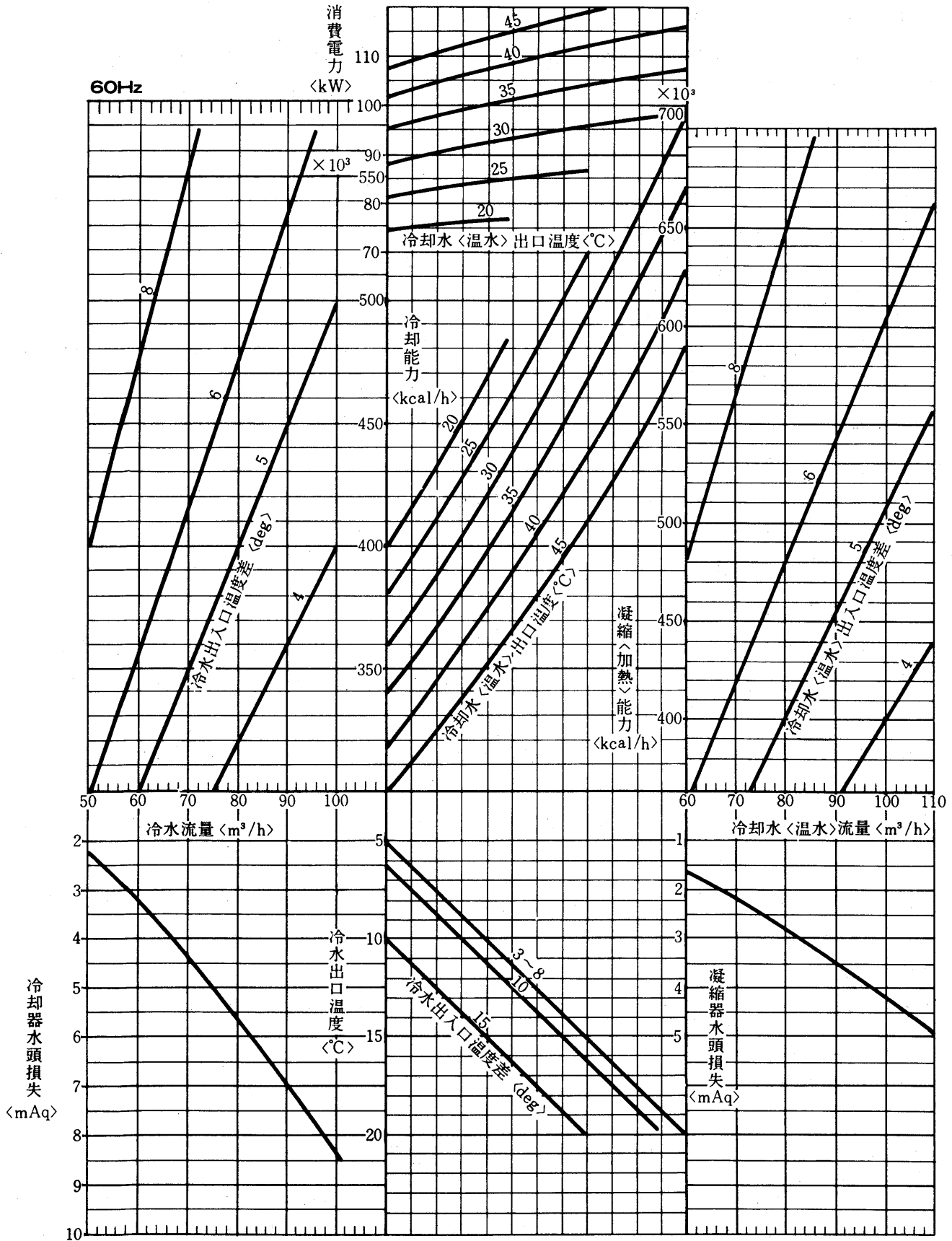
CR-100F形
CRH-100F形 <60Hz>



CR-120F形
CRH-120F形 <50Hz>



CR-120F形 <60Hz>
CRH-120F形



CR-2・CR<H>-3～K20

1.1.5 注意事項

(1)CR-2B・CR<H>-3D～K20D形

(a)据付工事

(I)搬入

- 出来るだけ静かに運び、30°以上傾けないでください。
- ユニットの吊り上げは、木枠梱包の状態ですべて移動させてください。万一、ユニットに直接ロープをかける場合は、キャビネットを傷めないようクッション材を用い、またロープには、しばりばめを行ってください。

(II)据付

- 基礎は堅固で水平な床であること。
- 雨水や直射日光の当たらない所。
- ユニットのサービスが容易に出来る所を選んでください。

(III)据付スペース

- 水冷却器配管用スペース〈左右どちらか一方〉と、正面に1 m以上のサービススペースをとってください。

(b)配管工事

(I)水配管の空気抜きを完全に行うこと。

シスターンあるいは空気抜きに向い1/200以上の勾配をつけてください。

(II)防湿施工を完全にしてください。

水循環量には能力線図で求めた数値以上を目標として循環ポンプを選定するとよい。

(IV)水抜き配管を設けてください。

(V)水出口配管中に温度計を付けておくと運転監視やサービスの際便利です。また配管には適宜仕切弁を付けて水冷却器および凝縮器だけ切離して水抜きができるようにしておいてください。

(VI)清掃時に化学洗剤が使えるように水冷却器および凝縮器と仕切弁の間に接続口をつけてください。

(VII)冷水・冷却水ポンプの振動、騒音が問題になる時は、ポンプの吸入・吐出管の一部に可撓管を使用してください。

(VIII)配管には適宜吊具を付けて、冷却器や凝縮器の接手に無理な荷重がかからないようにしてください。

(c)電気工事

(I)配線容量は始動時の電圧が定格の80%以上、運転時定格の90%以上、相間電圧のアンバランスは2%以内に確保できるものを選んでください。

(II)手元開閉器は附属していませんので別に用意してください。

(III)アースは必ず取ってください。

(IV)電熱器<クランクケース>は、常時通電しておく必要があります。

圧縮機を保護するためには、電熱器<クランクケース>を設けていますので3日以内の運転停止の際は、停止押しボタンの操作だけでユニットを停止させ電源は切らないでください。長時間停止後運転を開始する時は、電源を入れて{この時電熱器<クランクケース>に通電される}から、4時間以上過ぎてから始動押しボタンを押して、運転してください。

(V)水循環ポンプの運転は必ずチリングユニットの運転に先行する必要があるため、ポンプインターロックの結線を行ってください。

(d)使用限界

水冷式<CR形>およびヒートポンプ式<CRH形>の使用限界は下表の通りですので、この範囲内でご使用ください。

表1 水冷式<CR形, CRH形>

項目		形名	CR-2B	CR-3D CRH-3D	CR-5D CRH-5D	CR-8D CRH-8D	CR-10D CRH-10D	CR-15D CRH-15D	CR-K20D CRH-K20D
※ 冷 水 量	ℓ/min		能力線図の範囲内						
最大冷却水<温水>量	ℓ/min		31	45	64	92	129	184	259
冷水出入口温度差	deg		2.5~10						
水圧	冷 却 器	kg/cm ²	4 以下						
	凝 縮 器		4 以下						
冷水出口温度			能力線図一点鎖線の範囲内						
冷却水<温水>出口温度	℃		52						
運 転 圧 力	kg/cm ²		高圧側10~23, 低圧側3.7~5.9						
電 圧			定格±10%						
外 気 温 度	℃		CR形 15~37, CRH形 0~37						

※能力線図の線を延長した冷水量でのご使用はさけてください。

ユニットの発停時間は下記以上となるようにしてください。

●運転時間…5分以上 ●停止時間…3分以上 ●1サイクル<始動→停止→始動>…15分以上

※水配管回路中の全水量が少く、かつ軽負荷時には、ユニットの発停時間が極端に短くなり、ユニットの寿命を低下させることがあります。このような場合はクッションタンクを設ける等により、水配管回路中の全水量が下表以上となるようにしてください。

項目		形名	CR-2B	CR-3D CRH-3D	CR-5D CRH-5D	CR-8D CRH-8D	CR-10D CRH-10D	CR-15D CRH-15D	CR-K20D CRH-K20D
水配管回路中の 最小必要全水量	ℓ		42	65	95	140	200	280	200
水冷却器内水量	ℓ		2.5	5.2	5.2	6.3	8.4	12.6	16.8

(2)CR<H>-L20G~120F形

(a)据付

(I)ユニットの吊り上げはCR<H>-L20G~30G形はユニット脚部の板つり手、CR<H>-40G~120F形はユニット脚上部アイボルトを利用ください。

その際、冷媒配管、キャピラリ配管に当たらずに充分注意してください。

(II)ユニットの基礎はコンクリート又は鋼製とし、水平度は3/1000以内としてください。

(III)据付に際しては、サービススペースを確保してください。サービススペースはサービス面側1.2m、反サービス面側0.6m、両サイド0.5mです。<CR<H>-L20G~30G形>

(IV)据付の際は基礎の上に付属の防振パッドを敷き、その上にユニットを据付けてください。基礎ボルトのナットは指で締付ける程度で十分です。<CR-40G~120F形>

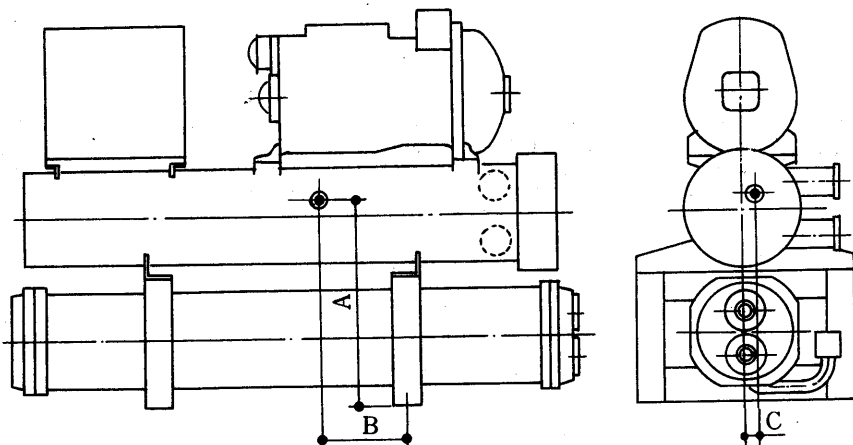
(V)チラー管束拔出用として正面より右方向にCR-80F~120F形では3.2mのスペースをとってください。

(VI)漏れチェック<CR-40G~120F形>

冷媒<R22>は凝縮器に入れ吐出止弁および液出口弁は締めてあります。また凝縮器以外の

部分にはゲージ圧力で0.5kg/cm²gの冷媒が入れてありますので、凝縮器のバルブを開く前には必ず漏れ検知器、ハイドトーチあるいはその他の方法により漏れチェックを行ってください。漏れのないことがわかったらはじめてバルブを開いてください。

(b)重心位置



形名	A	B	C	運転重量<kg>
CR-L20G	435	510	2	670
CR-25G	470	500	2	770
CR-30G	470	505	2	910
CR-40G	510	540	2	910
CR-50G	570	560	3	1,340
CR-60G	570	560	3	1,450
CR-80F	723	489	6	2,110
CR-100F	736	653	6	2,580
CR-120F	738	653	5	2,790

(c)冷水・冷却水配管

- (I)冷却器の冷水出入口にはCR-L20G~30G形はおすPTねじ、CR-40G~60G形はMPTねじ、CR-80F~120F形はフランジを使用しています。冷水はCR-L20G~60G形は下方より入り上方より出、CR-80F~120F形は上方より入り下方より出るように配管します。
- (II)凝縮器の水出入口は、めすPTねじです。冷却水は下方より入り、上方から出るように配管します。
- (III)冷水、冷却水の出入口に温度計を必ず付けて下さい。サービスの際便利です。また配管には適宜仕切弁を付けて冷却器および凝縮器だけ切離して水抜きができるようにしておいてください。
- (IV)清掃時に化学洗浄が可能のように冷却器および凝縮器を仕切弁の間に接続口をつけてください。
- (V)冷水、冷却水ポンプの振動・騒音が問題になる時は、ポンプの吸入、吐出管の一部に可撓管を使用してください。
- (VI)冷水・冷却水入口配管には清掃可能なストレーナを設けてください。〈20メッシュ程度〉
- (VII)配管には適宜吊具を付けて、冷却器や凝縮器の接手に無理な荷重がかからないようにすること、および冷水配管の保冷をすることはもちろんです。

(d)電気工事**(I)CR<H>-L20G~30G形**

(イ)配線容量は始動時の電圧が定格の80%以上、運転時の電圧の変動は定格の±10%以内、また相間電圧のアンバランスは2%以内に確保できるものを選んでください。

(ロ)電熱器<クランクケース>は常時通電しておく必要があります。

圧縮機を保護するために電熱器<クランクケース>を設けていますので3日以内の運転停止の際は、切スイッチの操作だけでユニットを停止させ電源は切らないで下さい。

長時間停止後運転を再開する時は、電源を入れて〔この時、電熱器<クランクケース>に通電される〕から、4時間以上過ぎてから入スイッチを操作して運転して下さい。

(ハ)冷水及び冷却水ポンプの運転は必ずチリングユニットの運転より先行する必要があるため、ポンプインターロックの結線を行なって下さい。

(II)CR<H>-40G~120F形**(イ)主電源接続**

- 主電源の電圧変動は各板値の±10%以内、また相間電圧のアンバランスは3%以内であることを確認してください。

- 電動の回転方向はいずれでもかまいません。これはMX形圧縮機はハネカケ式、またMZ形圧縮機は可逆式のオイルポンプを採用しているためです。

(ロ)制御回路接続

- 冷水・冷却水ポンプのインターロックをとってください。

- 電熱器<クランクケース>回路はシーズン中、常に通電する必要があるため夜間等主電源を切る恐れのある場合は、ヒータ回路だけ主電源とは別の電源からとるようにしてください。

(ハ)配線チェック

下記項目をチェックしてください。

- 電線サイズ、遮断器サイズは適当か。

- 電気工事は規格を満足しているか。

- 結線に誤りはないか。

- インターロックは正しく作動するか。

- コンタクタの各接点は均一に当たっているか、作動は確実か。

(e)使用限界

冷水式<CR形>およびヒートポンプ式<CRH形>の使用限界は次頁の通りですので、この範囲内でご使用ください。

(I)CR<H>-L20G~30G形

項目		形名	CR-L20G	CR-25G CRH-25G	CR-30G CRH-30G
冷水流量※1	m ³ /h		5~20	7~23	8~25
冷却水<温水>流量※1	m ³ /h		10~25	10~25	15~33
水圧	kg/cm ² G		10以下		
冷水出口温度※2	℃		5~20		
冷却水<温水>出口温度	℃		45以下		
運転圧力	kg/cm ² G		高圧10~22 低圧2<最低>~6		
電圧			定格±10%相間アンバランス2%以内		
周囲温度	℃		-5~40		

※1.必ずこの流量範囲内で使用して下さい。 ※2.冷水出口温度10~20℃で連続運転の場合は、特殊仕様です。

ユニットの発停時間は下記以上となるようにして下さい。

●運転…5分以上 ●停止時間…3分以上 ●1サイクル<始動→停止→始動>…15分以上

冷水回路中の保有水量が少く、かつ軽負荷時には、ユニットの発停時間が極端に短くなり、ユニットの寿命を低下させる恐れがあります。このような場合はクッションタンクの設置等により、冷水回路中の保有水量が下表以上となるようにして下さい。

項目	形名	CR-L20G	CR-25G CRH-25G	CR-30G CRH-30G
最低保有冷水量<ℓ><50/60Hz>		300/340	330/390	400/510
水冷却器内水量<ℓ>		38	65	65

(II)CR<H>-40G~120F形

冷水流量	m ³ /h	能力線図範囲
冷却水<温水>流量	m ³ /h	能力線図範囲
水圧	kg/cm ²	10以下
冷水温度	℃	5~20
温水温度	℃	45以下
運転圧力	kg/cm ²	高圧10~20内 低圧3.2以上
電圧		定格±10% 相間3%以内
温度	℃	0~40
発停間隔		始動から再始動まで20分以上

<注> 能力線図の線を延長されて使用する場合はご相談ください。

●最低保有冷水量

“冷却負荷≧ユニットの最小アンロード時の冷却能力”の場合にはユニットは停止することはありませんが、“冷却負荷<ユニットの最小アンロード時の冷却能力”となる場合にはユニットは発停を行いません。発停間隔については、上記使用限界に記述のように20分以上とる必要があります。<発停間隔が20分以下になると、圧縮機用電動機の寿命をそこなう恐れがあります> “冷却負荷<ユニットの最小アンロード時の冷却能力”となる恐れがある場合には、下表に掲げる最低保有冷水量以上の保有冷水量であるかどうかチェックして下さい。最低保有冷水量が確保されていない場合には、冷水タンクの設置を検討下さい。どうしても確保できない場合には、ショートサイクル防止回路をユニット側に付属し、発停間隔を20分とるよう致します。ただし、追加仕様となります。

機種	CR-40	CR-50	CR-60	CR-80	CR-100	CR-120
最低保有冷水量<ℓ><50Hz>	680	910	1060	1500	2000	2400
最低保有冷水量<ℓ><60Hz>	800	1070	1250	1800	2400	2900

<注>1. 上記は、自動発停サーモのデファレンシャルが6 deg.の場合のものです。6 deg.以外の場合は、次の式より最低保有冷水量を計算下さい。

$$\text{最低保有冷水量} \langle \text{m}^3 \rangle = \frac{6 \times \langle \text{該当機種の上表からの最低保有冷水量} \rangle}{\langle \text{自動発停サーモのデファレンシャル} \rangle}$$

1.1.6 電気特性

(1)水冷式電気特性一覧表<CR-2B~CR-K20D形>

項目		形名	CR-2B	CR-3D	CR-5D	CR-8D	CR-10D	CR-15D	CR-K20D	
電気特性	電源		三相 200V 50/60Hz							
	ユニット	消費電力 kW	1.7/2.1	2.8/3.2	4.4/5.3	7.2/8.1	9.0/10.2	14.4/16.2	18.0/20.4	
		運転電流 A	6.1/6.7	9.4/10.2	15.4/17.0	27.0/27.2	32.0/33.0	54.0/54.4	64.0/66.0	
		力率 %	80.6/90.5	86.0/90.6	82.4/90.0	77.0/86.0	81.2/89.2	77.0/86.0	81.2/89.2	
	※1	始動電流 A		41.4/36.7	64.0/55.0	106/97.0	167/153	170/149	191/180	202/182
		圧縮機	称呼出力 kW	1.5	2.2	3.75	5.5	7.5	5.5×2	7.5×2
			電動機	定格電流 A	7.4	12.2	20.5	32.5	42	32.5×2
電熱器<クランクケース>		W	62			72	62×2	72×2		
電気工事	電線太さ ※2		φ1.6<19mまで>	φ2.0<35mまで>	φ2.6<35mまで>	14mm ² <58mまで>	14mm ² <47mまで>	30mm ² <62mまで>	38mm ² <62mまで>	
	過電流保護器		A	20	30	50	75	100	125	
	開閉器容量		A	30	30	60	100	100	200	
接地線太さ			φ1.6以上	φ1.6以上	φ2.0以上	φ2.6以上	φ2.6以上	14mm ² 以上	14mm ² 以上	
※2	圧縮機容量 μF		各電力会社低圧進相コンデンサ取付基準による							
	電動機電線太さ		φ1.6以上	φ1.6以上	φ2.6以上					

※1 電気特性は次の条件による。

冷却水入口温度32℃・出口温度37℃・冷水入口温度12℃・出口温度7℃

※2 金属管配線の場合を示す。<電圧降下4V, 現地ポンプ容量含まず>

(2)水熱源ヒートポンプ式電気特性一覧表<CRH-3D~CRH-K20D形>

項目		形名	CRH-3D	CRH-5D	CRH-8D	CRH-10D	CRH-15D	CRH-K20D	
電気特性	電源		三相 200V 50/60Hz						
	ユニット	消費電力 kW	2.8/3.2	4.4/5.3	7.2/8.1	9.0/10.2	14.4/16.2	18.0/20.4	
		運転電流 A	9.4/10.2	15.4/17.0	27.0/27.2	32.0/33.0	54.0/54.4	64.0/66.0	
		力率 %	86.0/90.6	82.4/90.0	77.0/86.0	81.2/89.2	77.0/86.0	81.2/89.2	
	※2	消費電力 kW		3.1/3.6	4.9/5.9	8.1/9.2	10.0/11.3	16.2/18.4	20.0/22.6
		暖房	運転電流 A	10.1/11.2	16.6/18.5	29.2/30.2	34.3/35.8	58.4/60.4	68.6/71.6
			力率 %	89.0/92.6	85.4/92.0	80.0/88.0	84.2/91.2	80.0/88.0	84.2/91.2
始動電流 A		64.0/55.0	106/97.0	167/153	170/149	191/180	202/182		
圧縮機	称呼出力 kW	2.2	3.75	5.5	7.5	5.5×2	7.5×2		
	電動機	定格電流 A	12.2	20.5	32.5	42	32.5×2	42×2	
電熱器<クランクケース>		W	62			72	62×2	72×2	
電気工事	電線太さ ※3		φ1.6<13mまで>	φ2.6<20mまで>	14mm ² <34mまで>	22mm ² <44mまで>	22mm ² <25mまで>	30mm ² <27mまで>	
	過電流保護器		A	30	50	75	100	150	
	開閉器容量		A	30	60	100	100	200	
接地線太さ			φ1.6以上	φ2.0以上	φ2.6以上	φ2.6以上	14mm ² 以上	14mm ² 以上	
※3	圧縮機容量 μF		各電力会社低圧進相コンデンサ取付基準による						
	電動機電線太さ		φ1.6以上	φ2.6以上					

※1, ※2 電気特性は次の条件による。

冷却水入口温度32℃・出口温度37℃・冷水入口温度12℃, 出口温度7℃

冷水入口温度16℃・温水入口温度40℃, 出口温度45℃

※3 金属管配線の場合を示します。

水冷式チリングユニット

(3) 水冷式電気特性一覧表<CR-L20G~I20F形>

項目		形名	CR-L20G	CR-25G	CR-30G	CR-40G	
電気特性	電源		三相 200V 50/60Hz				
	消費電力	kW	20.3/24.7	22.5/27.5	26.5/32.5	30.4/36.8	
	運転電流	A	80/80	87/89	101/104	102/119	
	力率	%	73.3/89.1	74.7/89.2	75.8/90.3	86.2/89.5	
	始動電流	直入 入-△	A	207/186	210/176	220/192	478/427
				—	—	—	159/142
	圧縮機用電動機称呼出力	kW	5.0×3	5.0×2+7.5	7.5×3	30	
電熱器<クランクケース>	W	186	196	216	200		
電気工事	電線太さ※2	mm ²	38	50	60	60	
	手元開閉器<AC250V>	A	0 200	0 200	0 250	250	
	分岐開閉器 <ブレーカの場合>	A	NF-225C <150>	NF-225C <150>	NF-225C <200>	NF-225C <225>	
	接地<アース>線太さ	mm ²	14以上	14以上	14以上	22以上	
槽コンデンサ	圧縮機用 電動機	容量	μF	300/100	300/100	300/100	300
			kVA	3.8/1.5	3.8/1.5	3.8/1.5	3.77/4.52
		電線太さ	mm ²	5.5/2.0	5.5/2.0	5.5/2.0	5.5

項目		形名	CR-50G	CR-60G	CR-80F	CR-100F	CR-120F	
電気特性	電源		三相 200V 50/60Hz					
	消費電力	kW	39.5/48	45.9/55.8	62.5/68	76/82	91.5/99	
	運転電流	A	137/155	155/181	208/213	285/263	326/314	
	力率	%	83.5/89.3	85.7/89.2	86.8/92.0	77.0/90.0	81.0/91.0	
	始動電流	直入 入-△	A	—	—	—	—	—
				247/247	263/272	400/353	719/621	719/621
	圧縮機用電動機称呼出力	kW	8.5×2	22×2	56/60	70/75	84/90	
電熱器<クランクケース>	W	200×2	200×2	250	400	400		
電気工事	電線太さ※2	mm ²	80	100	150	200	250	
	手元開閉器<AC250V>	A	400	500	500	600	600	
	分岐開閉器 <ブレーカの場合>	A	NF-400C <300>	NF-400C <400>	NF-400C <400>	NF-600 <500>	NF-600 <500>	
	接地<アース>線太さ	mm ²	22以上	22以上	38以上	38以上	38以上	
槽コンデンサ	圧縮機用 電動機	容量	μF	300	300	1000/800	1200/1000	1500/1200
			kVA	3.77/4.52	3.77/4.52	12.6/12.1	15.1/15.1	18.8/18.1
		電線太さ	mm ²	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5

※1. 電気特性は次の条件による。

冷却水入口温度32℃, 出口温度37℃, 冷水入口温度12℃, 出口温度7℃

※2. 金属管配線の場合を示します。

(4)水熱源ヒートポンプ電気特性一覧表<CRH-25G~120F形>

項目		形名	CRH-25G	CRH-30G	CRH-40G	CRH-50G		
電 気 特 性	電 源		三相 200V 50/60Hz					
	ユ ニ ツ ト	冷房※1	消費電力 kW	22.5/27.5	26.5/32.5	30.4/36.8	39.5/48	
			運転電流 A	87/89	101/104	102/119	137/155	
			力率 %	74.7/89.2	75.8/90.3	86.2/89.5	83.5/89.3	
	ニ ツ ト	暖房※2	消費電力 kW	24.1/29.8	28.5/35.5	33.4/40.5	43.5/52.8	
			運転電流 A	93/96	107/114	111/132	148/171	
			力率 %	74.8/89.6	76.7/89.2	87.0/88.9	84.9/89.2	
	ト	始動電流	直入 A	210/176	220/192	478/427	—	
			人—△	—	—	159/142	247/247	
	圧縮機用電動機称呼出力		kW	5.0×2+7.5	7.5×3	30	18.5×2	
電熱器<クランクケース>		W	196	216	200	200×2		
電 気 工 事	ユ ニ ツ ト	電線太さ※3	mm ²	50	60	60	80	
		手元開閉器<AC250V>	A	200	250	250	400	
		分岐開閉器 <ブレーカの場合>	A	NF-225C <150>	NF-225C <200>	NF-225C <225>	NF-400C <300>	
	接地<アース>線太さ	mm ²	14以上	14以上	22以上	22以上		
事 業	槽 コ ン テ ナ	圧縮機用 電動機	容量	μF	300/100	300/100	300	300
			電線太さ	mm ²	5.5/2.0	5.5/2.0	3.77/4.25	3.77/4.52

項目		形名	CRH-60G	CRH-80F	CRH-100F	CRH-120F		
電 気 特 性	電 源		三相 200V 50/60Hz					
	ユ ニ ツ ト	冷房※1	消費電力 kW	45.9/55.8	62.5/68	76/82	91.5/99	
			運転電流 A	155/181	208/213	285/263	326/314	
			力率 %	83.2/90.9	86.8/92.0	77.0/90.0	81.0/91.0	
	ニ ツ ト	暖房※2	消費電力 kW	50.6/61.5	67.5/72.5	84.5/91	102/108.5	
			運転電流 A	170/199	223/228	307/290	355/344	
			力率 %	86.1/89.0	87.4/92.0	79.5/90.5	82.9/91.1	
	ト	始動電流	直入 A	—	—	—	—	
			人—△	263/272	400/353	719/621	719/621	
	圧縮機用電動機称呼出力		kW	22×2	56/60	70/75	84/90	
電熱器<クランクケース>		W	200×2	250	400	400		
電 気 工 事	ユ ニ ツ ト	電線太さ※3	mm ²	100	150	200	250	
		手元開閉器<AC250V>	A	500	500	600	600	
		分岐開閉器 <ブレーカの場合>	A	NF-400C <400>	NF-400C <400>	NF-600 <500>	NF-600 <500>	
	接地<アース>線太さ	mm ²	22以上	38以上	38以上	38以上		
事 業	槽 コ ン テ ナ	圧縮機用 電動機	容量	μF	300	1000/800	1200/1000	1500/1200
			電線太さ	mm ²	5.5	5.5	5.5	5.5

※1. ※2. 電気特性は次の条件による。

冷却水入口温度32℃, 出口温度37℃, 冷水入口温度12℃, 出口温度7℃

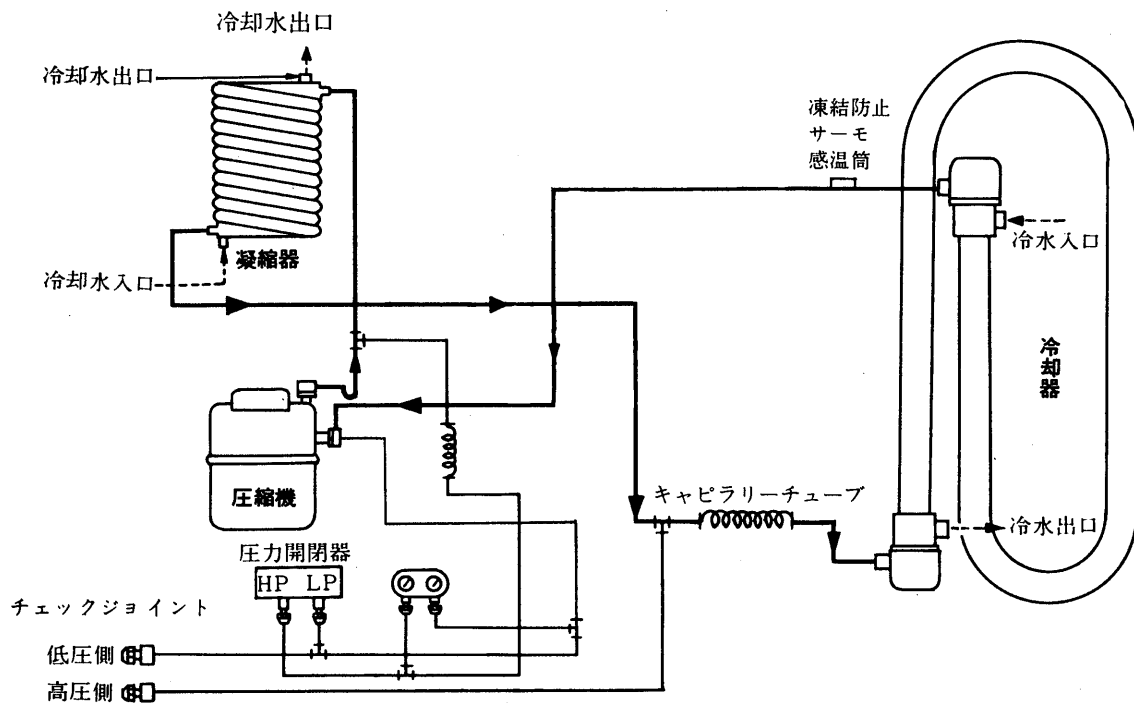
冷水入口温度16℃, 出口温度9℃, 温水入口温度37℃, 出口温度42℃

※3. 金属管配線の場合を示す。

水冷式チリングユニット

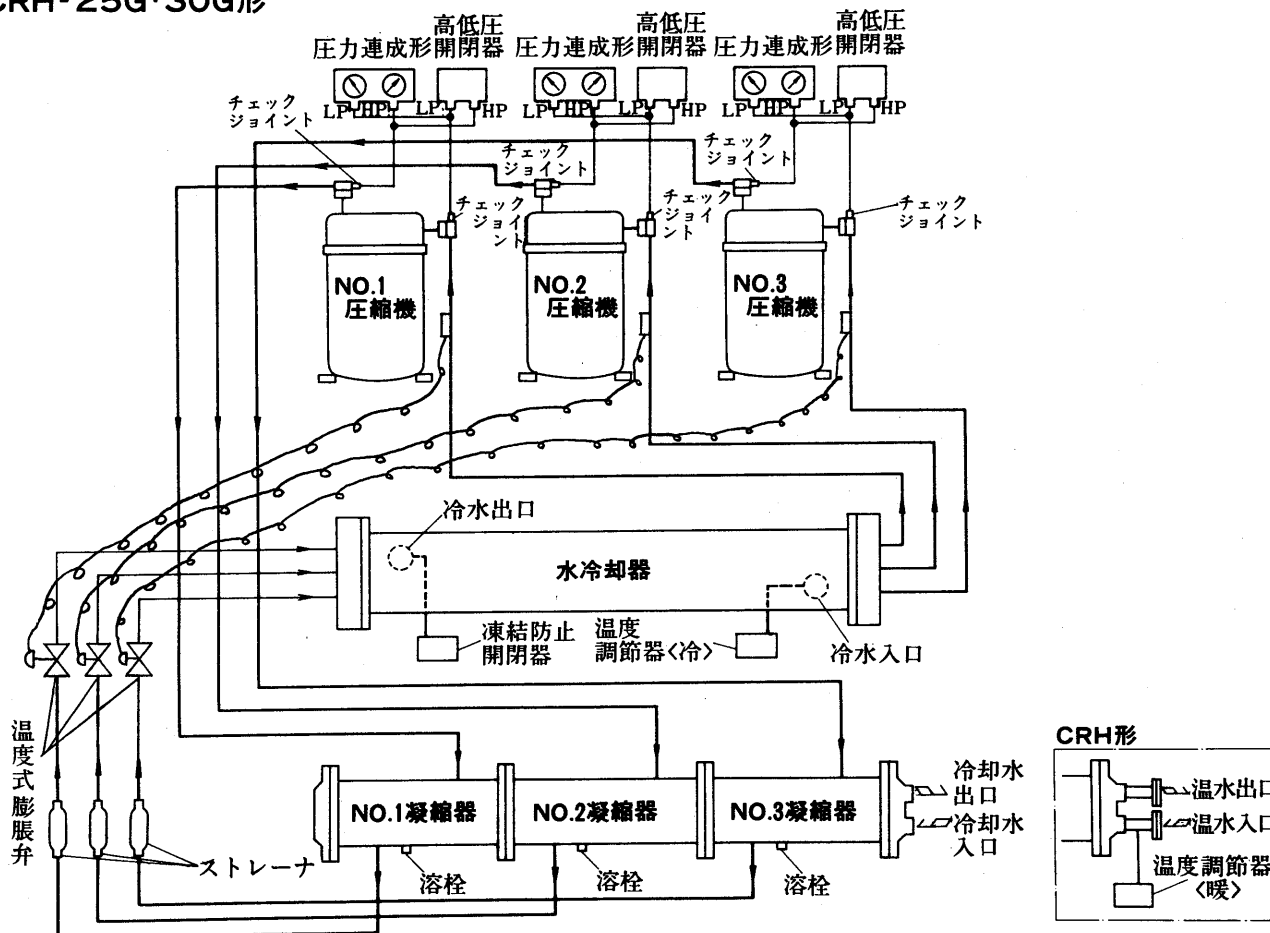
1.1.7 冷媒配管系統図

CR<H>8D~K20D形

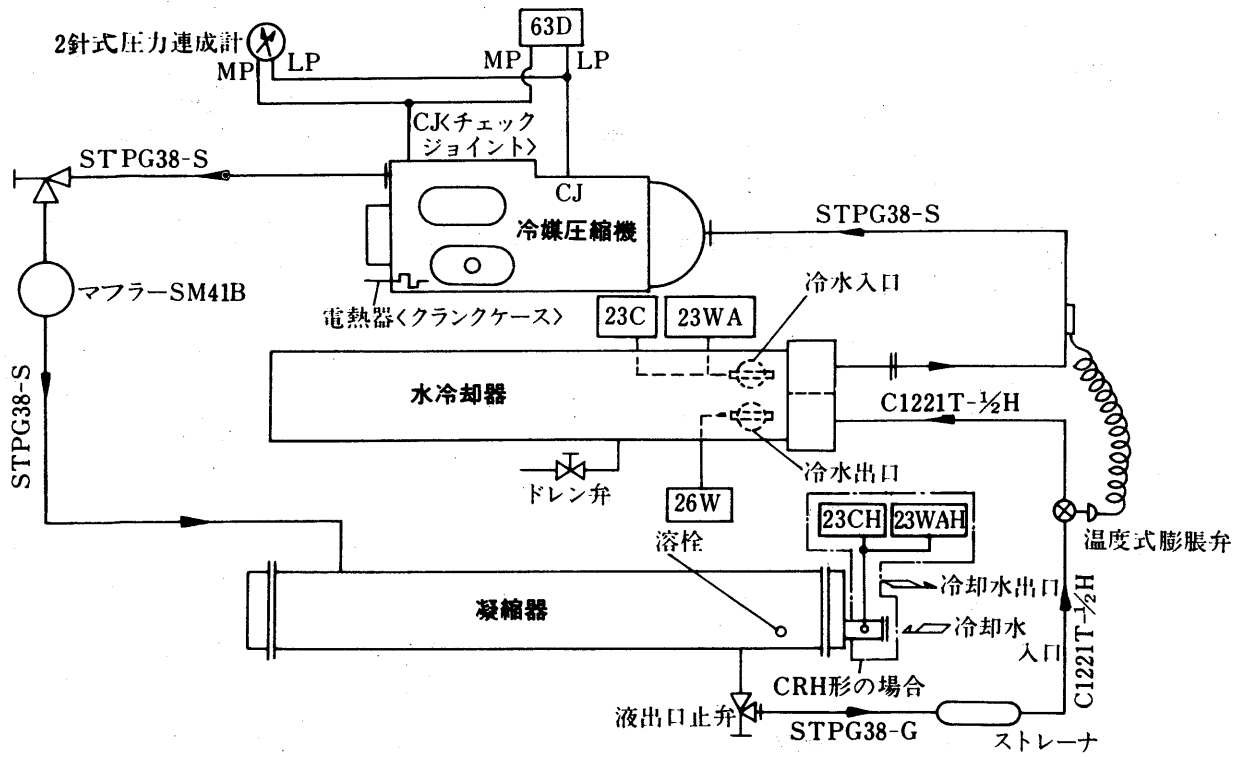


注. CR-15D・K20Dこの冷媒回路を2系統使用

CR-L20G・25G・30G形
CRH-25G・30G形



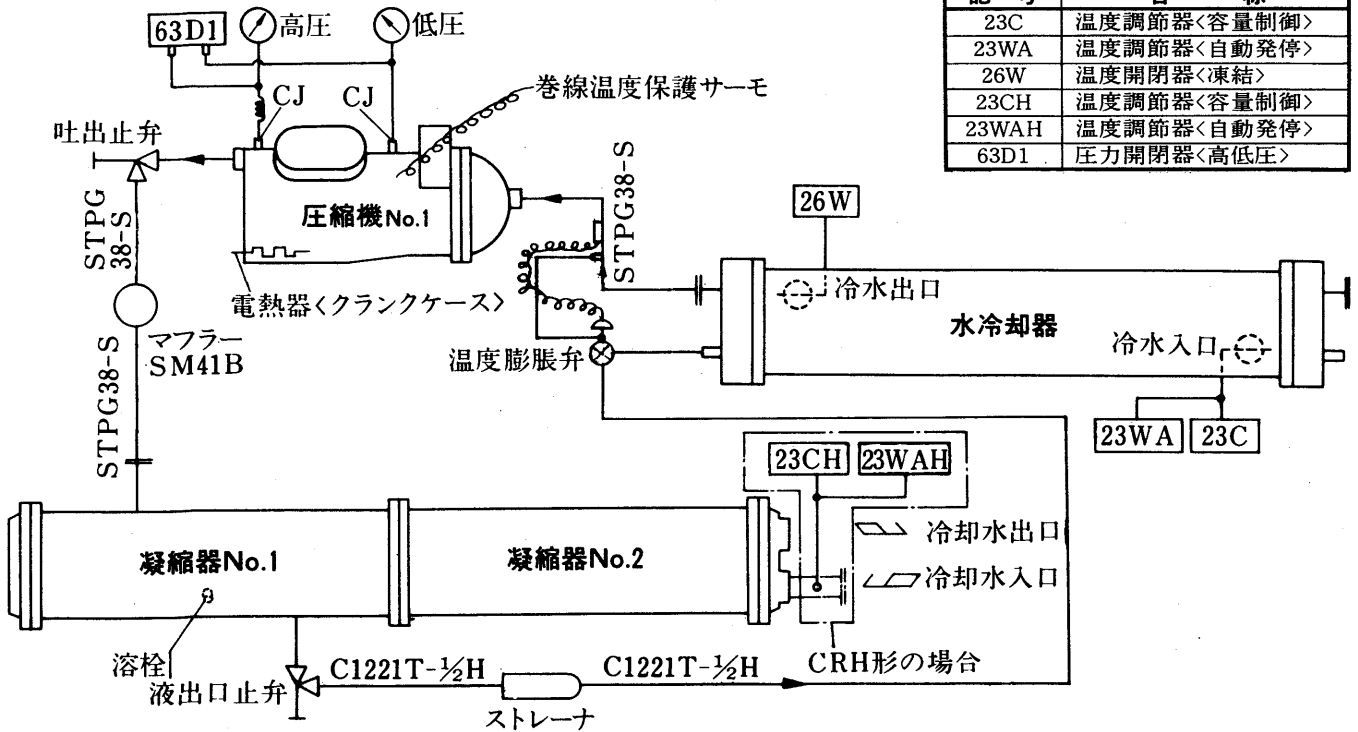
CR-40G形 CRH-40G形



CR-50G形 CRH-50G形

記号説明

記号	名称
23C	温度調節器<容量制御>
23WA	温度調節器<自動発停>
26W	温度開閉器<凍結>
23CH	温度調節器<容量制御>
23WAH	温度調節器<自動発停>
63D1	圧力開閉器<高圧>
	圧力開閉器<低圧>

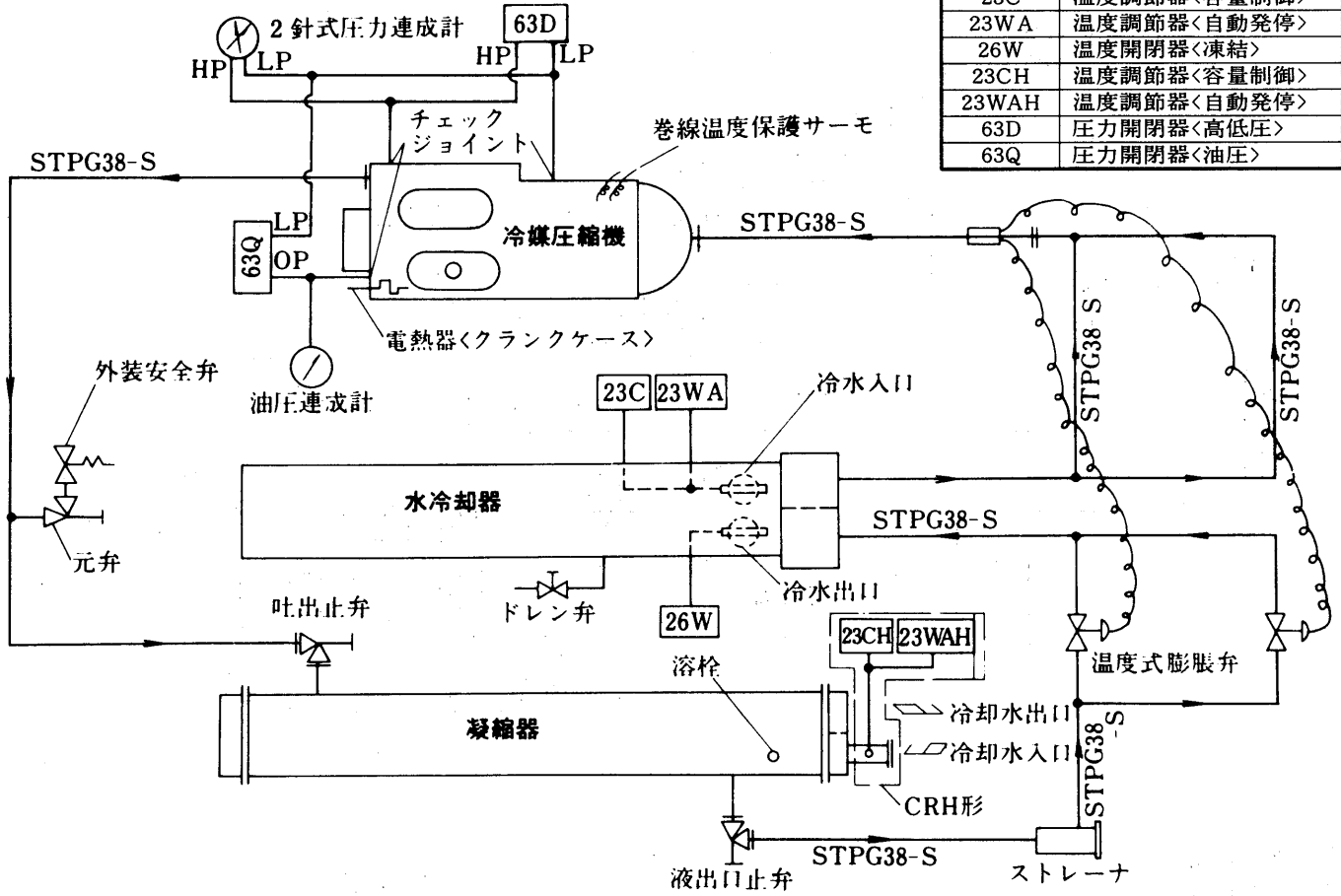


水冷式チリングユニット

CR-100F・120F形
CRH-100F・120F形

記号説明

記号	名称
23C	温度調節器<容量制御>
23WA	温度調節器<自動発停>
26W	温度開閉器<凍結>
23CH	温度調節器<容量制御>
23WAH	温度調節器<自動発停>
63D	圧力開閉器<高低圧>
63Q	圧力開閉器<油圧>



1.2 空冷式チリングユニット

目次

1.2.1 仕様	76
1.2.2 外形寸法図	80
1.2.3 電気系統図	82
1.2.4 能力線図	88
1.2.5 注意事項	96
(a) 据付工事	96
(b) 重心位置	96
(c) 配管工事	96
(d) 電気工事	97
(e) 使用限界	97
1.2.6 騒音	98
1.2.7 電気特性	99
1.2.8 冷媒配管系統図	99

空冷式チリングユニット

1.2.1 仕様

項目		形名	CA-2SC	CA-2C	CA-3E	CA-5E
性能	冷却能力	kcal/h	2,770/3,250		6,300/7,050	10,500/11,700
	冷水量	m ³ /h	0.55/0.65		1.26/1.41	2.10/2.34
	水頭損失	mAq	0.8/1.0		2.05/2.50	1.51/1.95
	消費電力	kW	2.0/2.4	1.9/2.2	3.0/3.5	4.9/5.9
	容量制御	%	-			
電源			単相 200V 50/60Hz	三相 200V 50/60Hz		
塗装色			マンセル2.5Y ⁶ /6.5R ¹ 〈パールグレー〉			
外形寸法	高さ	mm	991		1,425	1,425
	幅	mm	672		780	780
	奥行	mm	466		780	780
	分割寸法	mm	-			
圧縮機	形式×個数		全密閉×1			
	始動方式		直入始動方式			
	回転数	rpm	2,900/3,400			
	称呼出力	kW	1.5		2.2	3.75
	押しのけ量	m ³ /h	7.8/9.2		11.9/14.0	19.4/22.8
1日の冷凍能力	法定トン	0.9/1.1		1.4/1.6	2.3/2.7	
油	種類		スニソ3GS			
	チャージ量	ℓ	1.4		1.4	2.2
冷媒	種類×チャージ量	ℓ	R22×1.55		R22×2.1	R22×2.9
凝縮器	制御方式		キャピラリーチューブ			
	形式		強制空冷プレートフィンチューブ式			
冷却器	形式		チューブインチューブ式			
	配管接続	入口	PT1B<25A>おす		PT1 ¹ / ₄ B<32A>めす	
		出口	PT1B<25A>おす		PT1 ¹ / ₄ B<32A>めす	
送風機	形式		プロペラファン			
	出力×個数	W	15×2		35×1	35×1
	風量	m ³ /min	-		55/60	68/73
制御	冷水制御		温度調節器			
	運転制御		200Vリモートコントロール	100Vリモートコントロール式		
ドレン排水口〈めす〉			φ12.7〈ビニールチューブ接続可能〉		-	
冷水循環ポンプ			組込不可			
保護装置			高圧圧力開閉器,凍結防止温度開閉器,過電流継電器〈CA-2SC・2C形・CA-3E形を除く〉 巻線温度開閉器〈CA-2SC・2C形を除く〉,電動機保護開閉器〈CA-2SC・2C形のみ〉			
騒音	音	ホン〈A〉	54/55		45/47	46/48
付属品			リモコンパネル 1個			
高圧ガス取締法区分			不要			
冷凍保安責任者の選任			不要			
製品重量	重量	kg	140		150	190
運転重量	重量	kg	143		154	195
掲載	外形寸法図	頁	80			
	電気系統図	頁	82	83	84	85
	能力線図	頁	88	89	90	91

注 *1.性能は次の条件による。外気温35℃, 冷水入口12℃, 出口7℃

*2.水回路を共通にしてユニットを複数台使用し, 冷凍能力〈法定トン〉が20トン以上となる場合は許可申請が必要。

*3.この騒音値は吸込面から1m離れて, 1mの高さの位置で測定したAスケールの音です。〈反響音なし〉

新耐震基準〈昭和56年6月1日施行の建築基準法施行令〉に基づく仕様〈機器, 据付方法等〉については, 別途ご相談下さい。

建設省仕様については別途ご相談下さい

24 ~ 19
078-851-5371
小島

空冷式チリングユニット

空冷式
チリング
ユニット

CA-8E	CA-10E	CA-15E	CA-K20E
14,800/16,400	21,600/24,000	29,700/33,000	43,200/48,000
2.96/3.28	4.32/4.80	5.92/6.56	8.64/9.60
1.25/1.51	3.1/3.7	1.25/1.51	3.64/4.30
7.7/8.7	9.9/11.4	15.4/17.4	19.8/22.9
—		100, 50, 0	
三相 200V 50/60Hz			
マンセル2.5Y ₁ /パープルグレー			
1,490	1,795	1,635	1,705
980	980	1,960	1,960
980	980	985	985
全密閉×1		全密閉×2	
直入始動方式		直入順次始動方式	
2,900/3,400			
5.5	7.5	5.5×2	7.5×2
29.8/34.9	37.3/43.7	29.8×2/34.9×2	37.3×2/43.7×2
3.5/4.1	4.4/5.1	3.5×2/4.1×2	4.4×2/5.1×2
スニソ 3GS			
3.0	4.5	3.0×2	4.5×2
R22×4.2	R22×5.9	R22×4.5×2	R22×7.0×2
キャピラリーチューブ			
強制空冷プレートフィンチューブ式			
チューブインチューブ式			
PT1 $\frac{1}{4}$ B<32A>めす		PT2B<50A>めす	
PT1 $\frac{1}{4}$ B<32A>めす		PT2B<50A>めす	
プロペラファン			
70×1	100×1	120×2	200×2
87/97	140/145	197/220	355/370
温度調節器		2ステップ温度調節器	
100Vリモートコントロール式			
組込不可			
高圧圧力開閉器, 凍結防止温度開閉器, 過電流継電器, 巻線温度開閉器			
49/51	51/53	53/55	55/57
リモコンパネル 1 個			
届出 * 2 <運転開始20日前>			
不要			
240	290	475	610
247	300	490	635
81			
85		87	
92	93	94	95

仕
様

空冷式チリングユニット

項目		形名	CA-25D	CA-30D	CA-40E	CA-50E
性能	冷却能力	kcal/h	53,000/61,600	64,300/73,700	92,300/110,000	113,000/133,000
	冷水量	m ³ /h	10.6/12.3	12.9/14.7	18.5/22.0	22.6/26.6
	水頭損失	mAq	0.8/1.0	1.4/1.6	2.1/2.9	2.4/3.2
	消費電力	kW	23.8/30.0	27.8/34.0	36.8/44.7	47.5/57.6
	容量制御	%	100-70-40-0	100-67-33-0	100-75-50-25-0	100-83-50-33-0
電源			三相 200V 50/60Hz			
塗装色			パールグレー<マンセル2.5Y%相当>			
外形寸法	高さ	mm	1,973	2,339	2,180	
	幅	mm	3,350	2,230	2,980	
	奥行	mm	1,058	2,126	1,998	
	分割寸法	mm	分割不可能			
圧縮機	形式×個数		全密閉×3		半密閉×2	
	始動方式		直入順次始動方式		Λ-Δ順次始動方式	
	回転数	rpm	2,900/3,400		1,450/1,750	
	称出出力	kW	5×2+7.5	7.5×3	15×2	18.5×2
	押しのけ量	m ³ /h	29.8×2+37.3/34.9×2+43.7	37.3×3/43.7×3	68.9×2/83.1×2	88.5×2/106.9×2
1日の冷凍能力	法定トン	3.51×2+4.38/4.11×2+5.14	4.38×3/5.14×3	8.1×2/9.8×2	10.4×2/12.6×2	
電熱器<クランクケース>	W	62×2+72	72×3	200×2		
油	種類		スニソ 3GSD<チャージ済>		スニソ 4GS<チャージ済>	
	チャージ量	ℓ	—			
冷媒	種類	ℓ	R22<チャージ済>			
	制御方式		キャピラリチューブ		温度式自動膨脹弁	
凝縮器形式	形式		プレートフィン式			
	形式		シェルアンドチューブ式			
	配管接続	入口	PT2おねじ	PT2½おねじ	PT3おねじ	
	出口	PT2おねじ	PT2½おねじ	PT3おねじ		
送風機	形式		プロペラファン			
	出力×個数	W	0.4×3	0.4×4	1.5×2	
	風量	m ³ /min	417/477	560/640	1,000/1,200	
制御方式	霜取制御		—			
	冷水制御		マイクロコンピュータ			
	運転制御		遠方操作方式<リモコンパネル付属>			
ドレン排水口<めす>		PT1½おねじ		PT2おねじ		
冷水循環ポンプ		内蔵可能		内蔵不可		
保護装置		高低圧圧力開閉器, 過電流継電器, 油圧開閉器<除くCA-25D, 30D>, 巻線保護サーモ, 吐出ガスサーモ, 凍結防止サーモ<マイコン>, 溶栓<水冷却器>				
騒音	ホン<A>	59.5	61.5	64/66		
付属品		防振パッド, L基礎ボルト, リモコンパネル				
高圧ガス取締法区分		届出			許可申請	
冷凍保安責任者の選任		不要				
製品重量	kg	1,360	1,750	2,400	2,500	
運転重量	kg	1,443	1,835	2,480	2,580	
掲載頁	外形寸法図	頁	当社営業所にご照会ください			
	電気系統図	頁	当社営業所にご照会ください			
	能力線図	頁	当社営業所にご照会ください			

注1.性能は外気温度DB=35℃, 冷水入口=12℃, 出口7℃のときを示す。

2.騒音はユニットから1m離れ21.5mの高さの点で測定した値を示す。

3.水回路を共通にしてユニットを複数台使用し, 冷凍能力<法定トン>が20トン以上となる場合は許可が必要。

4.この仕様表は機器の改定のため予告なく変更することがあります。

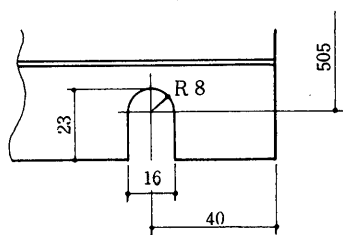
新耐震基準<昭和56年6月1日施行の建築基準法施行令>に基づく仕様<機器, 据付方法等>については, 別途ご相談下さい。

建設省仕様については別途ご相談下さい

CA-60E	CA-80E	CA-100E	CA-120E
137,000/162,000	174,000/205,000	227,000/271,000	257,000/306,000
27.4//32.4	34.8/41.0	45.4/54.2	51.4/61.2
2.6/3.5	3.2/4.4	4.1/5.6	3.9/5.3
53.8/65.2	73.6/89.1	93.5/113	111/134
100-83-50-33-0	100-75-50-25-0	100-67-33-0	
三相 200V 50/60Hz			
パールグレー<マンセル2.5Y%相当>			
2,180		2,250	
3,600		5,390	
1,998		1,998	
分割不可能		分割搬入	
半密閉×2		半密閉×3	
人-△順次始動方式			
1,450/1,750			
22×2	30×2	25×3	30×3
103.3×2/124.7×2	137.8×2/166.3×2	118×3/142.4×3	137.8×3/160.3×3
12.2×2/14.7×2	16.2×2/19.6×2	13.9×3/16.8×3	16.2×3/19.6×3
200×2		200×3	
スニソ 4GS<チャージ済>			
—			
R22<チャージ済>			
温度式自動膨脹弁			
プレートフィン式			
シェルアンドチューブ式			
PT4おねじ			
PT4おねじ			
プロペラファン			
2.2×2		2.2×3	
1,230/1,530		1,845/2,295	
—			
マイクロコンピュータ			
遠方操作方式<リモコンパネル付属>			
PT2おねじ			
内蔵不可			
高低圧圧力開閉器, 過電流継電器, 油圧開閉器,			
巻線保護サーモ, 吐出ガスサーモ, 凍結防止サーモ<マイコン>, 溶栓<水冷却器>			
65/67	66/68	67/69	
防振パッド, L基礎ボルト, リモコンパネル			
許可申請			
不要			
2,700	2,800	4,200	4,380
2,800	2,910	4,400	4,600
当社営業所にご照会ください			
当社営業所にご照会ください			
当社営業所にご照会ください			

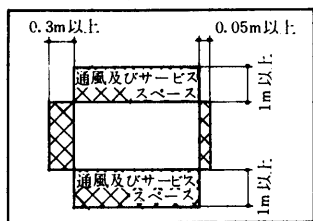
1.2.2 外形寸法図

CA-2SC・2C形

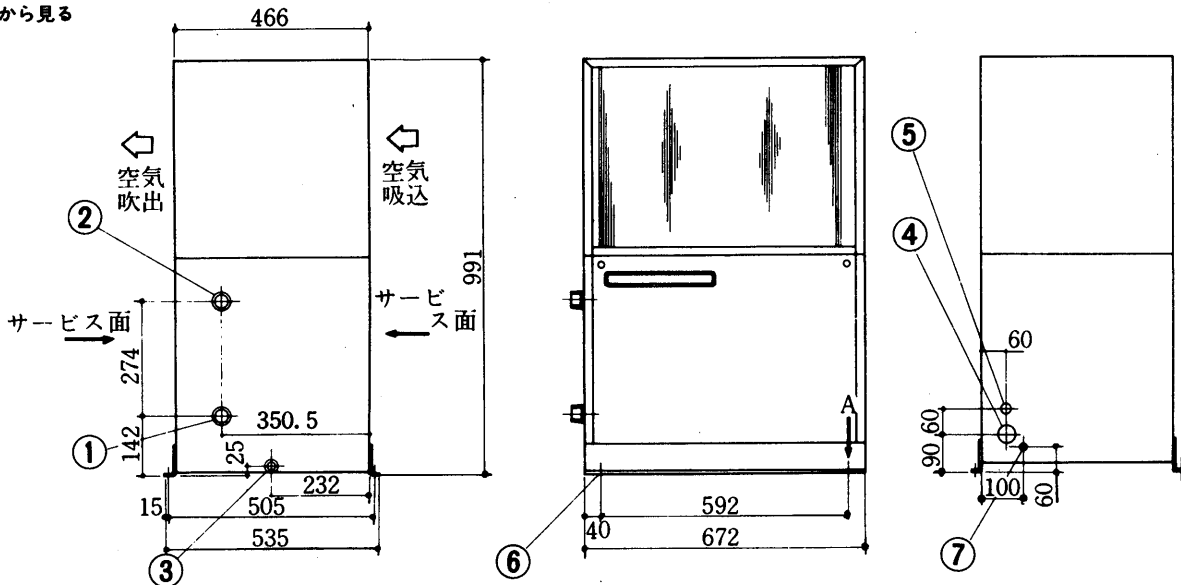


Aから見る

据付時下記スペースを確保してください。

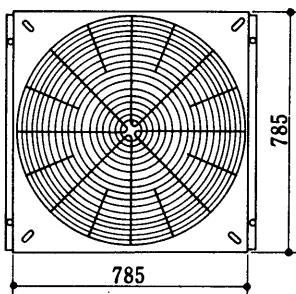
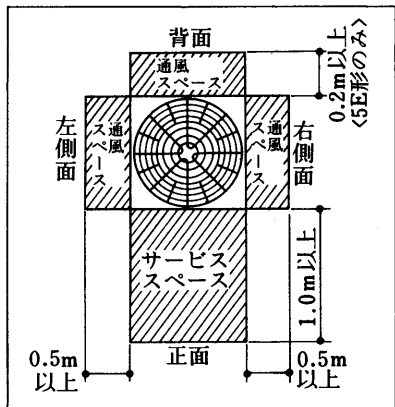


- 冷水入口<おす> PT1B…………①
- 冷水出口<おす> PT1B…………②
- ドレン出口<めす> PT $\frac{3}{4}$ B…………③
- 電源穴 $\phi 39$ <ぬき穴>…④
- 電源穴 $\phi 26$ <ぬき穴>…⑤
- 基礎ボルト穴 2×2-切欠…………⑥
- アース端子 5ねじ…………⑦



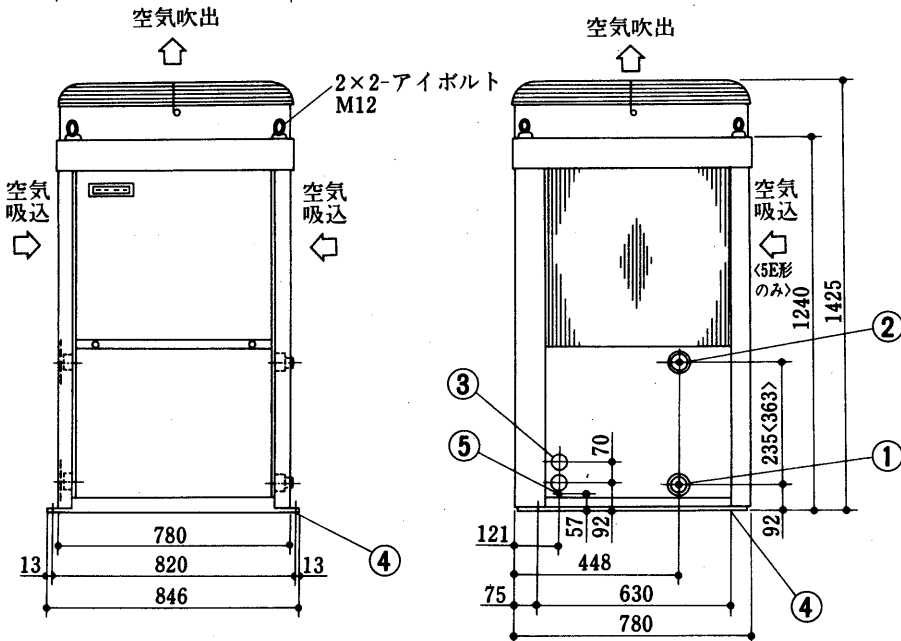
CA-3E形
CA-5E形

据付時下記スペースを確保してください。
<比例尺ではありません>



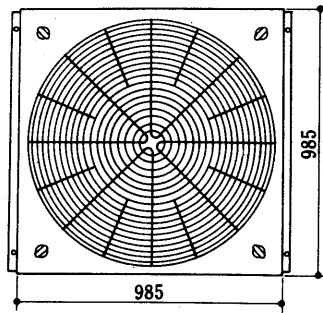
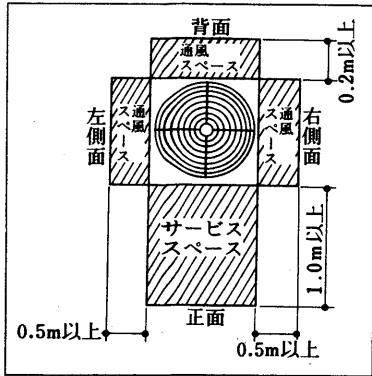
- 冷水入口<めす>左右 PT1 $\frac{1}{4}$ B ……①
- 冷水出口<めす>左右 PT1 $\frac{1}{4}$ B ……②
- 電源穴<左右> 2- $\phi 39$ ……③
- 基礎ボルト穴 2×2- $\phi 16$ …④
- アース端子<左右> 5ねじ ……⑤

<>内は5E形です。



CA-8E形
CA-10E形

据付時下記スペースを確保してください。
<比例尺ではありません>

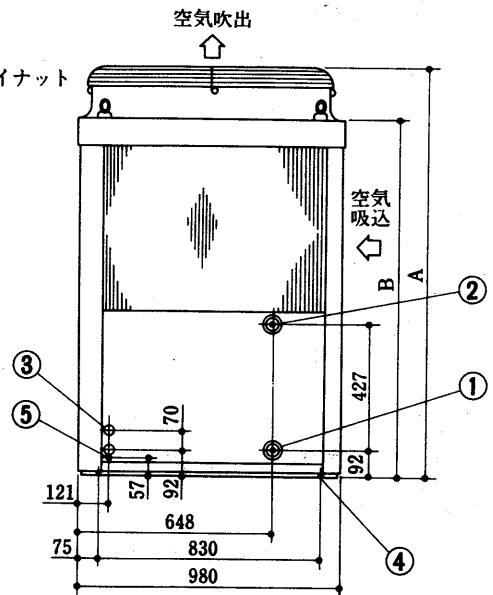
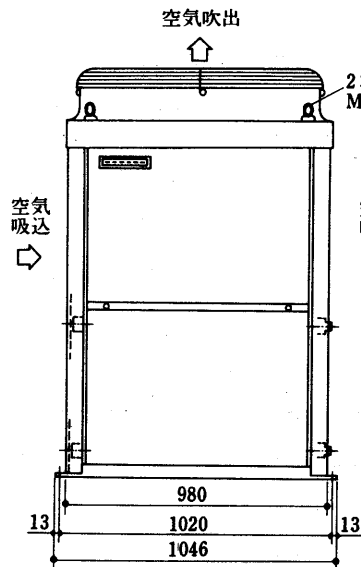


- 冷水入口<めす>左右 PT1¼B ……①
- 冷水出口<めす>左右 PT1¼B ……②
- 電源穴<左右> 2-φ39 ……③
- 基礎ボルト穴 2×2-φ16…④
- アース端子<左右> 5ねじ ……⑤

空冷式
チリンググU

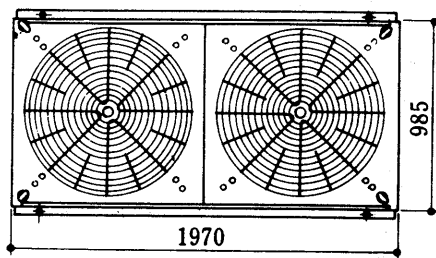
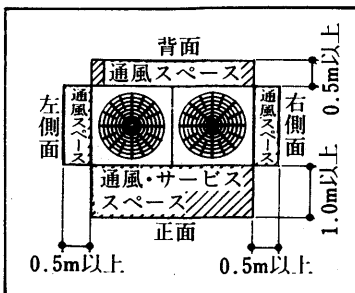
変化寸法表

形名	A	B
CA-8E	1490	1305
CA-10E	1795	1610



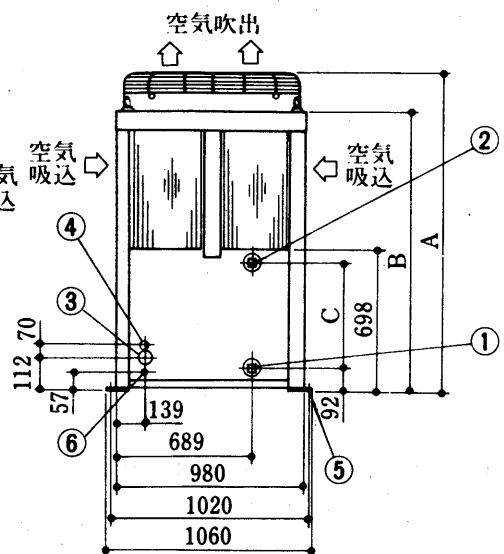
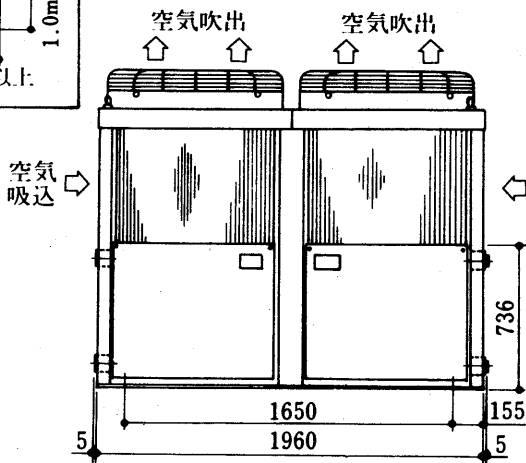
CA-15E形
CA-K20E形

注. 据付は下記スペースを確保してください。



- 冷水入口<めす>左右 PT2B ……①
- 冷水出口<めす>左右 PT2B ……②
- 電源穴<左右> φ62 ……③
- 配線用穴<左右> φ39 ……④
- 基礎ボルト穴 2×2-φ25…⑤
- アース端子<左右> M6ねじ…⑥

外形

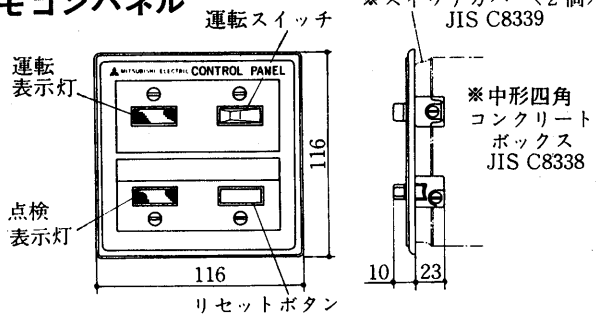


変化寸法表

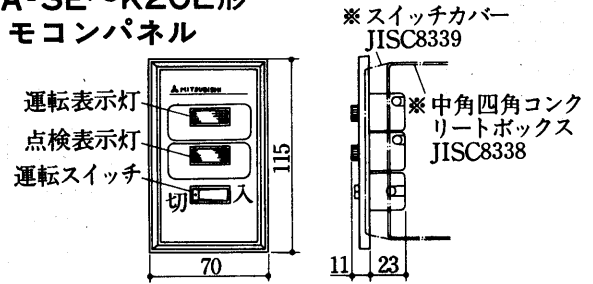
形名	A	B	C
CA-15E	1635	1420	462
CA-K20E	1705	1470	558

基礎寸法図・CA-2S

CA-2SC・2C形用 リモコンパネル



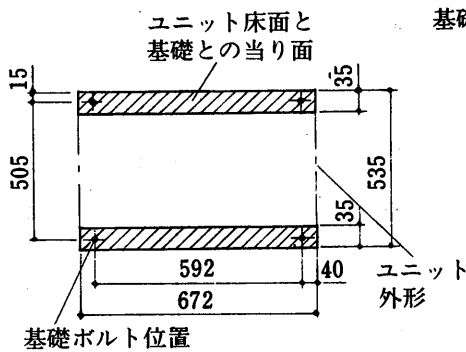
CA-3E~K20E形 リモコンパネル



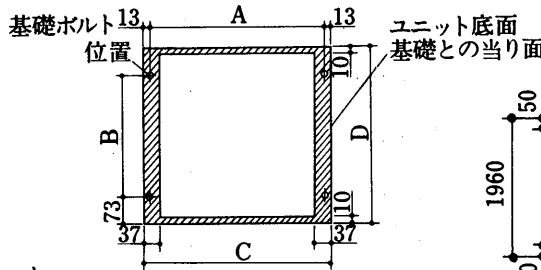
注 ※印のスイッチカバーおよびコンクリートボックスはユニットに付属していません。

基礎寸法図

CA-2SC・2C形



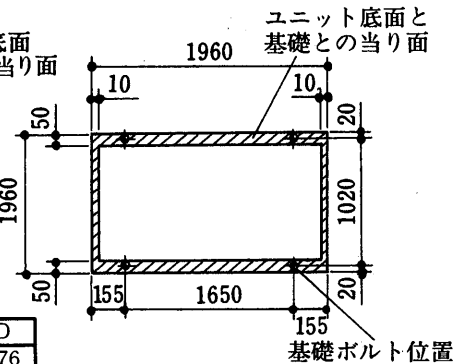
CA-3E~10E形



変化寸法表

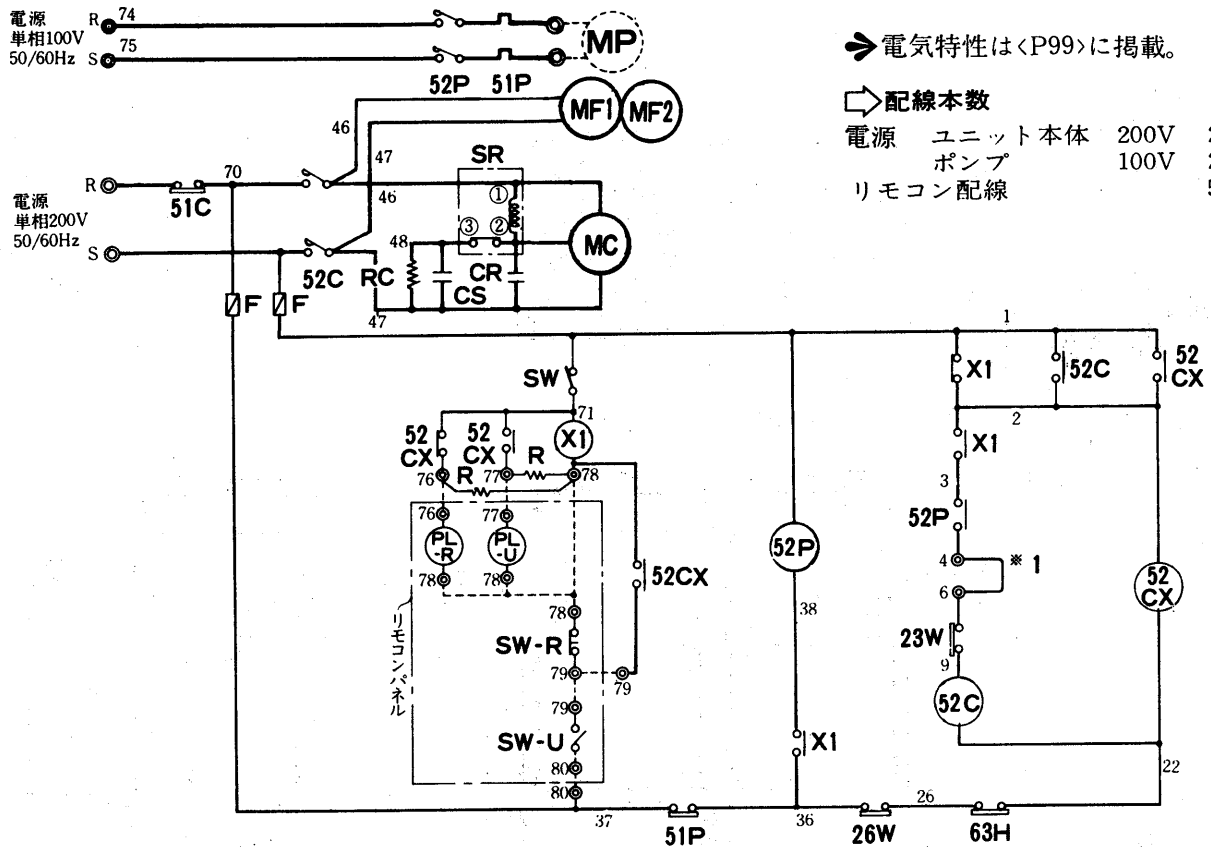
形名	A	B	C	D
CA-3E・5E	820	630	846	776
CA-8E・10E	1020	830	1046	976

CA-15E・K20E形



1. 2. 3 電気系統図

CA-2SC形



➡電気特性は<P99>に掲載。

◻配線本数

電源	ユニット本体	200V	2本
	ポンプ	100V	2本
	リモコン配線		5本

注 冷水循環ポンプ用熱動過電流継電器<51P>は定格4.6Aのものを工場出荷時組込み済みであり、適用ポンプ容量は単相100V 150Wです。

これ以外のポンプ容量のものを使用する場合は、現地にてポンプ容量に合った定格の熱動過電流継電器<51P>と取り替えてください。

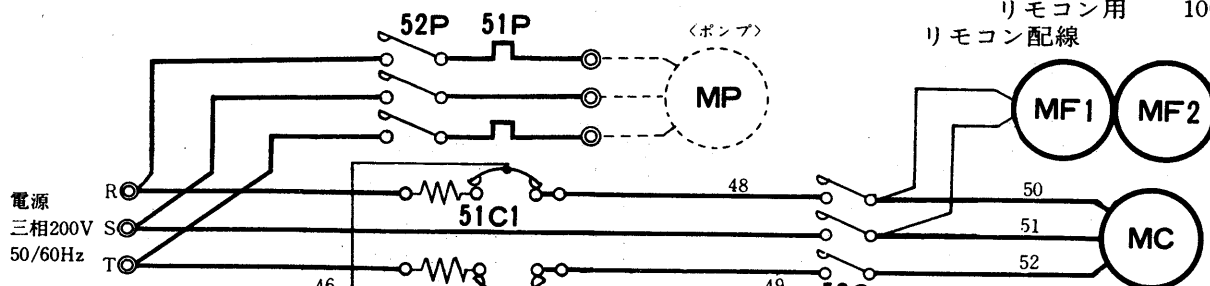
取り替え可能熱動過電流継電器は、電磁接触器<52P>と一組となった三菱電機製MSO-A10AR形電磁開閉器三相 200V、補助接点 1a付です。

CA-2C形

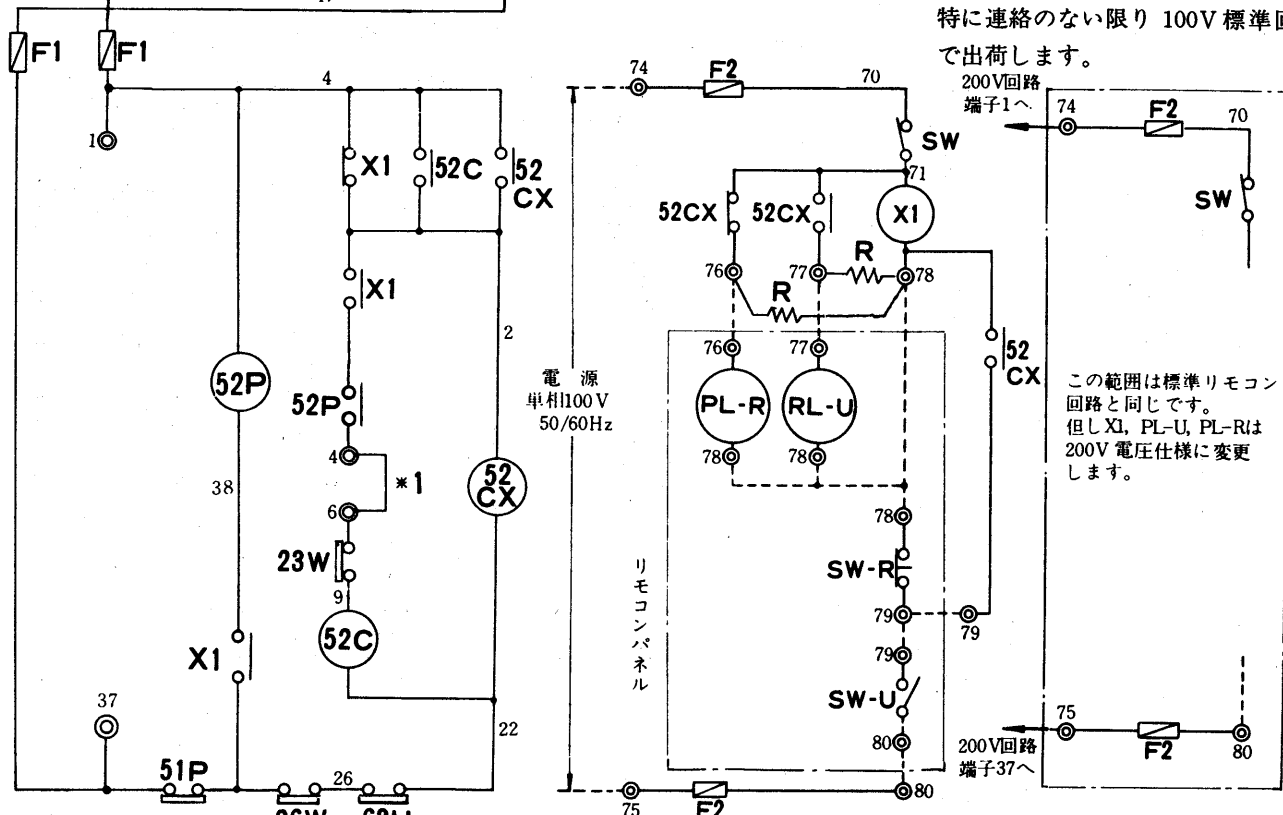
➔電気特性は<P99>に掲載。

⇨配線本数

電源	ユニット本体	200V	3本
	リモコン用	100V	2本
	リモコン配線		5本



注1 200Vリモコン回路は受注仕様です。特に連絡のない限り 100V 標準回路で出荷します。



リモコン回路 <100V標準> <200V受注仕様>

注 冷水循環ポンプ用熱動過電流継電器<51P>は、定格0.9Aのものを工場出荷時組込み済みであり、適用ポンプ容量は三相200V 150Wです。これ以外のポンプ容量のものを使用する場合は、現地にてポンプ容量に合った定格の熱動過電流継電器<51P>と取り替えてください。

取り替え可能熱動過電流継電器は、電磁接触器<52P>と一組となった三菱電機製MSO-A10AR形電磁開閉器三相200V、補助接点1a付です。

CA-2SC・2C形記号説明

記号	名称	記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	23W	温度調節器<冷水制御>	SW-U	スイッチ<運転>
MF1・2	送風機用電動機	SR	始動継電器	PL-R	表示灯<リセット>
52C	電磁接触器<圧縮機>	52CX	補助継電器	PL-U	表示灯<運転>
51C,51C1・2	熱動過電流継電器<圧縮機>	X1	補助継電器	RC	抵抗器<コンデンサ放電>
52P	電磁接触器<ポンプ>	CR	コンデンサ<運転>	R	抵抗器<表示灯>
51P	熱動過電流継電器<ポンプ>	CS	コンデンサ<始動>	F,F1・2	ヒューズ
63H	圧力開閉器<高圧>	SW	スイッチ<サービス>	<MP>	ポンプ電動機
26W	温度開閉器<凍結防止>	SW-R	スイッチ<リセット>		

注1 ◎印端子は現地接続用端子を示します。

2 ---破線部分は現地工事区分を示します。

3 ---破線部分で示す機器は客先手配部品であり、ユニットには付属しません。

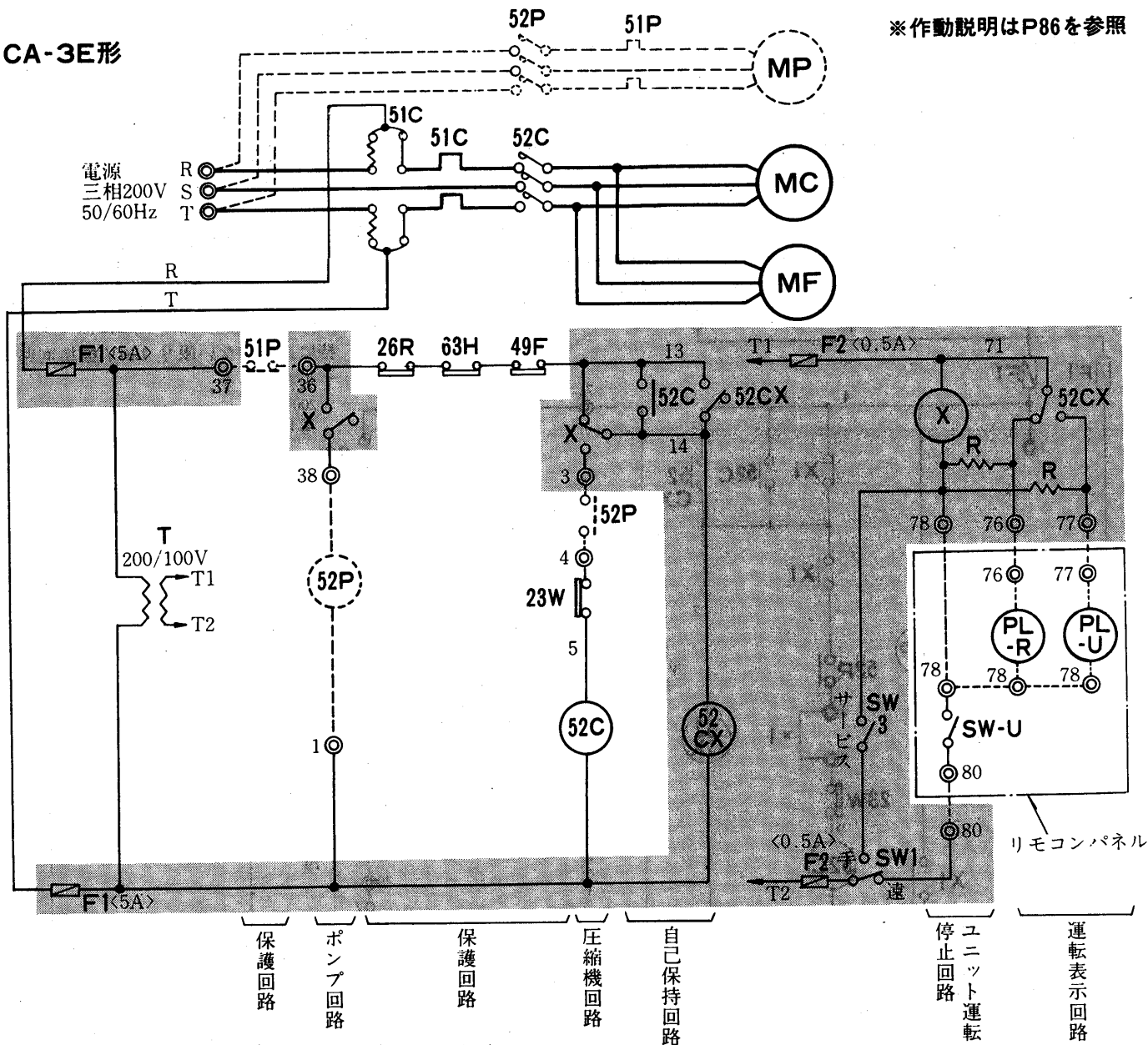
4 蓄熱槽付システム等で外部サーモを使用する場合は*1印の短絡線を取り外し、この間に外部サーモを接続してください。

空冷式
チリング
グ
U

電
気

※作動説明はP86を参照

CA-3E形



記号説明

記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	SW-1	スイッチ<遠方・手元切換>
MF	送風機用電動機	SW-3	スイッチ<サービス>
52C	電磁接触器<圧縮機>	SW-U	スイッチ<運転>
51C	過電流継電器<圧縮機>	PL-R	表示灯<点検>
49F	温度開閉器<送風機>	PL-U	表示灯<運転>
26R	温度開閉器<凍結防止>	52CX	補助継電器<AC200V>
63H	高圧圧力開閉器	X	補助継電器<AC100V>
23W	温度調節器<冷水制御>	T	トランス<200/100V>
F1・2	ヒューズ	R	抵抗器<表示灯>

現地手配部品

記号	名称
52P	電磁接触器<ポンプ>
51P	熱動過電流継電器<ポンプ>
MP	ポンプ用電動機

➡電気特性は<P99>に掲載。

配線本数

電源 ユニット本体 200V 3本
リモコン配線 4本

注1 ◎印端子は現地接続用端子を示します。

2 ---破線部分は現地工事区分を示します。

3 ---破線部分で示す機器は客先手配部品であり、ユニットには付属しません。

4 52P, 51Pはユニット本体の制御盤内に現地にて組込可能です。

5 現地工事の際端子台①～③間に52Pのコイルを接続し端子台③～④, ③⑥～③⑦間に52P, 51Pの接点を接続してください。

6 ポンプインターロックを設けない場合は必ずフロースイッチを設けてください。

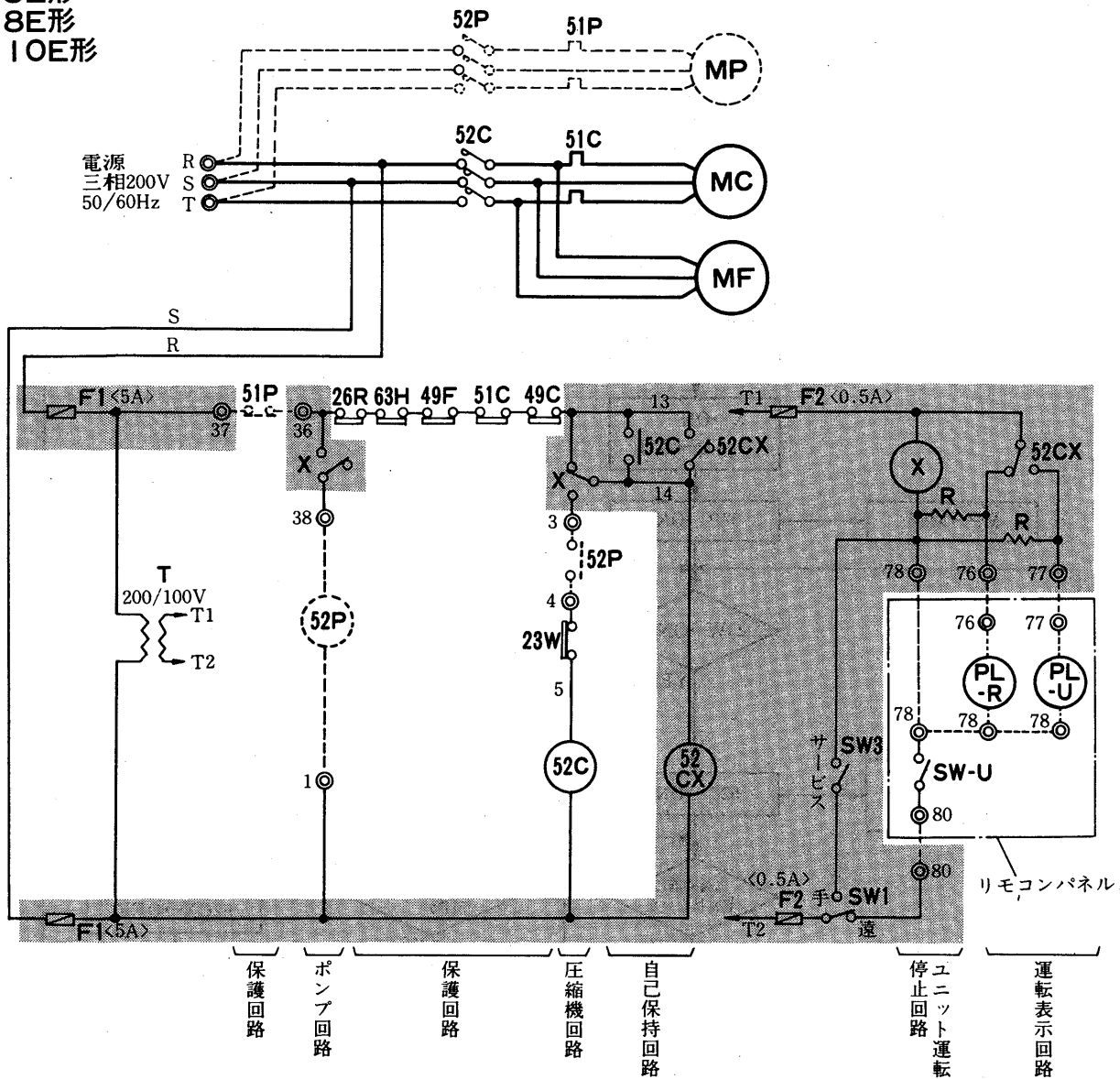
7 フロースイッチを設ける場合は別途、連絡してください。

8 グレー部分はプリント基板内の配線を示します。

※作動説明はP86を参照

CA-5E形
CA-8E形
CA-10E形

空冷式
チリンググU



記号説明

記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	SW1	スイッチ<遠方・手元切換>
MF	送風機用電動機	SW3	スイッチ<サービス>
52C	電磁接触器<圧縮機>	SW-U	スイッチ<運転>
51C	過電流継電器<圧縮機>	PL-R	表示灯<点検>
49C	温度開閉器<圧縮機>	PL-U	表示灯<運転>
49F	温度開閉器<送風機>	52CX	補助継電器<AC200V>
26R	温度開閉器<凍結防止>	X	補助継電器<AC100V>
63H	圧力開閉器<高压>	T	トランス<200/100V>
23W	温度調節器<冷水制御>	R	抵抗器<表示灯>
F1・2	ヒューズ		

客先手配部品

記号	名称
MP	ポンプ用電動機
51P	熱動過電流継電器<ポンプ>
52P	電磁接触器<ポンプ>

➤ 電気特性は<P99>に掲載。

◁ 配線本数

電源 ユニット本体 200V 3本
リモコン配線 4本

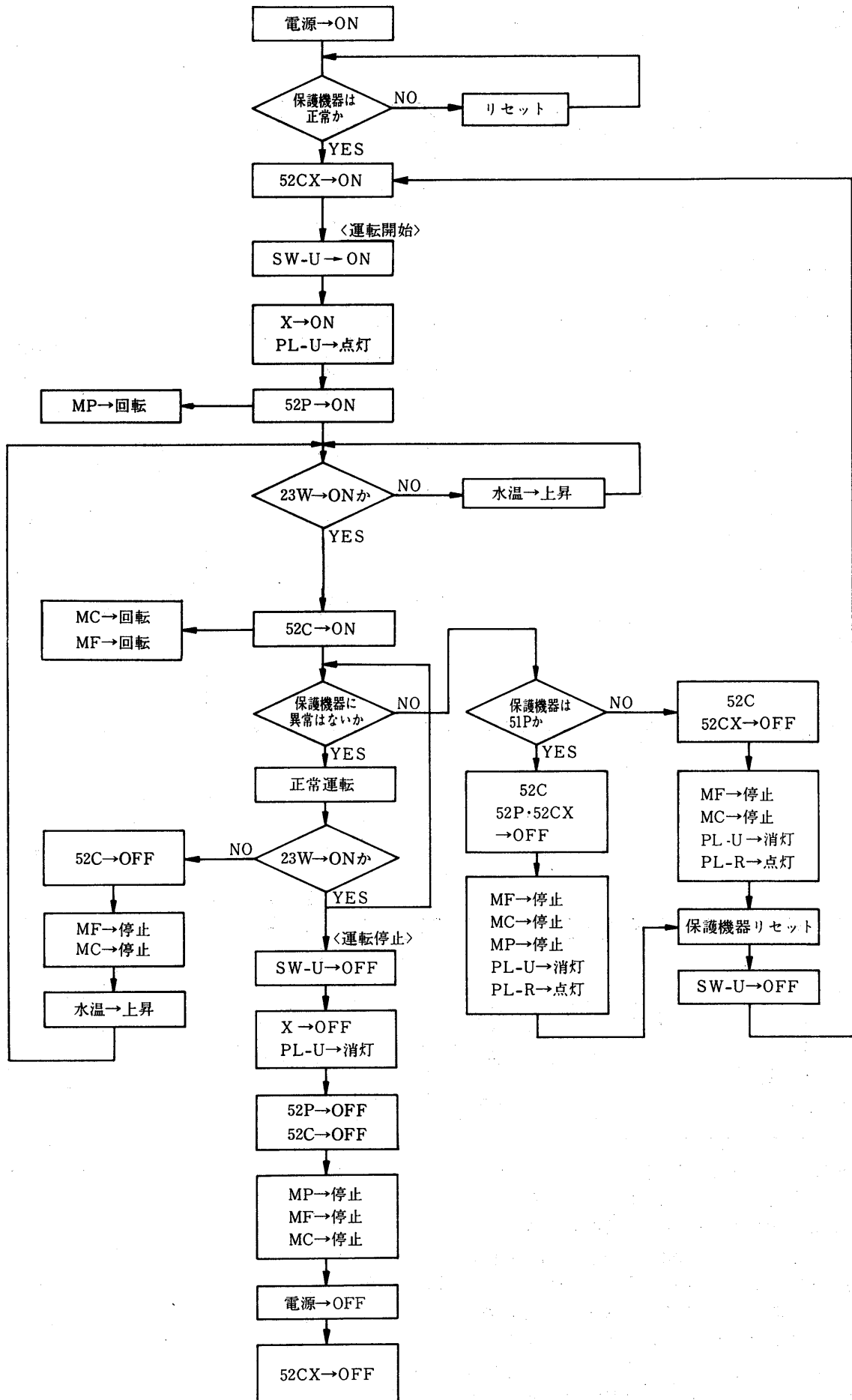
注1 ◎印端子は現地接続用端子を示します。

- 破線部分は現地工事区分を示します。
- 破線部分で示す機器は客先手配部品であり、ユニットには付属しません。
- 52P, 51Pはユニット本体の制御盤内に現地にて組込可能です。
- 現地工事の際端子台①~③間に52Pのコイルを接続し、端子台③~④, ③⑥~③⑦間にポンプインターロック、即ち52P, 51Pの接続をしてください。
- ポンプインターロックを設けない場合は必ずフローズイッチを設けてください。
<フローズイッチを設ける場合は別途、連絡してください>
- グレー部分はプリント基板内の配線を示します。

電
気

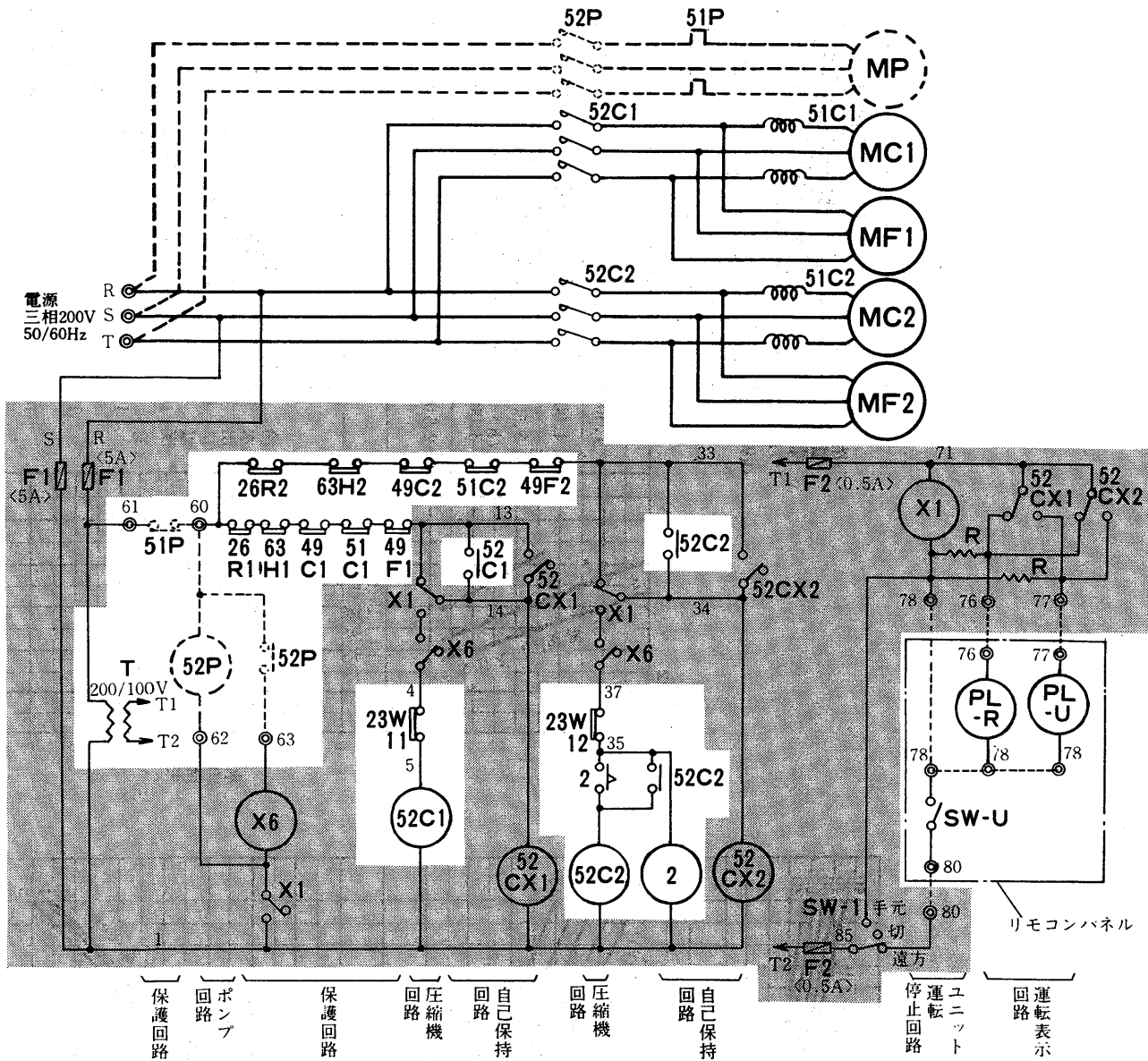
作動説明

フローチャート〈CA-5E~10E形〉



CA-15E形
CA-K20E形

空冷式
チリソクU



記号説明

記号	名称	記号	名称
MC1・2	圧縮機用電動機	26R1・2	温度閉閉器<凍結防止>
MF1・2	送風機用電動機	49F1・2	温度閉閉器<送風機>
52C1・2	電磁接触器<圧縮機>	63H1・2	圧力閉閉器<高压側>
51C1・2	過電流継電器<圧縮機>	F1・2	ヒューズ
52CX1・2	補助継電器	R	抵抗器<表示灯>
X6	補助継電器	PL-U	表示灯
X1	補助継電器	PL-R	表示灯
2	遅延リレー	SW-U	スイッチ<運転>
49C1・2	温度閉閉器<圧縮機>	SW-1	スイッチ<遠方/切/手元>
23W11	温度調節器<冷水…低温側>	T	トランス<200V/100V>
23W12	温度調節器<冷水…高温側>		

客先手配部品

記号	名称
MP	ポンプ用電動機
51P	熱動過電流継電器<ポンプ>
52P	電磁接触器<ポンプ>

➔ 電気特性は<P99>に掲載。

配線本数

電源 ユニット本体 200V 3本
リモコン配線 4本

注1 ◎印端子は現地接続用端子を示します。

2 ---破線部分は現地工事区分を示します。

3 ---破線部分で示す機器は客先手配部品であり、ユニットには付属しません。

4 51Pの客先手配部品はユニット本体の制御盤に現地にて組込可能です。

5 現地工事の際端子台①～②間に52Pのコイルを接続し、端子台③～④、⑧～⑨間に52P、51Pの接点を接続してください。

6 ポンプインターロックを設けない場合は必ずフロースイッチを設けてください。

7 フロースイッチを設ける場合は別途、連絡してください。

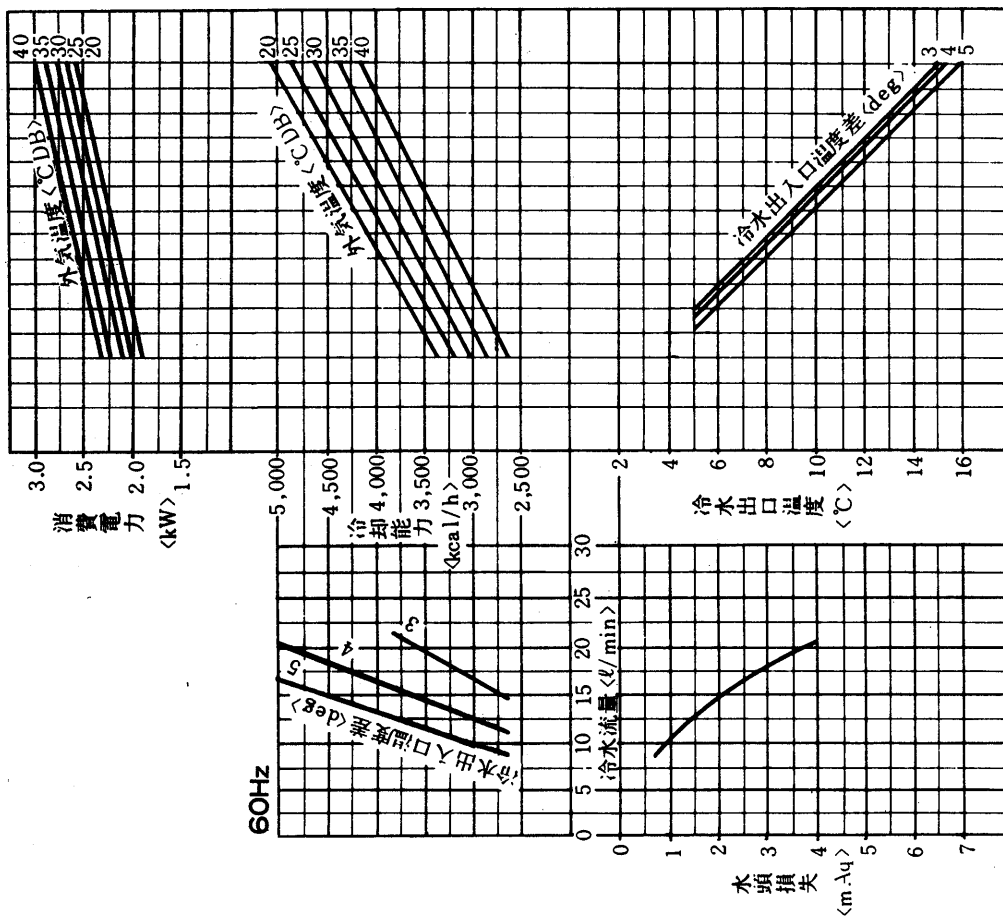
8 グレー部分はプリント基板内の配線を示します。

電
気

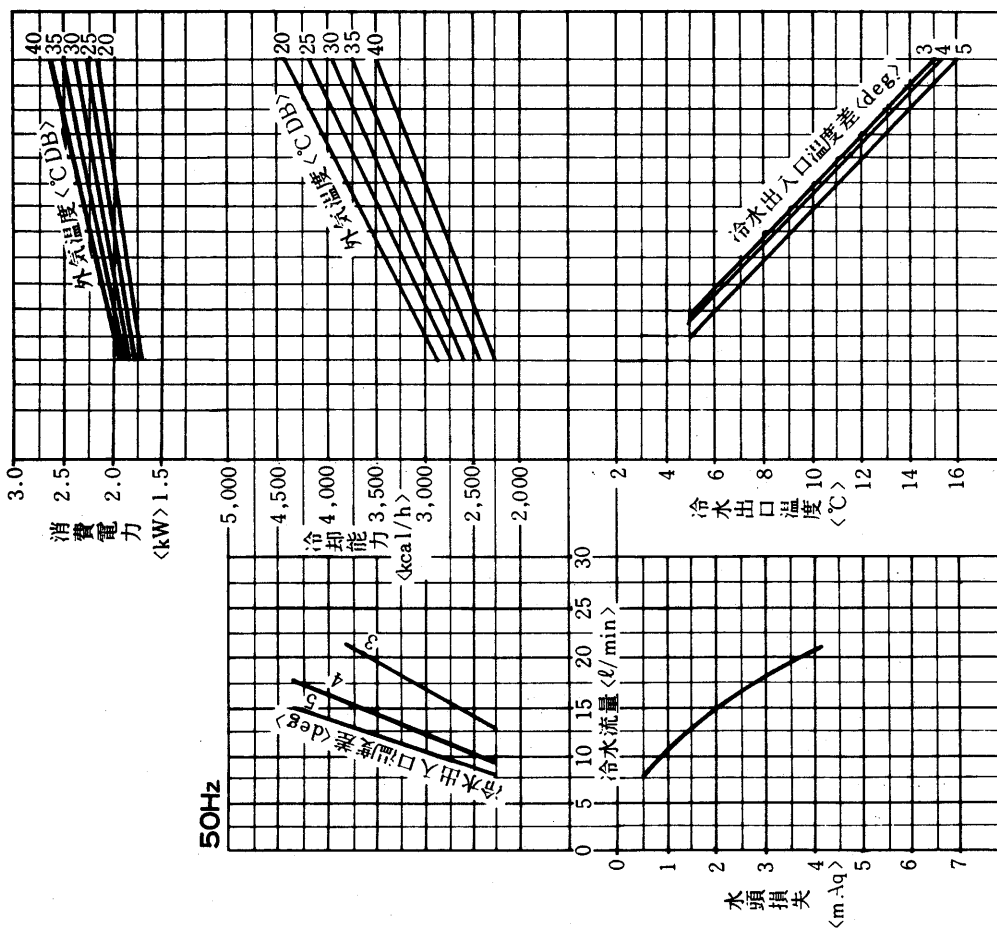
グラフ内が弊社保証値です

1.2.4 能力線図

CA-2SC形<60Hz>



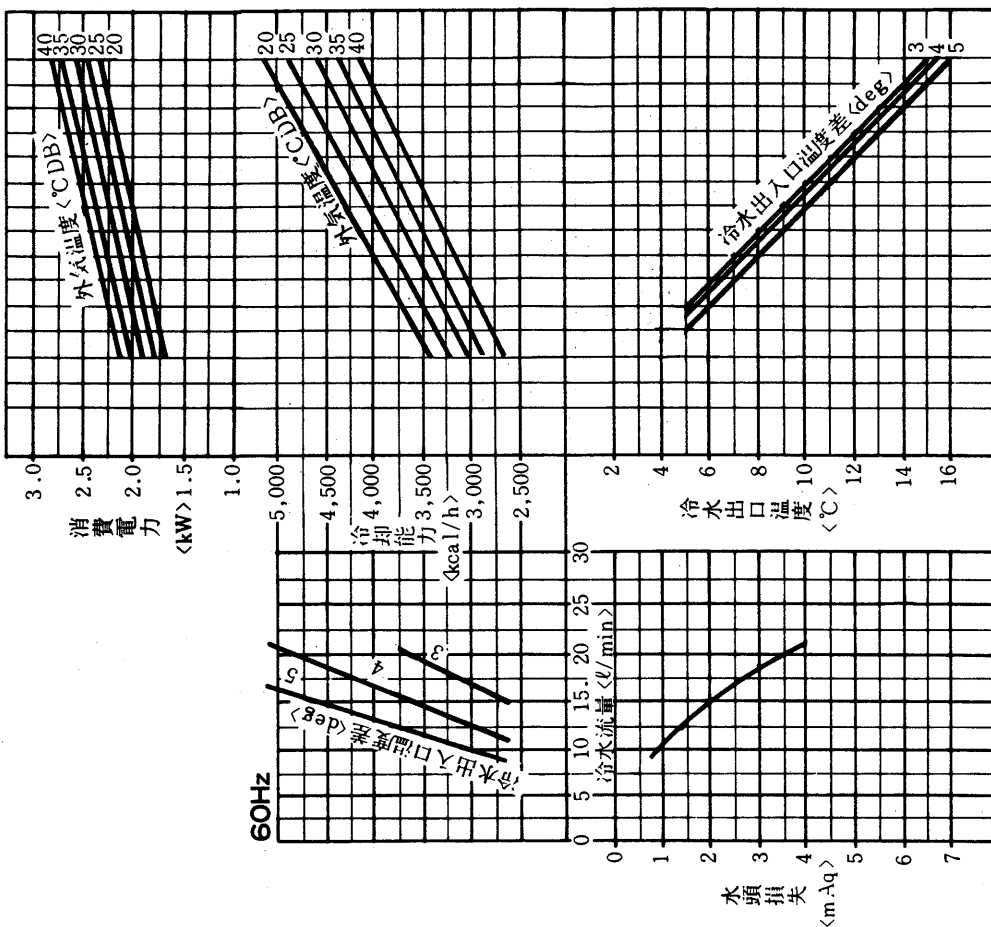
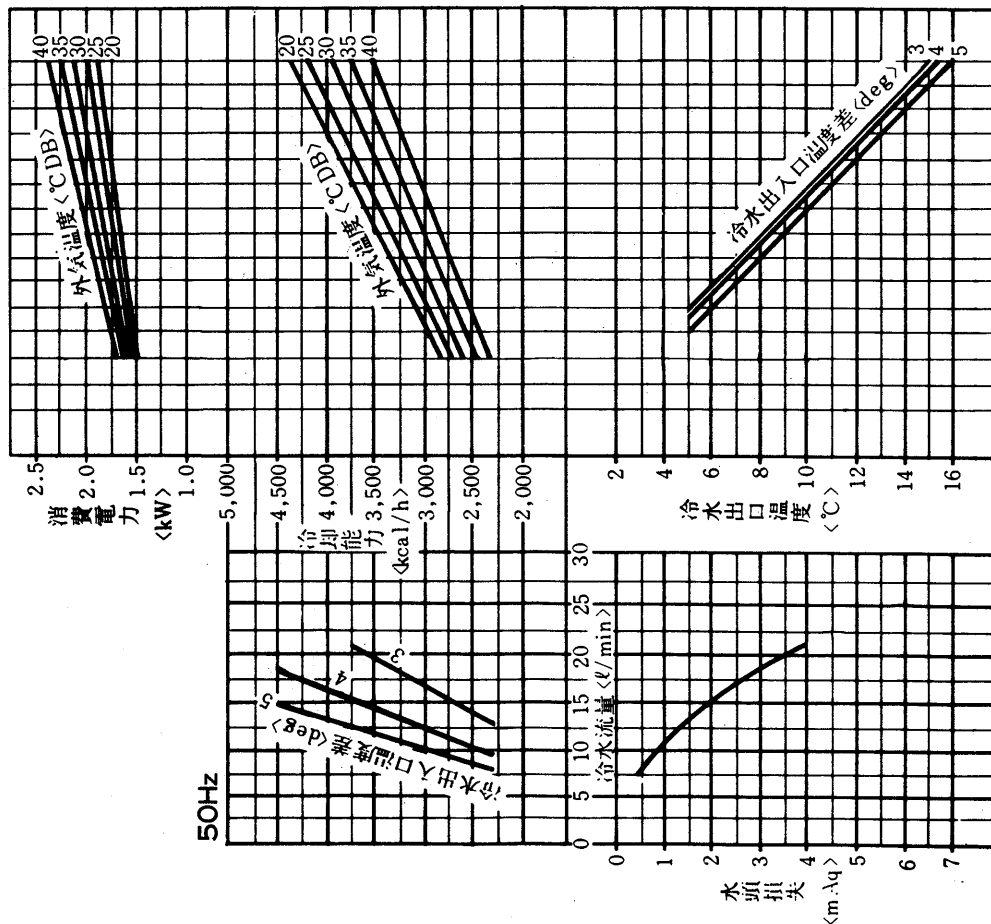
CA-2SC形<50Hz>



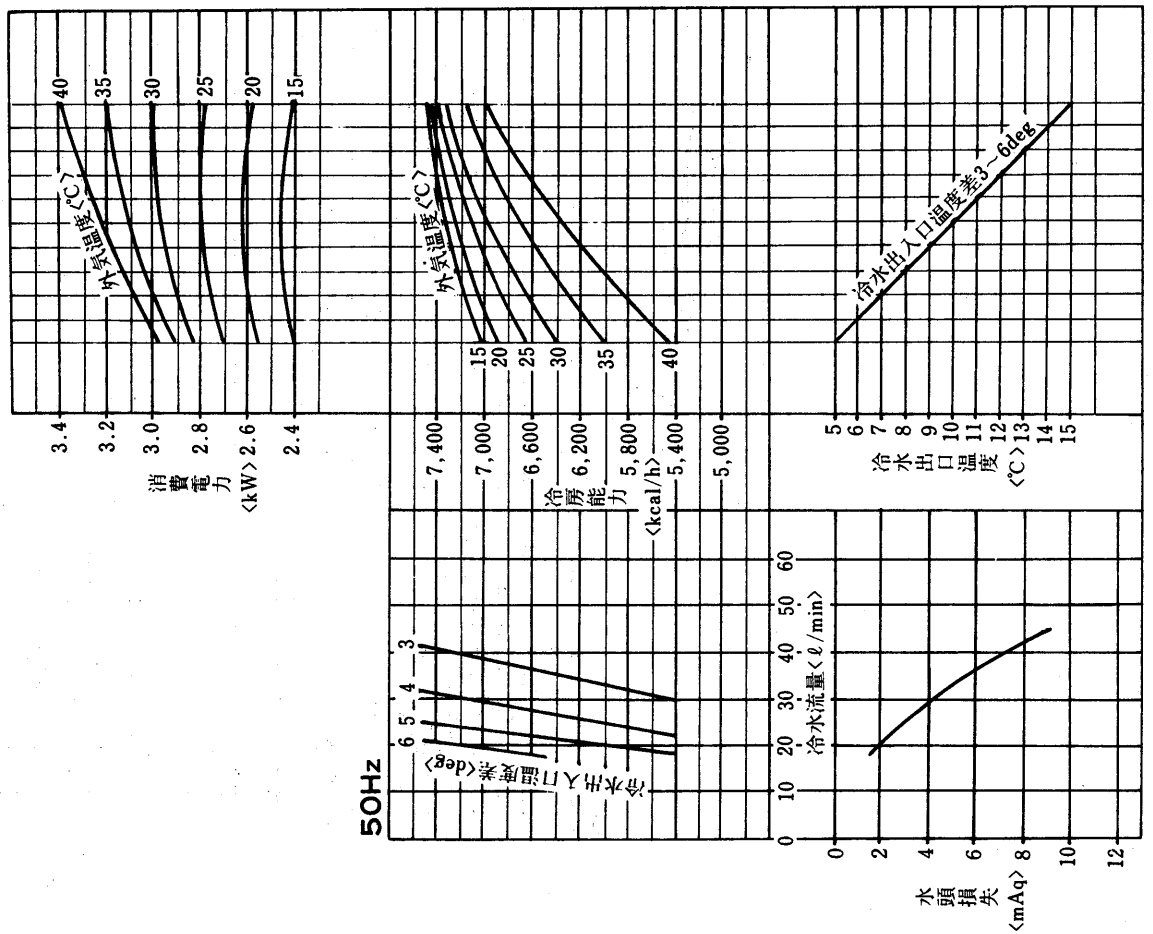
グラフ内が弊社保証値です

空冷式
チリソク

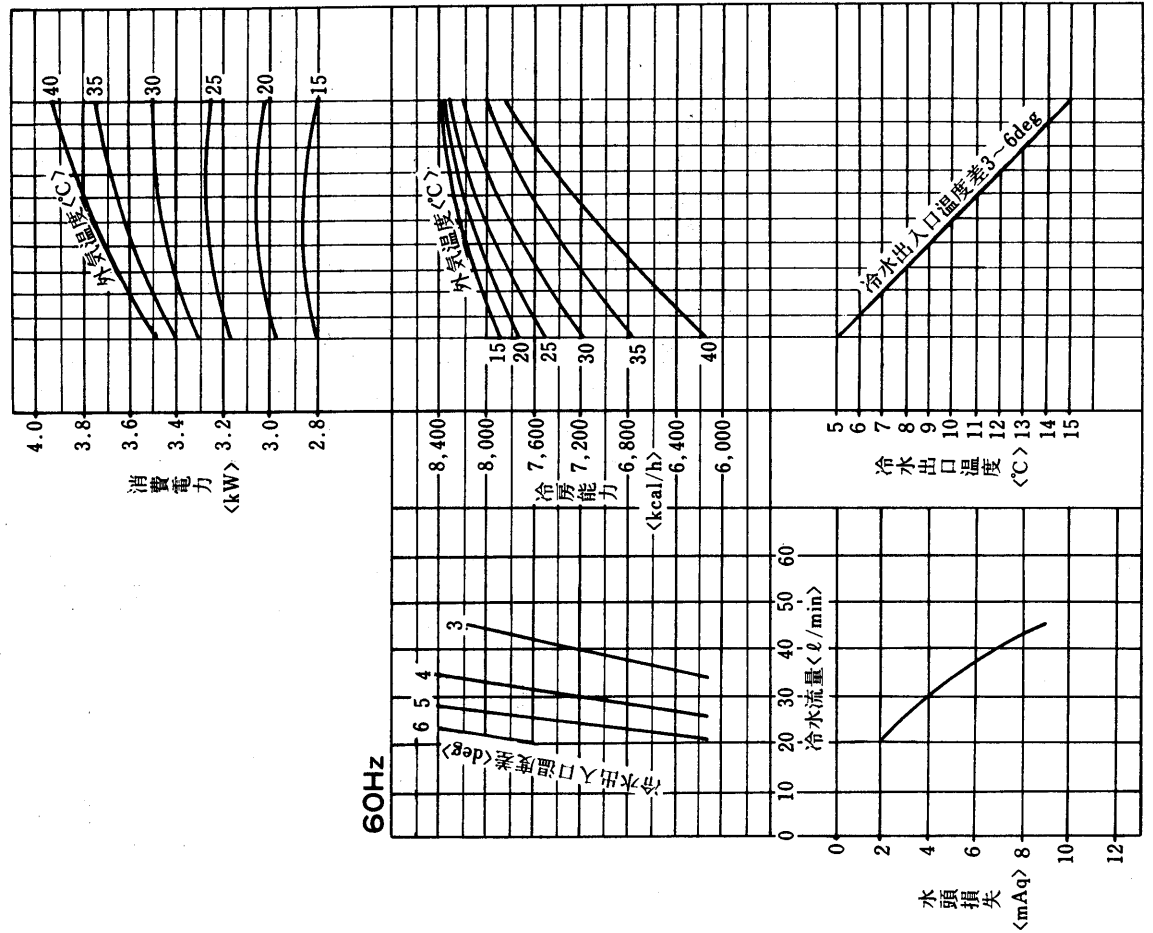
能力



CA-3E形 <50Hz>



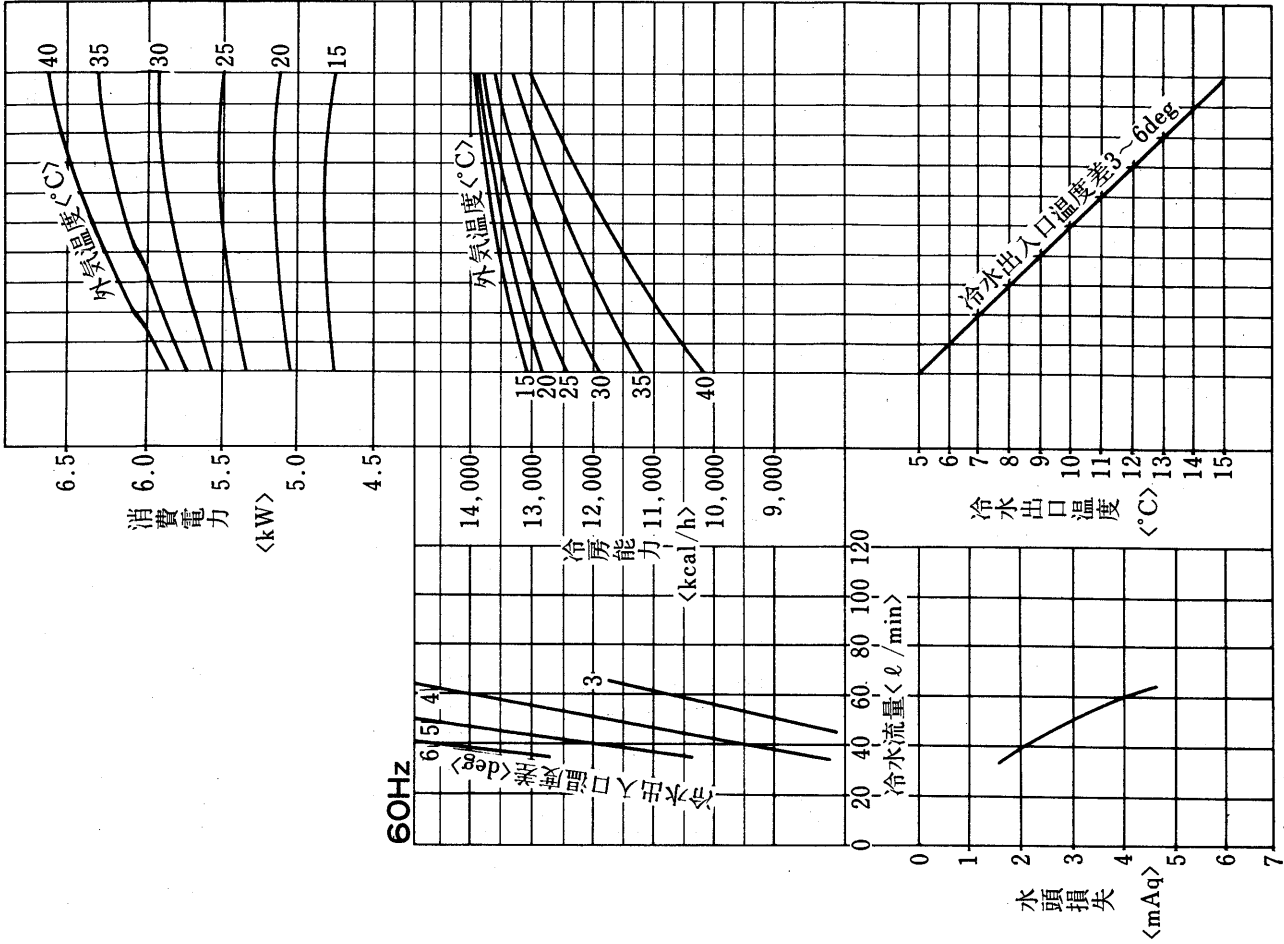
CA-3E形 <60Hz>



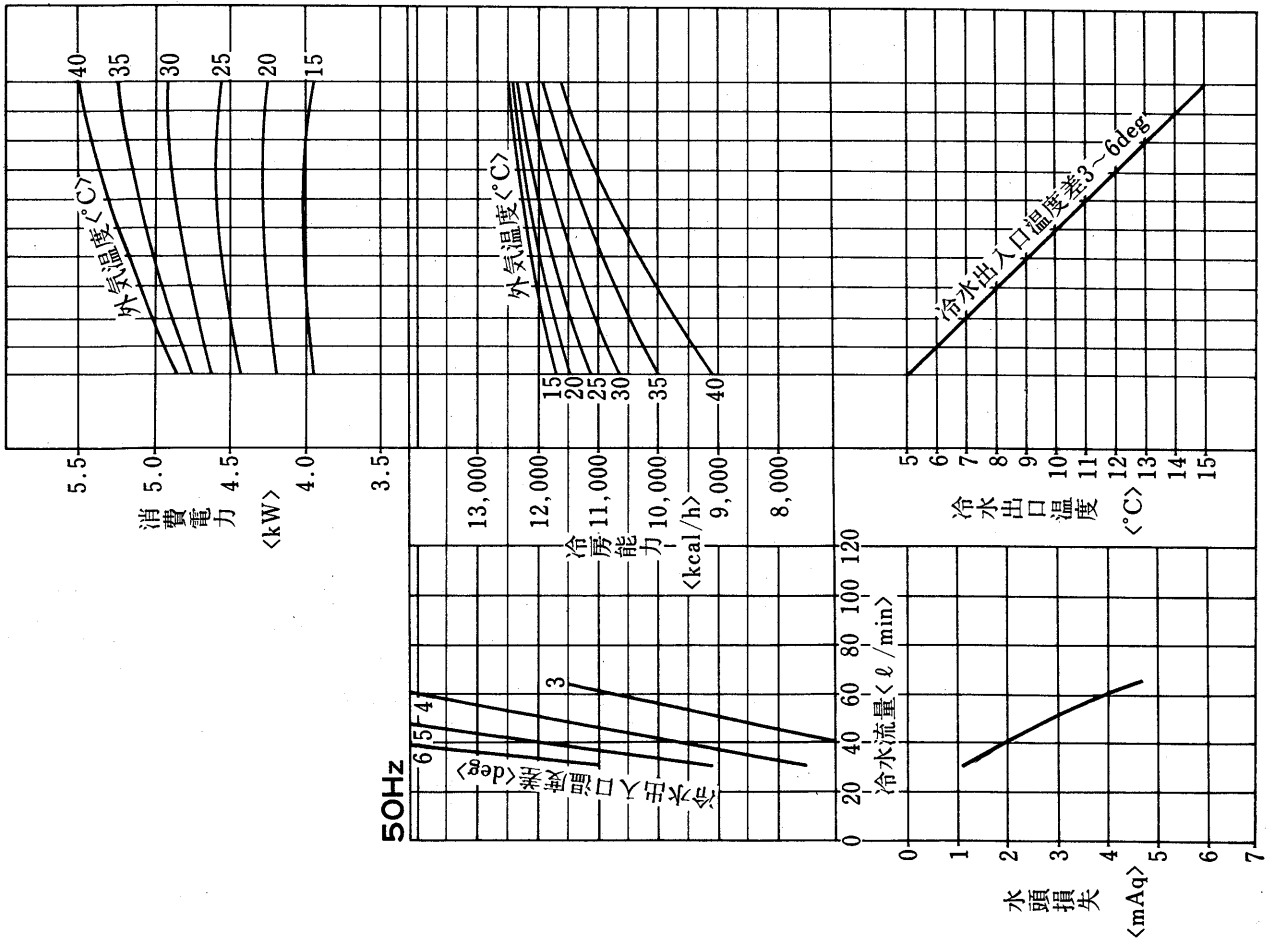
グラフ内が弊社保証値です

空冷式
チリングユニット

CA-5E形 <60Hz>



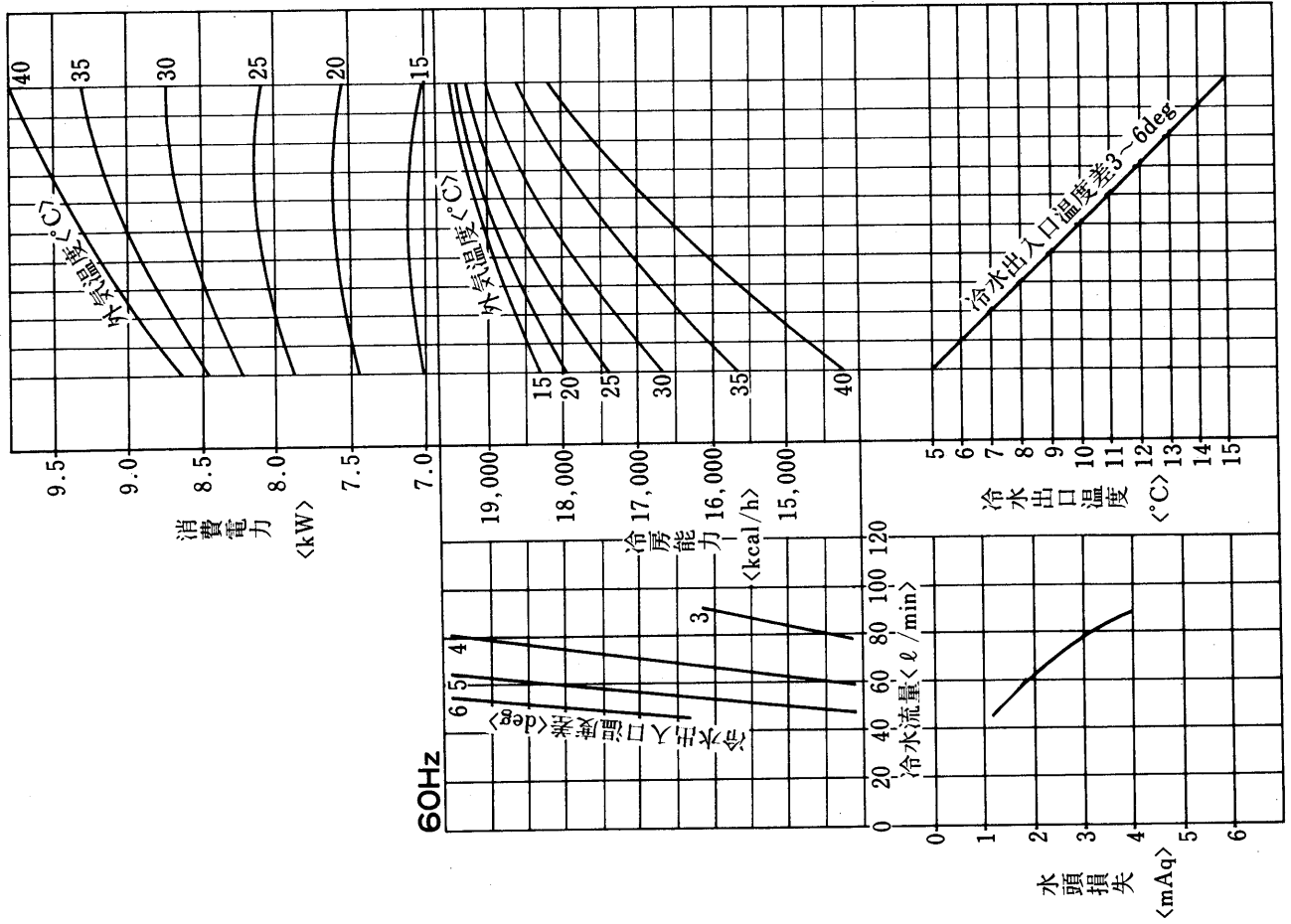
CA-5E形 <50Hz>



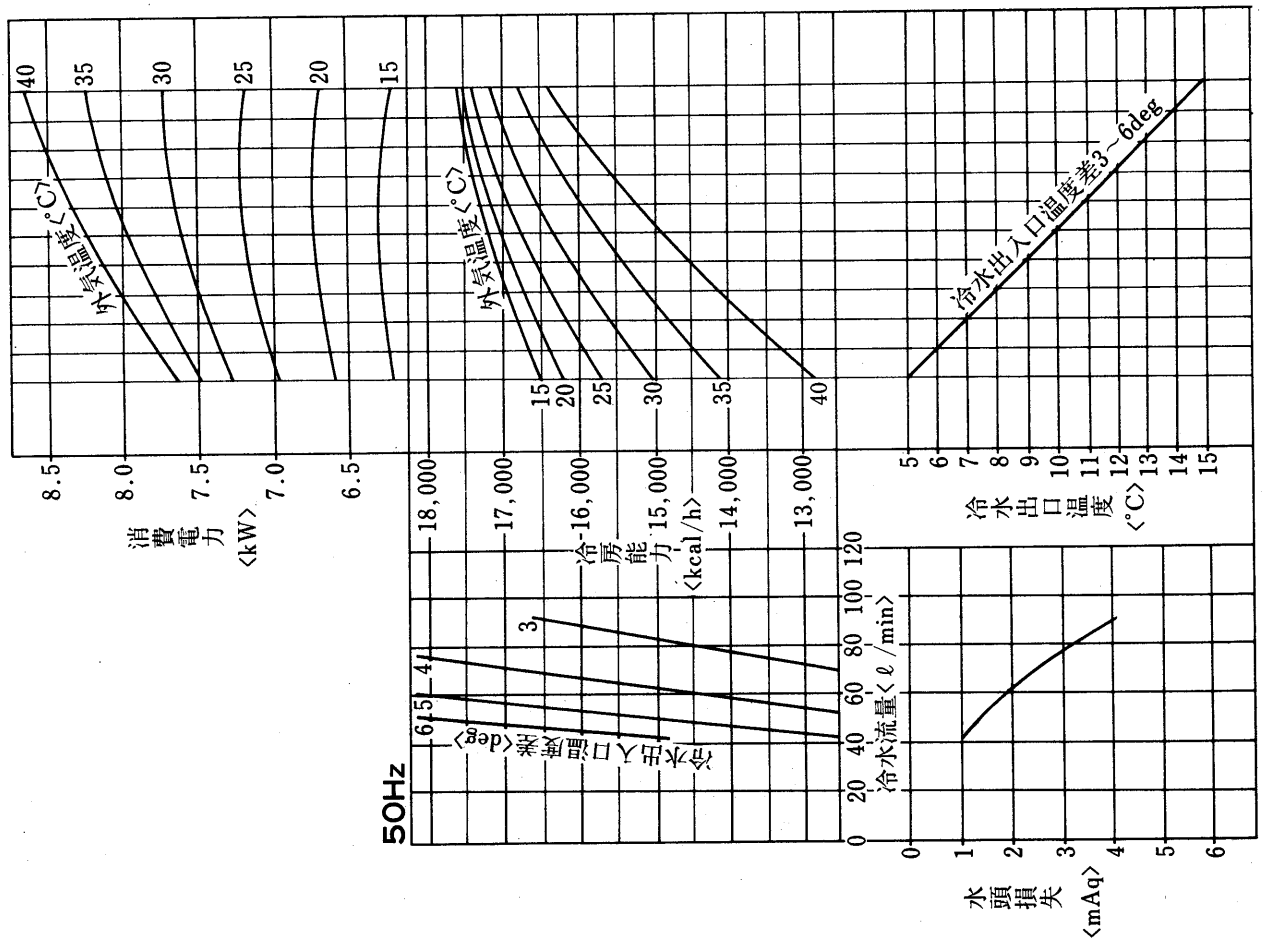
能力

グラフ内が弊社保証値です

CA-8E形<60Hz>



CA-8E形<50Hz>

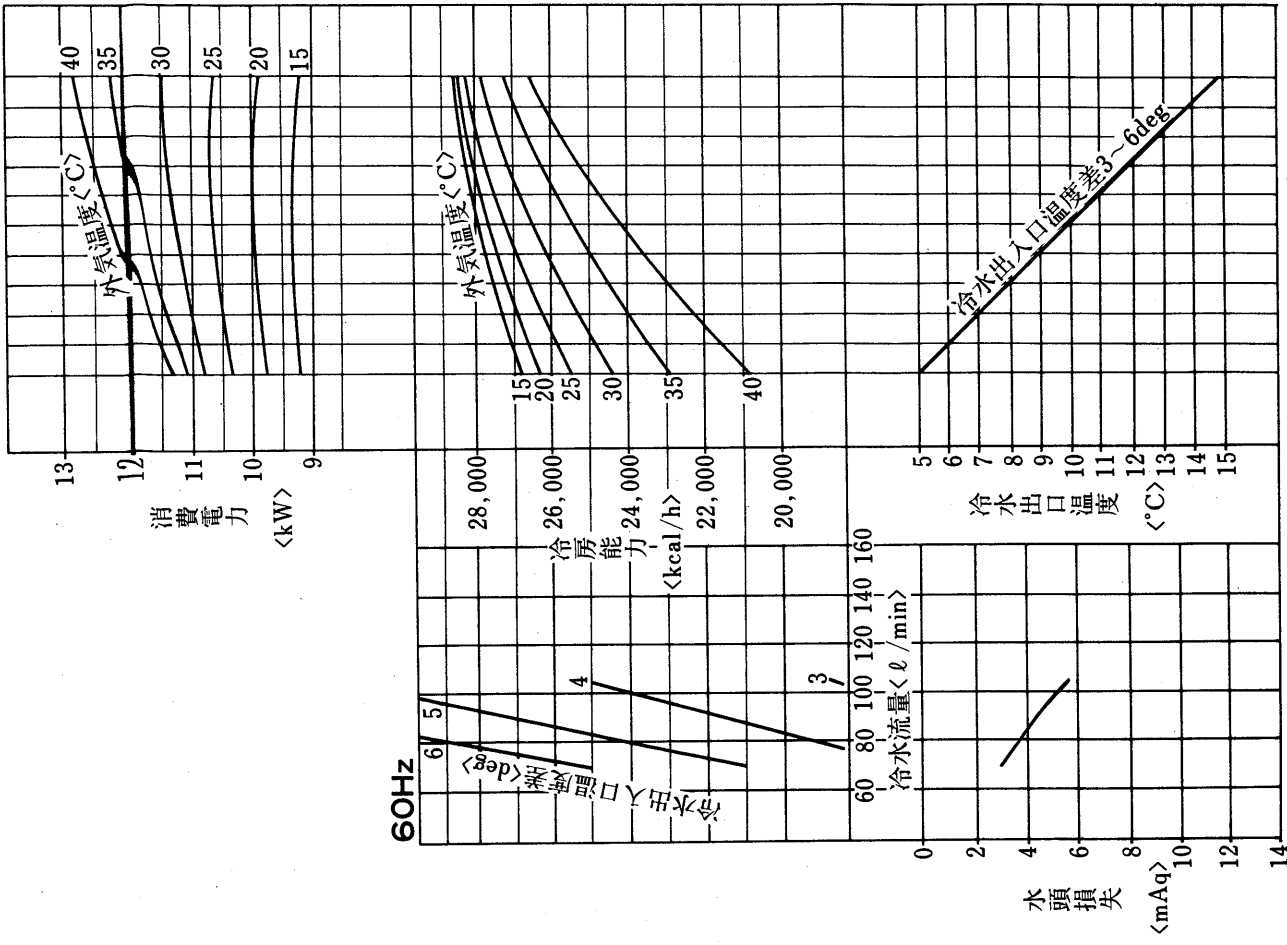


グラフ内が弊社保証値です

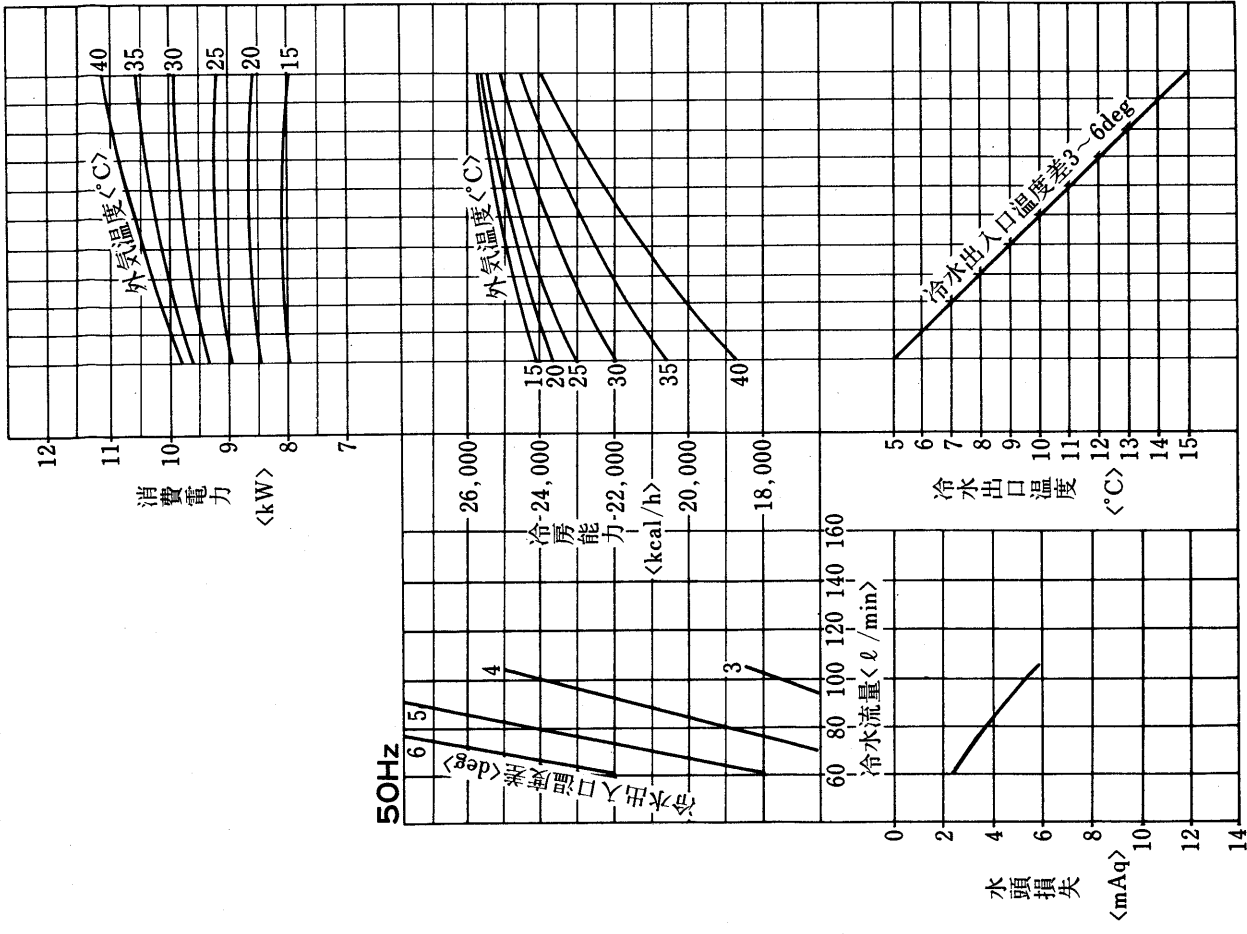
空冷式
チリンググU

能力

CA-10E形<60Hz>

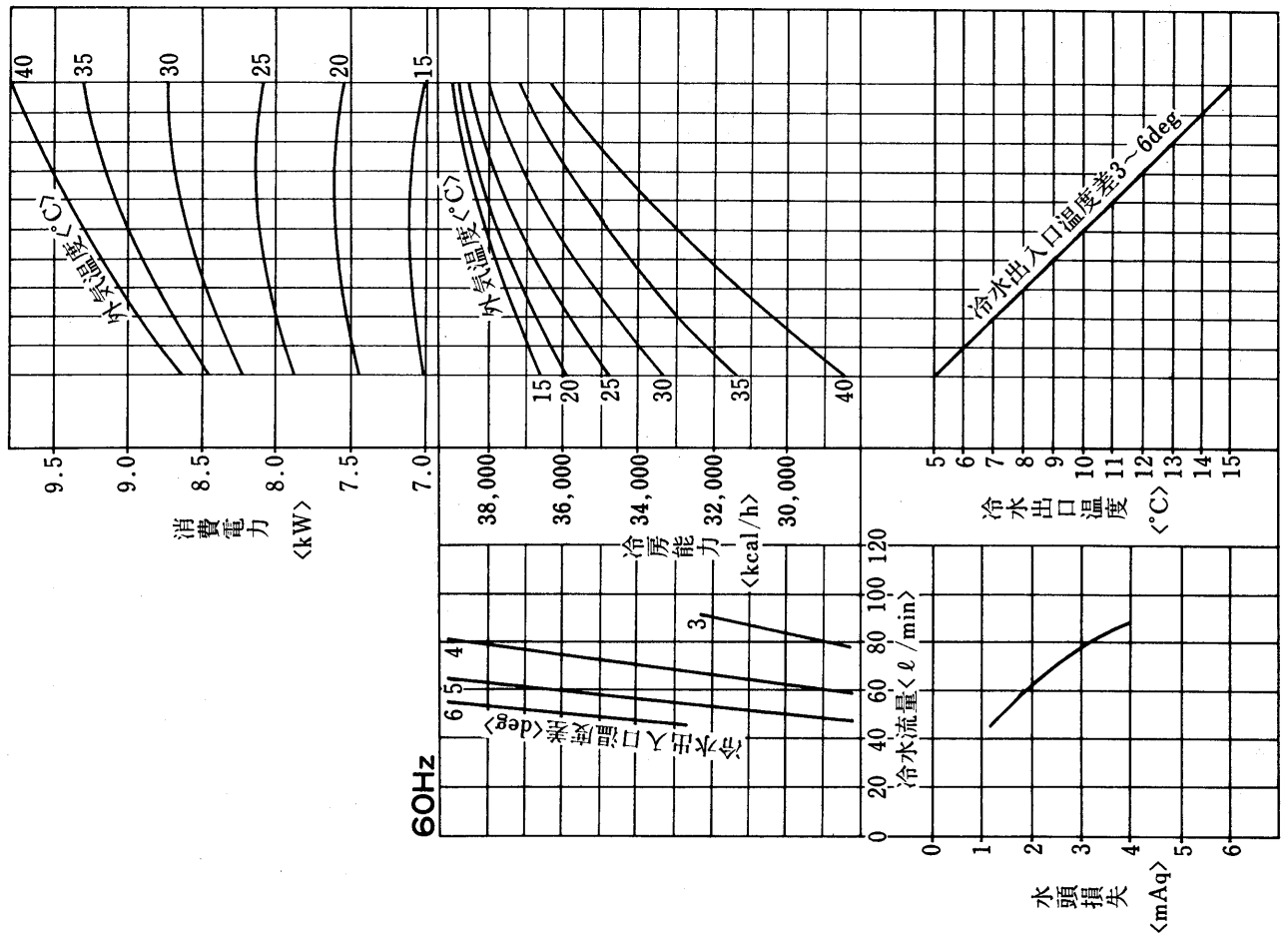


CA-10E形<50Hz>

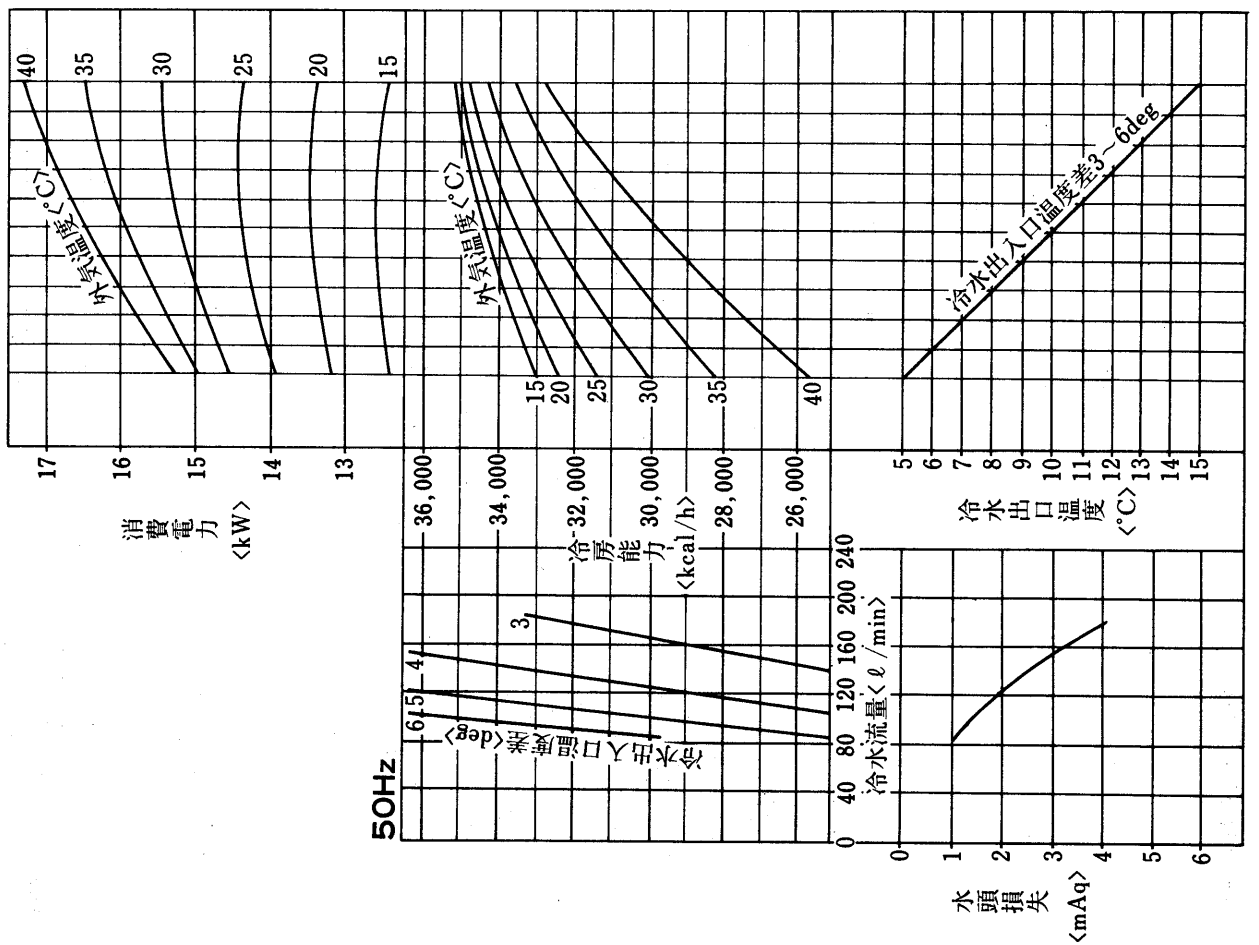


グラフ内が弊社保証値です

CA-15E形 <60Hz>



CA-15E形 <50Hz>



CA-K20E形<50Hz>

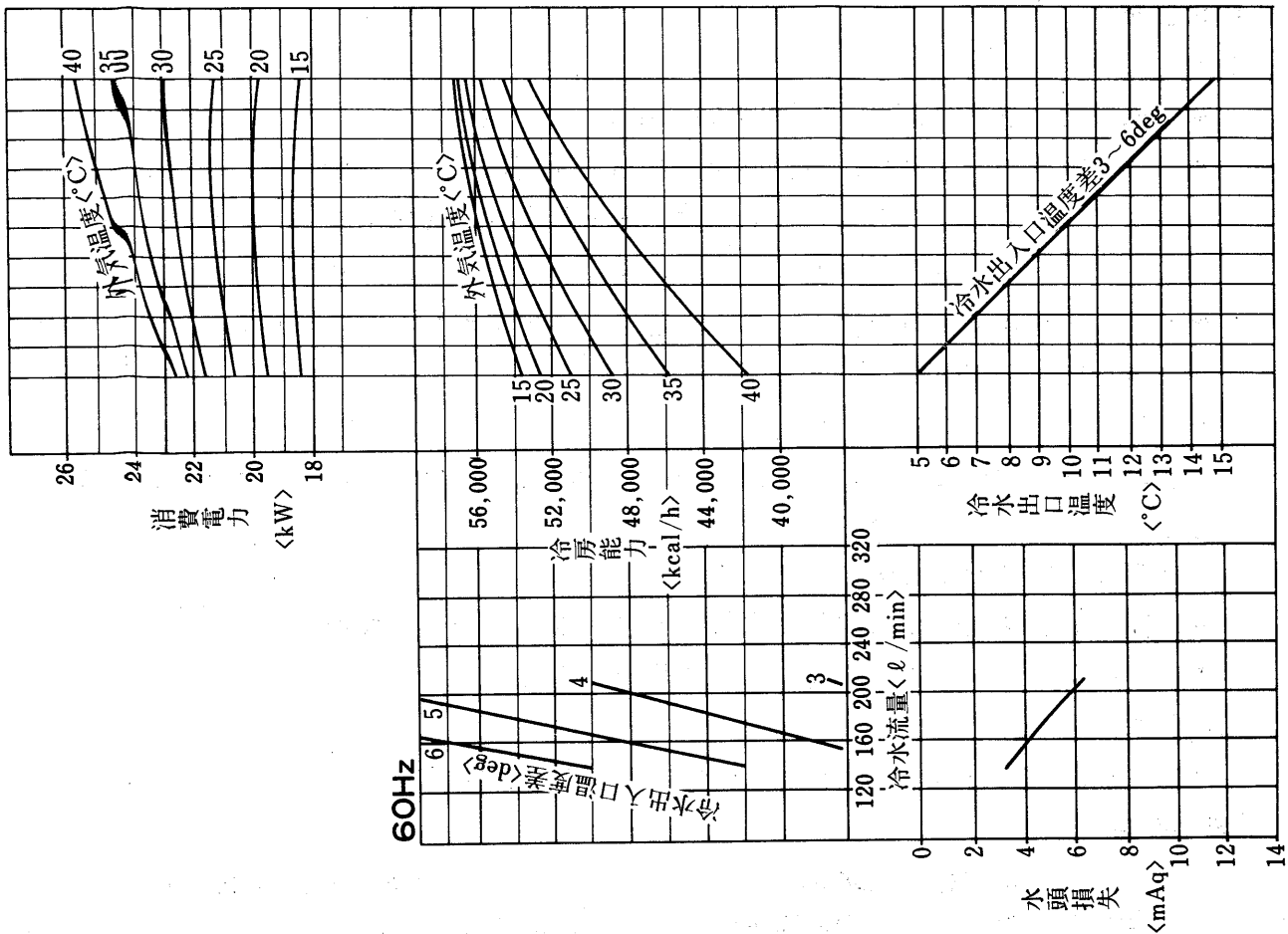
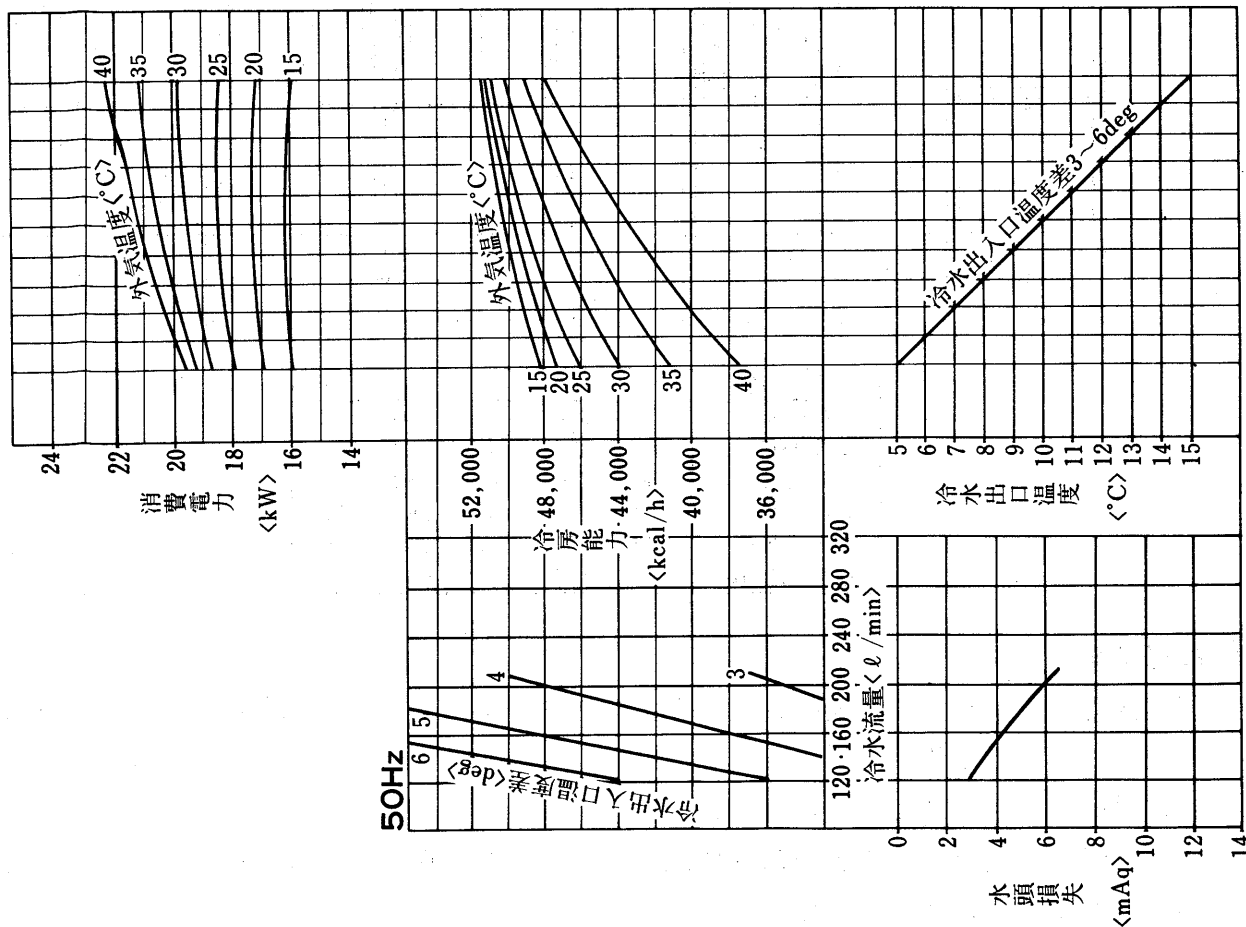
CA-K20E形<60Hz>

グラフ内が弊社保証値です

CA-K20

空冷式
チリンググU

能力



空冷式チリングユニット

1.2.5 注意事項

(a)据付工事

(I)搬入

- 出来るだけ静かに運び、30°以上傾けないでください。
- ユニットの吊り上げは、木枠梱包の状態です定位置まで移動させてください。万一、ユニットに直接ロープをかける場合は、キャビネットを傷めないようにクッション材を用い、またロープは、しばりばめを行ってください。〈CA-2SC・2C〉
- ユニットの吊り上げは、ユニット上部4角のアイボルトを使用して行なってください。〈CA-3E～K20E〉

(II)据付

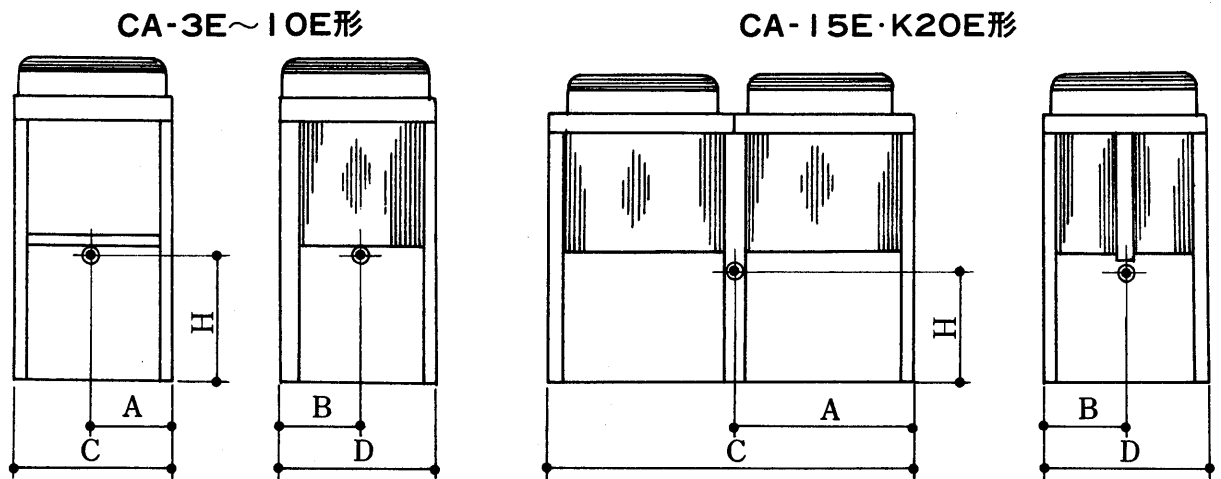
本機は屋外設置形であるため、建物の屋上や庭先に据付けることが出来るが、次の点に注意してください。〈CA-2SC・2Cを除く〉

- 基礎は堅固で水平な床であること。
- 周囲に通風を妨害する建物や塀等がなく、風通しの良い場所であること。
- ユニットのサービスが容易に出来る場所であること。

(III)据付スペース

外形寸法図〈P80・81〉に示すサービススペースを設けてください。

(b)重心位置



形式	A	B	C	D	H
CA-3E	360	360	780	780	515
CA-5E	360	355	780	780	505
CA-8E	450	460	980	980	540
CA-10E	450	455	980	980	660
CA-15E	970	470	1960	980	580
CA-K20E	970	465	1960	980	630

(c)配管工事

- 水配管の空気抜きを完全に行うこと。シスターンあるいは空気抜きに向い 1/200 以上の勾配をつけてください。
- 防湿施行を完全にしてください。
- 水循環量は能力線図で求めた数値以上を目標として循環ポンプを選定することが良い。
- 水抜き配管を設けてください。

- (V)水出入口配管に温度計を付けておくと運転監視やサービスの際便利です。また配管には適宜仕切弁を付けて冷却器だけ切離して水抜きができるようにしておいてください。
- (VI)清掃時に化学洗浄剤が使えるように冷却器と仕切弁の間に接続口をつけてください。
- (VII)冷水ポンプの振動、騒音が問題になる時は、ポンプの吸入・吐出管の一部に可撓管を使用してください。
- (VIII)冷水入口配管には清掃可能なストレーナを設けてください。
- (IX)配管には適宜吊具を付けて、冷却器の接手に無理な荷重がかからないようにしてください。

(d)電気工事

- (I)配線総量は始動時の電圧が定格の85%以上運転時定格の90%以上、相間電圧のアンバランスは2%以内に確保出来るものを選んでください。
- (II)手元開閉器は附属していませんので別に用意してください。
- (III)アースは必ず取ってください。
- (IV)循環ポンプが停止した時、ユニットも必ず停止させる必要があるため、ポンプインターロックの結線を行なってください。〈CA-2SC・2Cはポンプ用電磁接触器およびインターロック回路組込み済み〉

(e)使用限界

CA形の使用限界は下表の通りですので、この範囲でご使用ください。

項目	形名	CA-2SC 2C	CA-3E	CA-5E	CA-8E	CA-10E	CA-15E	CA-K20E
最大水量	ℓ/min	35	45	65	90	105	210	280
最少水量 <50/60Hz>	ℓ/min	12/13	18/21	30/34	41/46	61/69	83/98	118/138
※水出入口温度差	deg	能力線図の範囲内						
水圧	kg/cm ²	4以下						
※水出口温度		能力線図の範囲内						
運転圧力	kg/cm ²	高圧側10~26 低圧側3.2~5.9						
電圧		定格電圧±10%						
外気温		20~40°C DB						

※能力線図の線を延長したり、線図の外でのご使用はさけてください。

ユニットの発停時間は下記以上となるようにしてください。

運転時間……………5分以上

停止時間……………3分以上

1サイクル〈始動→停止→始動〉……………15分以上

水配管回路中の全水量が少く、かつ軽負荷時には、ユニットの発停時間が極端に短くなり、ユニットの寿命を低下させることがあります。このような場合はクッションタンクを設ける等により、水配管回路中の全水量が下表以上となるようにしてください。

項目	形名	CA-2SC 2C	CA-3E	CA-5E	CA-8E	CA-10E	CA-15E	CA-K20E
水配管回路中の最少必要全水量	ℓ	40	60	90	130	190	130	190
冷却器内水量	ℓ	2.8	4.5	5	7	10	24	32

空冷式チリングユニット

1.2.6 騒音

CA-2SC～K20E形は、低騒音化を計っていますが、騒音防止条例や据付場所の状況等により、騒音に対するクレームが予想される場合には、つぎのような騒音対策を実施しておく必要があります。

(a)消音ダクト

ユニットの吸込口及び吹出口に消音ダクトを設けることにより、吸込口および吹出口から出る騒音を減少させることができます。この場合、吸込口と吹出口を、騒音を減少させたい場所と反対の方向に向けることによって、より効果が出ます。

(b)遮音壁

消音ダクトによっても防音効果がありますが、より騒音を下げたい場合はユニットのまわりを遮音壁で囲むのが有効です。

特に高いビルや、一方向のみ遮音すればよい場合に効果的です。なお、壁とユニットとは、外形寸法図〈P80～P81〉に示す風吸込スペース以上離してください。また、壁の高さは吹出空気がショートサーキットしない高さにしてください。

(c)密閉

音源をなるべく隔離して、ここで音を処理してしまう方法です。CAユニット全体を建物の中に入れて、風の出入口には消音室を設けユニットの音が外部に出ないようにします。風の通路は送風機の抵抗とならないよう、吸込・吹出口と同じか、それ以上に大きくしてください。建物の壁や消音室の構造・材料・厚さについては騒音の許容限度により定まります。また、吸音材を建物の内部や風の通路に使用すれば、さらに効果的です。

(d)防振

建物内の騒音はユニットからの振動による場合がありますので、据付基礎は十分強固にし、水配管等は防振配管としてください。

(e)振動

CAユニットの振動は普通のパッケージエアコンとほとんど同じです。しかしCAユニットは屋上設置が普通ですから階下が会議室・ホテルの個室等、特に静かさを要求される室の場合は、防振対策を充分にしてください。

1.2.7 電気特性

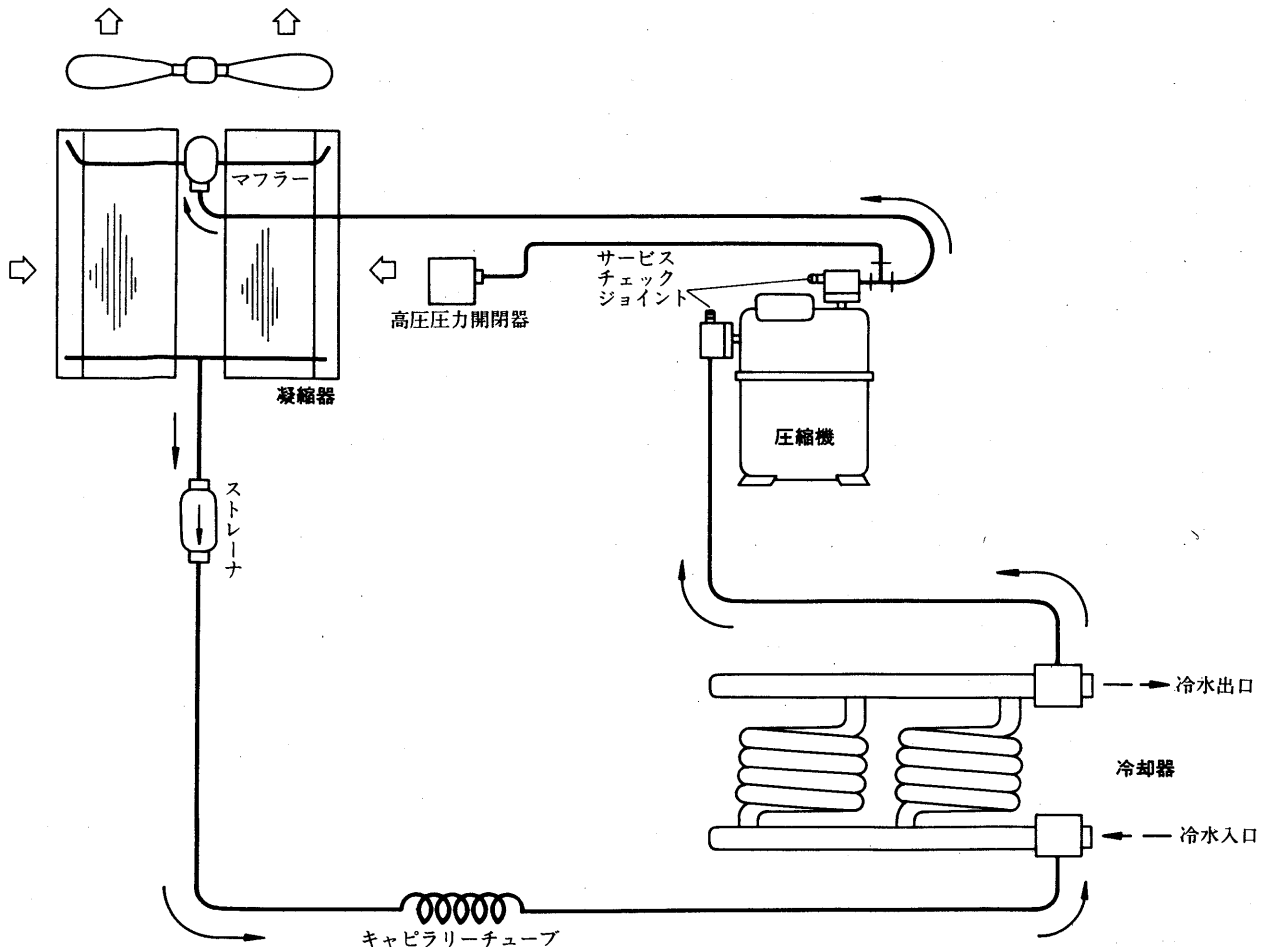
項目	形名	CA-2SC	CA-2C	CA-3E	CA-5E	CA-8E	CA-10E	CA-15E	CA-K20E	
電気特性	電源	単相 200V 50/60Hz		主回路三相200V50/60Hz 補助回路単相100V50/60Hz		三相 200V 50/60Hz				
	消費電力	kW	2.0/2.4	1.9/2.2	3.0/3.5	4.9/5.9	7.7/8.7	9.9/11.4	15.4/17.4	19.8/22.9
	運転電流	A	10.6/12.2	6.2/6.9	10.7/11.7	17.2/18.9	28.9/29.0	35.8/37.2	57.7/58.0	74.6/74.4
	力率	%	94/98	88/92	81/86	83/91	77/87	80/89	77/87	77/89
	始動電流	A	60以下	41.9/37.0	65/56	107/98	168/154	172/151	197/183	208/188
	圧縮機 称出出力	kW	1.5	1.5	2.2	3.75	5.5	7.5	5.5×2	7.5×2
	電動機 定格電流	A	12.0	7.4	12.2	20.5	32.5	42	32.5×2	42×2
	送風機 定格出力	kW	0.015×2	0.015×2	0.035	0.035	0.07	0.1	0.12×2	0.2×2
	電動機 定格電流	A	0.3×2 / 0.28×2	0.3×2 / 0.28×2	0.39/0.41	0.39/0.41	0.69/0.59	1.29/1.31	1.22×2 / 1.02×2	2.25×2
	電線太さ ※2		φ2.0 <15mまで>	φ1.6 <18mまで>	φ2.0 <28mまで>	φ2.6 <29mまで>	14mm ² <47mまで>	14mm ² <36mまで>	38mm ² <63mまで>	50mm ² <61mまで>
過電流保護器	A	30	20	30	50	75	100	150	150	
開閉器容量	A	30	30	30	60	100	100	200	200	
小モコン回路連絡	100V	φ1.6<~80>								
配線太さ	200V	φ1.6<~100>								
接地線太さ		φ1.6以上	φ1.6以上	φ1.6以上	φ2.0以上	φ2.6以上	φ2.6以上	14mm ² 以上	14mm ² 以上	
圧縮機 容量	μF	各電力会社低圧進相コンデンサ取付基準による								
電動機 kVA		1.5以下	1.5以下	2.2以下	3.7以下	5.5以下	7.5以下	5.5以下	7.5以下	
電線太さ		φ1.6以上	φ1.6以上	φ1.6以上	φ2.0以上	φ2.6以上	φ2.6以上	φ2.6以上	φ2.6以上	

空冷式
チリング
U

- 注 ※1 電気特性は次の条件による。
外気温度35℃・冷水入口温度12℃，出口温度7℃
- ※2 金属管配線の場合を示します。〈電圧降下4V，現地ポンプ容量含まず〉

1.2.8 冷媒配管系統図

CA-3E~10E形



資料